Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX 885

クールピクス 885

使用説明書

Jp

使用説明書について

COOLPIX885には次の説明書が付属しています。製品をご使用の前にこれらの説明書をよくお読みの上、十分に理解してから正しくお使いください。

クイックスタートガイド

COOLPIX885の操作方法について、撮影前の準備と撮影・再生の操作を簡単に紹介しています。また、撮影した画像の楽しみ方として、画像をパソコンで楽しむ方法について説明しています。

使用説明書（本説明書）

COOLPIX885の操作方法と画像の楽しみ方について、全体を十分に理解していただけるように、撮影前の準備から、基本操作、撮影した画像の楽しみ方、機能の詳細へと順を追って詳しく説明しています。

Nikon View 5 リファレンスマニュアル（CD-ROM）

Nikon View 5リファレンスマニュアルは、COOLPIX885に付属しているCD-ROM内に収録されています。Nikon View 5リファレンスマニュアルの読み方については、この説明書の**「機能の詳細－接続」**の章をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたいことを記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること(必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠警　告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

電池を取る

すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

⚠警　告（カメラについて）

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

指定の電池または専用ACアダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

ACアダプタご使用時に雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注　意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

プラグを抜く

長期間使用しない時は電源（電池やACアダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
ACアダプタでご使用されている場合には､ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

禁止

本機器やACアダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

警　告（リチウム電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警　告（リチウム電池について）

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

禁止

充電式電池以外は充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠危　険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

リチャージャブルバッテリーEN-EL1は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX885に対応しています。EN-EL1に対応していない機器には使用しないこと。

液もれ、発熱の原因となります。

⚠警　告（専用リチウムイオン充電池について）

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

ご確認ください

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客さまへ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

■大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償は、ご容赦願います。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路内部に侵入したことなどが考えられます。万一このような状態になったときは、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますとバッテリーが熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、カメラの電源をOFFにし、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

■本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（レンズ、スピードライト、バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなど）のアクセサリーに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。

他社製品との組み合わせ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。
その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

■商標説明

- CompactFlash™(コンパクトフラッシュ）は米国SanDisk社の商標です。
- Microsoft® およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMはInternational Business Machines Corporationの米国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Adobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標または特定地域における同社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズおよびカバーに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。レンズ面や液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固い物で拭くと傷になりますのでご注意ください。

●風通しのよい場所に保管してください

カビや故障などを防止するために、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。ナフタリンや樟脳の入ったタンスの中、磁気を発生する器具のそば、極度に高温となる夏期の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

●長期間使用しないときはバッテリーを取り出してください

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください

電源オンの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中の前記操作には、十分注意してください。

●液晶モニタについて

・液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。また記録される画像には影響はありません。
・屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
・液晶モニタ表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。また撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

バッテリーの取り扱いについて

●バッテリー使用上のご注意

バッテリーの使用方法を誤ると液漏れにより製品を腐食したり、バッテリーが破裂したりする恐れがあります。次の使用上の注意をお守りください。

・バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
・使用期限の過ぎたバッテリーは使用しないでください。

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんのでご注意ください。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはリチャージャブルバッテリー、リチウム電池の入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の十分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は十分に充電されたリチャージャブルバッテリー、または新しいリチウム電池を使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●バッテリーの残量について

カメラの液晶モニタに「電池残量がありません」と表示されたリチャージャブルバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のオン／オフを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。「電池残量がありません」と表示されたリチャージャブルバッテリーは、充電してご使用ください。

目　次

4.機能の詳細 ....85～197

1 ご使用になる前に

この章は次の3部で構成されています。

はじめに

この使用説明書の構成と、使用しているマークについて説明しています。

各部の名称と機能

カメラ各部の名称と機能について説明しています。

メニューガイド

COOLPIX885は、液晶モニタに表示されるメニューによって各機能の設定を変更することができます。ここでは、SET-UPメニュー（SETUPモード）、撮影メニュー（カスタムモード）、再生メニュー（▶モード）、の各メニューについて、操作方法とメニュー一覧を説明しています。

はじめに

このたびはニコンデジタルカメラCOOLPIX885をお買い上げいただき、ありがとうございます。この使用説明書は、COOLPIX885を正しくご使用いただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この説明書をよくお読みの上、十分に理解されてから正しくお使いください。
この使用説明書は、実際に操作をしながらCOOLPIX885の使い方を自然にご理解いただくことを目的として、基本操作から応用操作へと順を追って、下記のように構成されています。

ご使用になる前に

この使用説明書に関する情報と、カメラ各部の名称、機能、およびメニュー機能の使い方と一覧などを説明しています。

基本操作

撮影前に必要な準備、基本的な撮影方法、および撮影画像をすばやく確認できるレビュー再生モード／簡易再生モードについて説明しています。デジタルカメラを初めてお使いになる方でも、この章を順にお読みいただければ、手軽に撮影をお楽しみいただけます。

撮影した画像の楽しみ方

撮影した画像をパソコンに転送する方法について説明しています。

機能の詳細

ズーム機能、フォーカスモード、スピードライト撮影、露出補正撮影、動画撮影など、COOLPIX885によるさまざまな撮影方法を説明しています。
また、カメラの機能を設定する**「SET-UPメニュー」**、連写、露出など様々な撮影条件を設定する**「撮影メニュー」**、撮影画像の基本的な再生方法と詳細な再生条件を設定する**「再生メニュー」**、カメラとパソコンの接続方法など、COOLPIX885のさまざまな機能について詳しく説明しています。

本文中のマークについて

この説明書は、次のマークを使用しています。

メモ	補足的な情報や知っていると便利な情報が書かれています。
ここをチェック！	操作を行うときにチェックしていただきたい情報が書かれています。
注意	注意していただきたいことや守っていただきたいことが書かれています。
（☞ P.00）	参照ページが書かれています。

メモ　カスタマーサポート

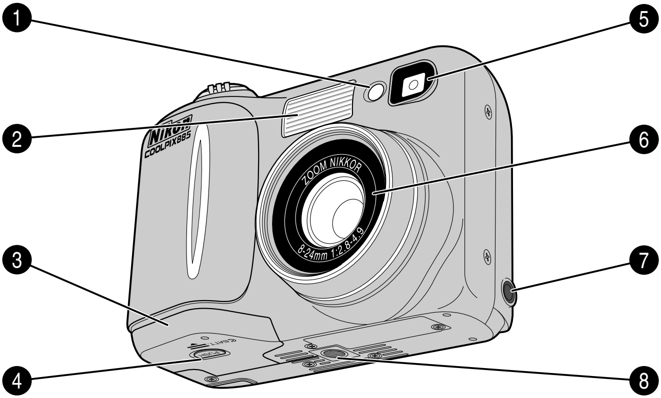
下記URLのホームページで、サポート情報をご案内しています。

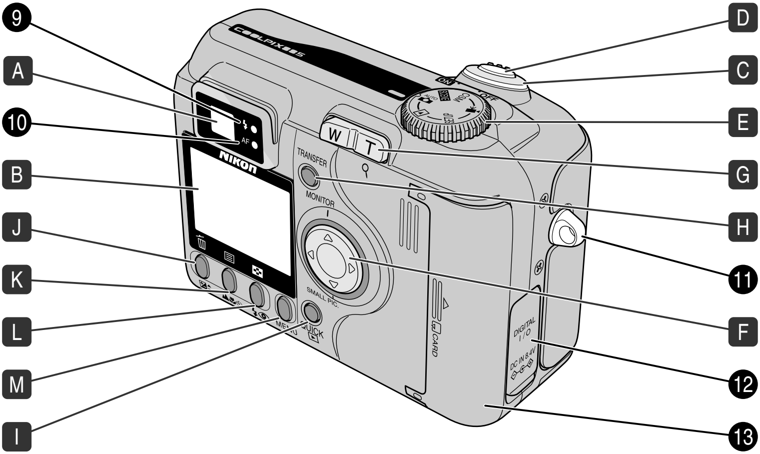
http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

各部の名称と機能

カメラ本体の名称や機能について紹介してします。各部についての詳しい説明は、参照ページをご覧ください。

カメラ本体



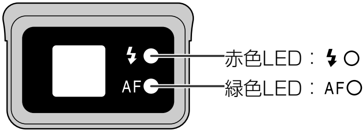


❶	赤目軽減／セルフタイマー表示ランプ	☞ P.98/96
❷	スピードライト	☞ P.97
❸	バッテリーカバー	☞ P.47
❹	バッテリーカバーロック解除ボタン	☞ P.47
❺	ファインダー	☞ P.22
❻	レンズ	☞ P.190
❼	ビデオ出力端子	☞ P.166
❽	三脚ネジ穴	
❾	赤色LED	☞ P.22
❿	緑色LED	☞ P.22
⓫	ストラップ取り付け部	☞ P.46
⓬	デジタル端子／DC入力端子カバー	☞ P.172/49
⓭	コンパクトフラッシュカードカバー	☞ P.50

A	ファインダー	☞ P.22
B	液晶モニタ	☞ P.23
C	電源スイッチ	☞ P.24
D	シャッターボタン	☞ P.24
E	モードダイヤル	☞ P.25
F	マルチセレクター	☞ P.26
G	ズームボタン	☞ P.27
H	TRANSFER（転送）ボタン	☞ P.28
I	QUICK ▶（クイックレビュー）ボタン	☞ P.28
J	露出補正・感度変更／ 削除ボタン	☞ P.28
K	フォーカスモード・マニュアルフォーカス／画面切り換えボタン	☞ P.29
L	スピードライトモード／ サムネイルボタン	☞ P.29
M	MENU（メニュー）ボタン	☞ P.29

表示と操作ボタン

A ファインダー



ファインダー横の2つのランプにより、スピードライトやAFの状態を知ることができます。

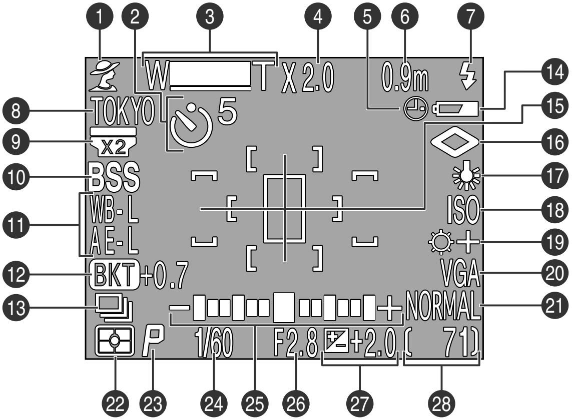
COOLPIX885は、ファインダーを使った撮影と、液晶モニタを使った撮影とが行えます。明るい場所で液晶モニタが見えにくい時や、バッテリーの残り容量が気になる場合などには、ファインダーを使った撮影をおすすめします。なお、カメラと被写体との距離が1.5m以内で撮影する場合は、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレが生じますので、液晶モニタで構図を確認して撮影してください。

LED	表　示	カメラの状態
赤色LED：⚡○	点　灯	スピードライトの充電が完了しています。 スピードライト撮影がいつでも行えます。
	点　滅	スピードライトが充電中です。シャッターボタンから指を離し、点滅から点灯状態になるのを待って撮影を行ってください。
	消　灯	被写体が明るいため、またはスピードライトモードが発光禁止になっているため、スピードライトは発光しません。
緑色LED：AF○	点　灯	被写体にピントが合っています。シャッターボタンを深く押し込むと撮影が行えます。
	高速で点滅	被写体にピントを合わせることができません。AFロック撮影（☞ P.65）を行ってください。
	中速で点滅	撮影した画像をコンパクトフラッシュカードに記録中です。点滅中は、コンパクトフラッシュカードを抜いたり、バッテリーまたはACアダプタを抜いたりしないでください。
	低速で点滅	電子ズームが作動しています。 液晶モニタで構図を確認して撮影してください。

B 液晶モニタ

液晶モニタには、画像やカメラの設定内容に関する情報が表示されます。
再生モードや、レビュー再生モード／簡易再生モードでは、撮影した画像を液晶モニタで確認できます。

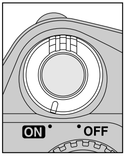
撮影モード時に液晶モニタに表示される内容は次の通りです。



1. シーンモード表示 ☞ P.68
2. セルフタイマー／カウントダウン表示 ☞ P.96
3. ズーム表示／UH連写進行表示 ☞ P.63/127
4. 電子ズーム倍率表示 ☞ P.91
5. 時計マーク *1表示 ☞ P.57
6. マニュアルフォーカス距離表示 ☞ P.120
7. スピードライトモード表示 ☞ P.97
8. フォルダ名表示 *2 ☞ P.106
9. コンバータ表示 ☞ P.131
10. ＢＳＳ表示／ノイズ除去表示 ☞ P.128/142
11. 露出固定（AEロック／WBロック）マーク ☞ P.136
12. ブラケティングマーク／ホワイトバランスブラケティングマーク ☞ P.140/141
13. 連写モード表示 ☞ P.126
14. バッテリーチェック表示 ☞ P.54
15. 測光エリア／AFエリア表示 ☞ P.125/94
16. 輪郭強調表示 ☞ P.130
17. ホワイトバランス表示 ☞ P.123
18. 感度変更モード表示 ☞ P.121
19. 階調補正表示／モノクロ表示 ☞ P.129
20. 画像サイズ表示 ☞ P.105
21. 画質モード表示 ☞ P.104
22. 測光モード表示 ☞ P.125
23. 露出モード表示 ☞ P.134
24. シャッタースピード表示 ☞ P.134
25. 露出インジケーター表示 ☞ P.135
26. 絞り値表示 ☞ P.134
27. 露出補正マーク／露出補正値表示 ☞ P.100
28. カウンタ（撮影可能コマ数）／動画時間表示 ☞ P.60/89

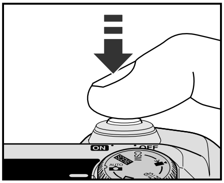
*1 日時設定されていない場合に点滅表示します。
*2 フォルダ名を「NIKON」と設定した場合は表示されません。

C 電源スイッチ

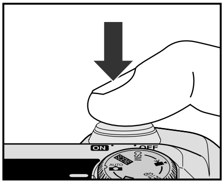


電源スイッチを ON にセットするとカメラの電源がオンになります。
電源がオンになると、ファインダー横の緑色LEDが数秒間点灯して、撮影モード時にはレンズが繰り出し、液晶モニタが点灯します。
電源スイッチを **OFF** にすると、液晶モニタが消灯し、撮影モード時にはレンズが収納されて、カメラの電源がオフになります。

D シャッターボタン



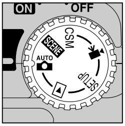
半押しすると、ピントを固定します。



深く押し込むと、シャッターがきれます

シャッターボタンを軽く押して途中で止める動作を**「シャッターボタンを半押しする」**といいます。シャッターボタンを半押しすると、AF（オートフォーカス）によるピント合わせと露出が決まり、緑色LEDが点灯します。半押し中は、ピントと露出は固定されます。
半押しした状態から、さらに深く押し込むと、シャッターがきれます。

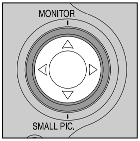
E モードダイヤル



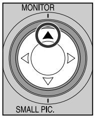
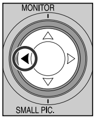
モードダイヤルには、4種類の撮影モード、再生モード、SETUPモードの6種類のモードがあります。
モードを切り換えるには、モードダイヤルを回して、選択したいモードを左側の ━ マークに合わせます。

セット位置		モード	内　容	参照ページ
AUTO	撮影モード	オートモード	カメラまかせで簡単に撮影できます。	P.58 P.88
SCENE		シーンモード	12種類のシーンモードの中から撮影シーンや被写体に合ったモードを選択して撮影すれば、イメージに合った写真が簡単に撮影できます。	P.68
CSM		カスタムモード	撮影メニューによって、ホワイトバランスや連写などの撮影機能をセットして、目的に合った撮影を行うことができます。	P.119
		動画モード	最大約40秒の動画（音声なし）を撮影することができます。	P.89
		再生モード	撮影した画像を再生したり、削除したりすることができます。	P.144
SETUP		SETUPモード	日時の設定などカメラの基本的な機能の設定や、コンパクトフラッシュカードのフォーマットなどができます。	P.102

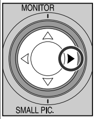
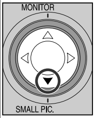
F マルチセレクター



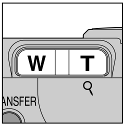
マルチセレクターの▲（上）、▼（下）、◀（左）、▶（右）のそれぞれを押すと、次のような操作を行います。

マルチセレクター	カメラの状態	押した時は	参照ページ
	撮影時	液晶モニタの状態の変更 表示されているカメラの設定内容や、画像情報が消えます。もう一度押すと液晶モニタの画面が消灯し、さらにもう一度押すと再び液晶モニタが点灯し、カメラの設定や画像情報が表示されます。	P.63
	1コマ再生モード 簡易再生モード		P.144
	撮影時 （液晶モニタにAFエリアを表示時*1）	AFエリアを選択［上方向に移動］	P.137
	メニュー画面表示時	選択部分を上に移動	P.32
	撮影時 （液晶モニタにAFエリアを表示時*1）	AFエリアを選択［左方向に移動］	P.137
	1コマ再生モード レビュー再生モード 簡易再生モード	液晶モニタに表示されている画像の一つ前に記録された画像を表示	P.144 P.73 P.74
	メニュー画面の表示時	一つ前のステップに戻る	P.33

*1 **AFエリア:** カスタムモードの撮影メニュー**「フォーカス：AFエリア選択」**で**「MANUAL」**にセットするか、シーンモードのポートレート（☞ P.69）、またはクローズアップモード（☞ P.70）で表示することができます。

マルチセレクター	カメラの状態	押した時は	参照ページ
	撮影時 （液晶モニタにAFエリアを表示時*1）	AFエリアを選択［右方向に移動］	P.137
	1コマ再生モード レビュー再生モード 簡易再生モード	液晶モニタに表示されている画像の一つ後に記録された画像を表示	P.144 P.73 P.74
	メニュー画面の表示時	項目の選択・決定	P.32
	撮影時 （液晶モニタにAFエリアを表示時*1）	AFエリアを選択［下方向に移動］	P.137
	1コマ再生モード 簡易再生モード	撮影した画像のサイズを縮小した画像（スモールピクチャー）を作成	P.79
	メニュー画面の表示時	選択部分を下に移動	P.32

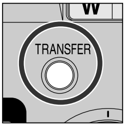
G ズームボタン



撮影モード時：　構図を決める際にズーム操作（☞ P.63）を行う時に使用します。ズームボタンの**T**側を押すと、遠くの被写体が徐々に大きく写ります（望遠側）。**W**側を押すと、撮影できる範囲が広くなります（広角側）。

▶（再生）モード時：Qボタンを押すと拡大表示モード（☞ P.151）になり、**W**ボタンを押すと解除されます。また、1コマ再生モード（☞ P.144）時または簡易再生モード時に**W**ボタンを押すと、サムネイルモード（☞ P.152）になり、撮影した画像の縮小表示（4コマまたは9コマ）を行います。

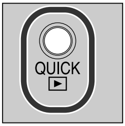
H TRANSFER（転送）ボタン



カメラとパソコンが接続されている時にTRANSFERボタンを押すと、あらかじめ転送設定された画像がパソコンに自動的に転送されます。また、画像の再生時にパソコンに転送したい画像をTRANSFERボタンを使って設定することができます。
また、カスタムモードでは、TRANSFERボタンを押すと、カメラが決定した露出値を固定（AEロック）します。

> **メモ　TRANSFERボタンを使った画像の転送について**
>
> 転送設定された画像は、カメラとパソコンを接続して、カメラのTRANSFERボタンを押すだけで簡単にパソコンに転送されます。ただし、転送するパソコンにNikon View 5がインストールされている必要があります。画像に転送設定するには、撮影時に撮影した全ての画像に設定する方法（☞ P.115）、再生時に全画像に一括で設定する方法（☞ P.164）、再生時に画像ごとに設定する方法（☞ P.82）とがあります。

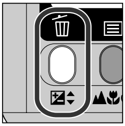
I QUICK▶（クイックレビュー）ボタン



撮影モード時：撮影した画像をすぐに確認したい場合に使用します。
QUICK▶ボタンを押すと、最後に撮影された画像が液晶モニタの左上に縮小表示され、さらにQUICK▶を押すと液晶モニタ全体に表示されます（☞ P.72）。モードダイヤルを▶（再生）モードにセットしなくても撮影した画像を確認することができ便利です。

再生モード時：動画再生時のスタート／ストップを行います（☞ P.149）。

J ±⇕（露出補正／感度変更）／🗑（削除）ボタン



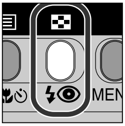
機　能	モード	ボタン操作	参照ページ
露出補正ボタン	AUTO、SCENE、CSM	±⇕ ＋ ▲▼	P.100
シャッタースピード	CSM（露出モードM時）	±⇕ ＋ ▲▼	P.135
絞り	CSM（露出モードM時）	±⇕ ＋ ◀▶	P.135
感度設定	CSM（露出モードP/M時）	±⇕ ＋ W T	P.121
削除ボタン	簡易再生、サムネイルレビュー ▶（再生）、サムネイル	🗑	P.74、P.75 P.145、P.153

K （フォーカスモード／マニュアルフォーカス）／（画面切り換え）ボタン



機　能	モード	ボタン操作	参照ページ
フォーカスモードボタン	AUTO、SCENE、CSM	（フォーカスモードボタン）	P.92
マニュアルフォーカス	CSM	（フォーカスモードボタン）＋W T	P.120
画面切り換えボタン	（再生）	（画面切り換えボタン）	P.147

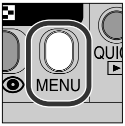
L （スピードライトモード）／（サムネイル）ボタン



撮影モード時：　撮影時に5種類のスピードライトモード（☞ P.97）が選択できます。

再生／簡易再生モード時：　画像を再生時に、撮影した画像を縮小して一覧表示（9コマまたは4コマ）します（☞ P.152）。

M MENU（メニュー）ボタン



- MENUボタンを押すと、撮影条件やカメラの設定内容などを変更するためのメニュー画面（☞ P.122）が表示されます。
- メニュー画面の表示中にMENUボタンを押すと、次のメニュー画面に切り換わるか、メニュー画面の表示を終了します。
- モードダイヤルがSETUP（セットアップ）モードにセットされている時には、つねにメニュー画面が表示され、MENUボタンを押すごとにメニューのページが切り換わります。

メニューガイド

COOLPIX885では、液晶モニタに表示されるメニューを操作することによって、カメラの機能や設定内容を詳細に設定することができます。

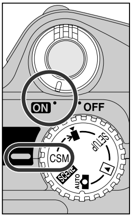
MENUボタンを押すと、各モードに応じたメニュー画面が液晶モニタに表示され、メニューの操作を行えます。

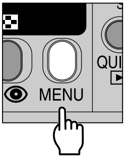
- モードダイヤルをSETUP（セットアップモード）にセットされている時には、つねにメニュー画面が表示されます。
- AUTO（オート）モード、動画（動画）モードにはメニューはありません。

モード	メニュー	内　容	ページ
SETUP	SETUPメニュー	カメラの基本的な設定（14項目）を行います。画質モード／画像サイズなど撮影条件の設定や、日時設定／カードフォーマットなどの撮影前の準備、および撮影者がセットした設定のクリアなどを行います。	P.102
CSM	撮影メニュー	撮影に関する各種機能（ホワイトバランス、測光方式、連写、階調補正、ブラケティングなど14項目）の設定を行います。	P.122
SCENE	シーンメニュー	12種類のシーンモードを目的に合わせて選択します。	P.68
▶	再生メニュー	撮影した画像の再生に関する各種機能（画像の削除、スライドショー再生、画像のプロテクト／非表示／転送／プリントの設定など9項目）の設定を行います。	P.154

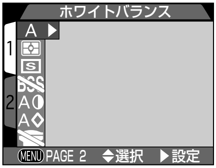
メニューを見る

電源スイッチを ON にセットしてMENUボタンを押すと、モードダイヤルでセットされているモードに応じて、設定できるメニューが表示されます。



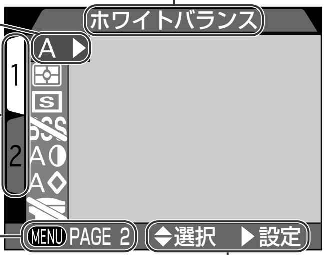


MENUボタンを押します



MENU画面が表示されます

■ メニュー画面の表示について



選択されているメニュー項目名

選択されているメニュー項目
選択すると赤色に表示されます。

ページタブ
表示中のページのタブが白く表示されます。

MENUボタン機能表示
MENUボタンを押した時にメニュー表示がどのようになるか表示しています。

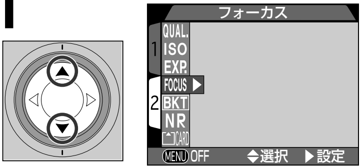
マルチセレクター機能表示
マルチセレクターの表示されているところを押した時の結果を表示しています。

- 選択されているメニュー項目は、赤く表示され、メニュー画面の上部に項目名が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押すと、赤く表示されている部分が上下に移動します。▲/▼を押し続けると、画面が切り換わってメニューの2ページ目が表示されます。
- メニュー画面の左側の部分には、メニュー画面のページを示す**「タブ」**があり、現在表示されているページのタブは白色に表示されています。
- メニュー画面の左下に**「MENU PAGE 2」**と表示されている場合は、MENUボタンを押すと、2ページ目のメニュー画面が表示されます。
- メニュー画面の左下に**「MENU OFF」**と表示されている場合には、MENUボタンを押すと、メニュー画面の表示が終了します。

メニューを選択・決定する

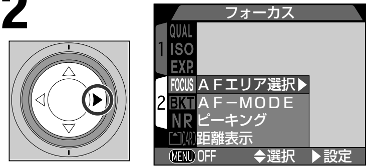
メニュー画面では、マルチセレクターの▲/▼で赤く表示されている部分を移動させて項目を選択し、▶を押して設定または決定を行います。

1



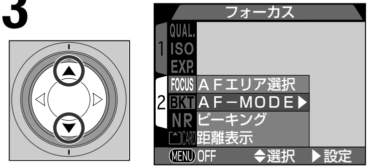
▲/▼で赤い表示を移動させて、セットしたいメニュー項目を選択します。

2



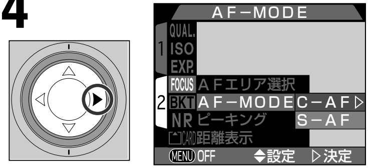
▶を押すと選択したメニュー項目の詳細（サブメニュー）が表示されます。

3



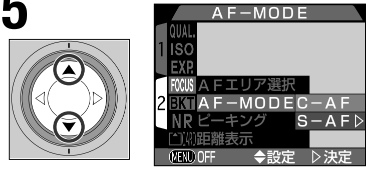
▲/▼でサブメニューの中からセットしたい機能を選択します。

4



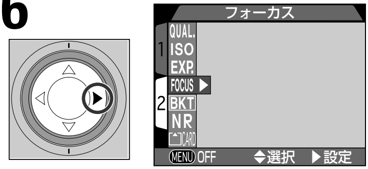
▶を押すとサブメニューの詳細が表示されます。

5



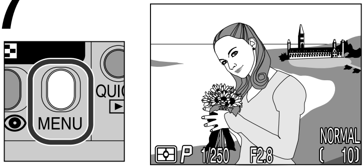
▲/▼でサブメニューの詳細の中からセットしたい機能を選択します。

6



▶を押すと機能のセットが決定して、メニュー画面に戻ります。

7



MENUボタンを押すとメニュー画面を終了して撮影画面に戻ります。

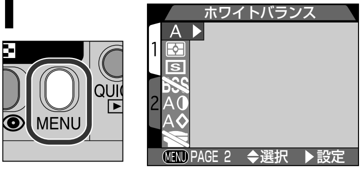
- 1つ前のステップに戻るには、マルチセレクターの◀を押します。
- メニューのセットは、メニュー画面右下の部分に「▷決定」と表示されている時に▶を押した時点で完了して、メニュー画面に戻ります。
- カスタムモード、シーンモードのメニュー画面表示時には、シャッターボタンを半押しすると撮影画面に切り換わり、すぐに撮影できます。撮影後は再びメニュー画面に戻ります。

メニューの画面のページを切り換える

メニュー画面のページを切り換えるには、次の3通りの方法があります。

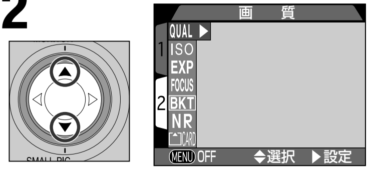
❶ マルチセレクターの▲/▼で赤い表示部分を移動させて切り換える

1



MENUボタンを押して、メニュー画面を表示させます（SETUPモードでは、モードダイヤルをセットすると自動的にメニュー画面が表示されます）。

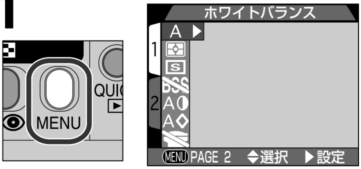
2



▲/▼を押し続けると、画面が切り換わってメニューの2ページ目が表示されます。

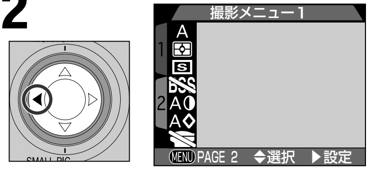
❷ ページタブを選択して切り換える

1



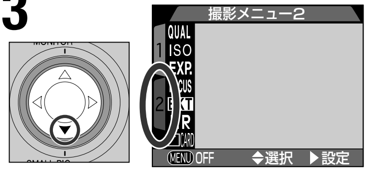
MENUボタンを押して、メニュー画面を表示させます（SETUPモードでは、モードダイヤルをセットすると自動的にメニュー画面が表示されます）。

2



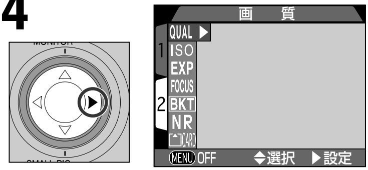
◀を押すとメニュー画面左側の「1」のタブが赤く表示されます。

3



▼を押すと「2」のタブが赤く表示され、表示が切り換わります。

4

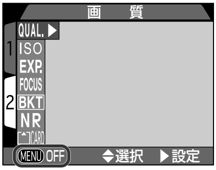


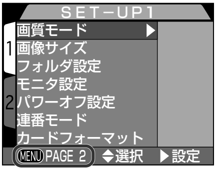
▶を押すと項目を選択できるようになります。

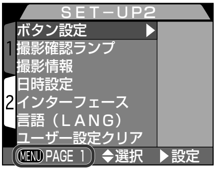
③ MENUボタンで切り換える

MENUボタンを押すと次のメニュー画面のページへの切り換え、またはメニュー画面の終了が行われます。

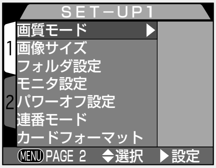
- メニュー画面の左下に**「MENU OFF」**と表示されている場合は、MENUボタンを1回押すとメニューが終了します。
- メニュー画面の左下に**「MENU PAGE2」**または**「MENU PAGE1」**と表示されている場合は、MENUボタンを押すと2ページ目または1ページ目のメニュー画面が表示されます。

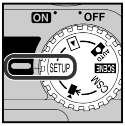




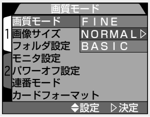


SET-UP1





モードダイヤルをSETUPにセットするとSET-UPメニューが表示されます

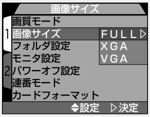


画質モード

画質モード（圧縮率）を3種類から選択できます。

☞ P.104

➡ FINE / NORMAL / BASIC

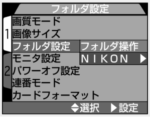


画像サイズ

画像サイズ（大きさ）を3種類から選択できます。

☞ P.105

➡ FULL / XGA / VGA

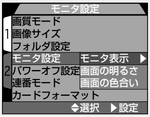


フォルダ設定

撮影・再生に使用するフォルダの選択と、操作を行います。

☞ P.106

➡
- フォルダ操作 ▶ 新規作成/名称変更/フォルダ削除
- NIKON（フォルダ名）

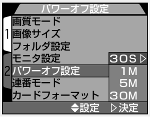


モニタ設定

モニタ表示、画面の明るさ、画面の色合いをセットします。

☞ P.110

➡
- モニタ表示 ▶ モニタON/レビューON/レビューOFF/モニタOFF
- 画面の明るさ ▶ （5段階にセット可能）
- 画面の色合い ▶ （11段階にセット可能）

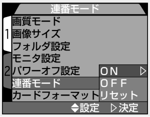


パワーオフ設定

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットできます。

☞ P.111

➡ 30S / 1M / 5M / 30M

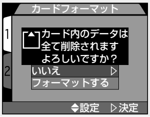


連番モード

画像のファイル名を連続する通し番号で自動的にセットできます。

☞ P.112

➡ ON / OFF / リセット



カードフォーマット

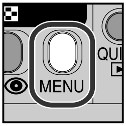
コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

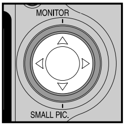
☞ P.113

➡ いいえ / フォーマットする

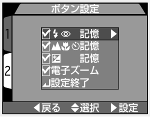
SET-UP2







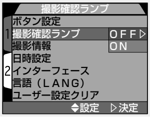
SET-UP1と2の画面はMENUボタン、またはマルチセレクターで切り換えます。



ボタン設定

操作ボタンのセット内容の記憶と、電子ズームのON/OFFの設定ができます。 ☞ P.113

⚡👁 記憶	▶	ON/OFF
▲🌷⏲ 記憶	▶	ON/OFF
☑ 記憶	▶	ON/OFF
電子ズーム	▶	ON/OFF

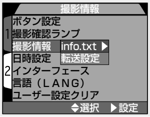


撮影確認ランプ

赤目軽減ランプを撮影時の確認ランプとして点灯できます。 ☞ P.114

OFF

ON



撮影情報

info.txtファイルの作成および、撮影時の画像の転送設定をセットできます。 ☞ P.114

info.txt	▶	OFF/ON
転送設定	▶	OFF/ON

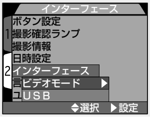


日時設定

内蔵時計の日時と年月日をセットします。 ☞ P.115

年・月・日・時・分

日付表示順



インターフェース

ビデオ出力方式やUSB通信方式を選択します。 ☞ P.116

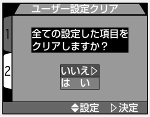
ビデオモード	▶	NTSC/PAL
USB	▶	PTP/Mass Storage



言語（LANG）

メニューに表示する言語を切り換えることができます。 ☞ P.117

D
E
F
J
S



ユーザー設定クリア

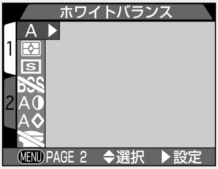
カメラにセットされた各種の設定をクリアします。 ☞ P.118

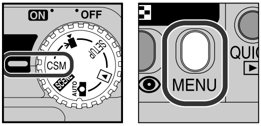
いいえ

は い

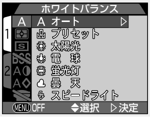
メニュー一覧（撮影メニュー）

撮影メニュー1





モードダイヤルをCSMにセットして、MENUボタンを押します。

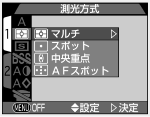


ホワイトバランス

撮影状況に応じて、適応するホワイトバランスがセットできます。

☞ P.123

- A オート
- プリセット
- 太陽光
- 電球
- 蛍光灯
- 曇天
- スピードライト



測光方式

撮影状況に応じて、測光方式を選択できます。

☞ P.125

- マルチ
- スポット
- 中央重点
- AFスポット

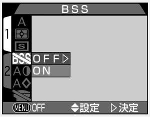


連写

撮影方式を5種類から選択できます。

☞ P.126

- 単写
- 連写
- マルチ連写
- 高速連写
- UH連写



BSS

最大10コマの連続撮影を行い、最もシャープだと判断される画像を1コマだけ記録します。☞ P.128

- BSS OFF
- BSS ON

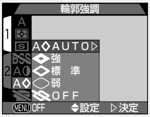


階調補正

撮影する画像のコントラストと明るさを変化させます。

☞ P.129

- AUTO
- 標準
- コントラスト+
- コントラスト−
- 明るめ
- 暗め
- モノクロ



輪郭強調

撮影した画像の輪郭の強調度合を変化させます。

☞ P.130

- AUTO
- 強
- 標準
- 弱
- OFF



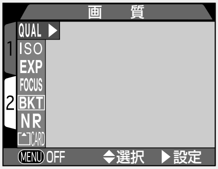
コンバータ

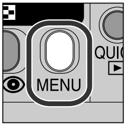
各種コンバータなどを使用する撮影に適したカメラのセットを行います。

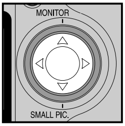
☞ P.131

- OFF
- ワイドコンバータ
- テレコンバータ1
- テレコンバータ2
- フィッシュアイ1
- スライドアダプタ

撮影メニュー2







撮影メニュー1と2の画面はMENUボタン、またはマルチセレクターで切り換えます。



画質
画質モードを4種類から、画像サイズを3種類から選択できます。
☞ P.132

設定	選択肢
画質モード	HI/FINE/NORMAL/BASIC
画像サイズ	FULL/XGA/VGA



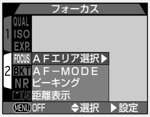
感度設定
撮像感度を変更することができます。
☞ P.133

AUTO
100
200
400



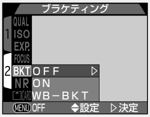
露出制御
カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることができます。
☞ P.133

設定	選択肢
露出モード	P/M
露出固定	OFF/ON/リセット
露出補正	+2.0～−2.0



フォーカス
AFエリア、AF-MODE、ピーキング、距離表示をセットできます。
☞ P.137

設定	選択肢
AFエリア選択	AUTO/MANUAL/OFF
AF-MODE	C-AF/S-AF
ピーキング	MF/ON/OFF
距離表示	m/ft



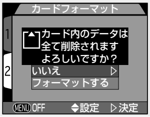
ブラケティング
露出またはホワイトバランスを自動的にずらした撮影を行います。
☞ P.140

設定	選択肢
OFF	
ON	3,±0.3/3,±0.7/3,±1.0/5,±0.3/5,±0.7/5,±1.0
WB-BKT	



ノイズ除去
長時間露出撮影時に、画面上に生じるノイズを軽減することができます。
☞ P.142

ON
OFF

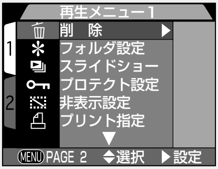


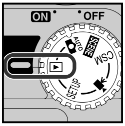
カードフォーマット
コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。
☞ P.142

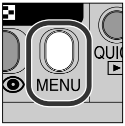
いいえ
フォーマットする

メニュー一覧（再生メニュー）

再生メニュー1







モードダイヤルを ▶ にセットして、MENUボタンを押します。



削除
複数の選択した画像や全画像の削除、およびプリント指定の解除が行えます。
☞ P.155

➡
- 選択画像削除
- 全画像削除
- プリント指定



フォルダ設定
再生するフォルダの選択と、フォルダ操作（新規作成、名称変更、削除）を行います。 ☞ P.157

➡
- フォルダ操作 ▶ 新規作成/名称変更/フォルダ削除
- 全てのフォルダ
- NIKON
- （フォルダ名）



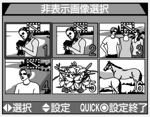
スライドショー
画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います。
☞ P.158

➡
- 開始
- インターバル設定 ▶ 2秒/3秒/5秒/10秒



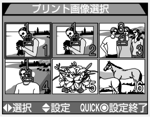
プロテクト設定
記録されている画像を不用意に削除しないようにプロテクトをかけることができます。 ☞ P.160

➡ （画像を選択してプロテクト設定）



非表示設定
指定された画像を再生画面やメニュー項目の画像選択画面で表示されないようにします。☞ P.161

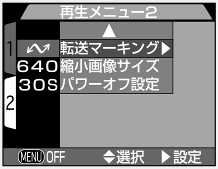
➡ （画像を選択して非表示設定）

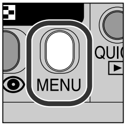


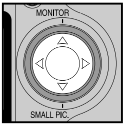
プリント指定
画像ファイルのプリントについて、枚数/情報の有無を指定することができます。 ☞ P.162

➡ （画像を選択してプリント枚数設定）

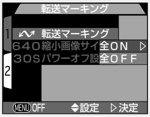
再生メニュー2







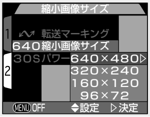
再生メニュー1と2の画面はMENUボタン、またはマルチセレクターで切り換えます。



転送マーキング

撮影した全画像をパソコンに転送する、または転送しないように設定できます。 ☞ P.164

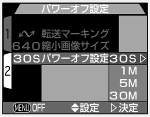
➡ 全ON / 全OFF



縮小画像サイズ

スモールピクチャー（縮小画像）のサイズを指定することができます。 ☞ P.165

➡ 640×480 / 320×240 / 160×120 / 96×72



パワーオフ設定

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットできます。 ☞ P.165

➡ 30S / 1M / 5M / 30M

2 基本操作

この章は次の3部で構成されています。

撮影前の準備

撮影前の準備を説明しています。

簡単な撮影

基本的な撮影方法を説明しています。

レビュー再生モード／簡易再生モード機能

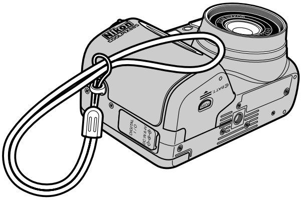
撮影中に、モードを再生モードに切り換えることなく、簡単に画像を再生したり削除する方法を説明しています。

撮影前の準備を行います。各ステップの詳細については、それぞれの参照ページをご覧ください。

ステップ1

P.46

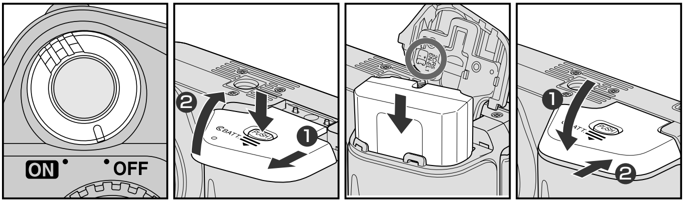
ストラップを取り付けます



ステップ2

P.47

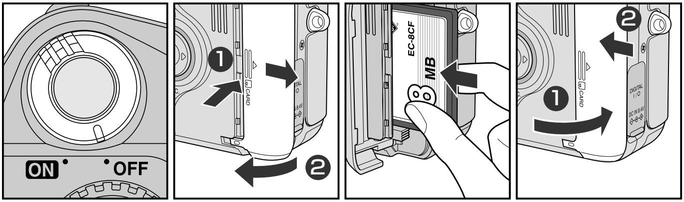
バッテリーを入れます



ステップ3

P.50

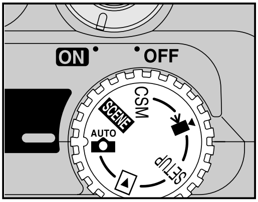
コンパクトフラッシュカードを入れます

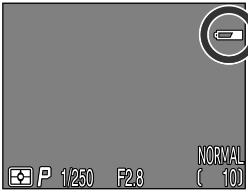


ステップ4

P.54

バッテリーの容量を確認します

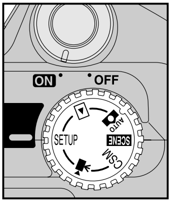


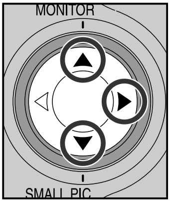


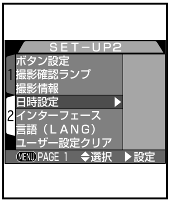
ステップ5

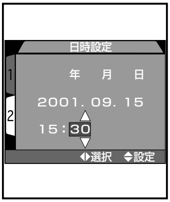
P.56

日付と時刻を設定します



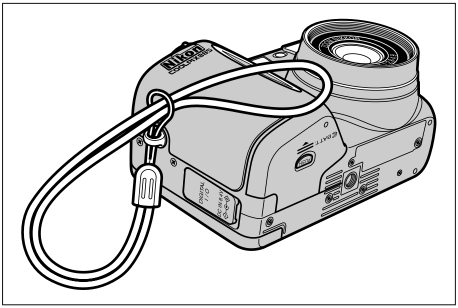




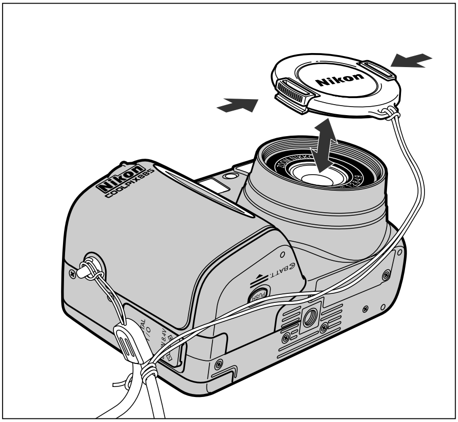


ステップ1：ストラップを取り付けます

ストラップはイラストのように取り付けてください。



■ レンズキャップの使い方



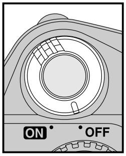
- レンズキャップの取り付け・取りはずしは、レバーを押し込んで行ってください。
- レンズキャップの紛失を防止するため、付属のひもをレンズキャップの穴に通して、ストラップに結んでおくことをおすすめします。

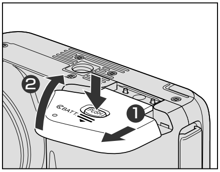
ステップ2：バッテリーを入れます

このカメラには、付属の専用Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1、または市販の6Vリチウム電池（2CR5）を1本使用します。

1 電源スイッチをOFFにして、バッテリーカバーを開けます。

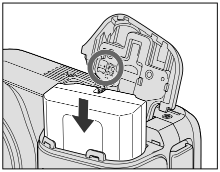
- バッテリーカバーロック解除ボタンを押しながら、バッテリーカバーを矢印方向にスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。



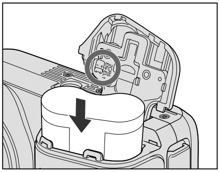


2 バッテリーを入れます。

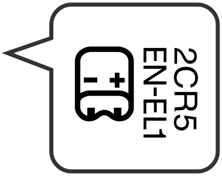
- 付属のリチャージャブルバッテリーEN-EL1をバッテリーカバーの裏側に表記されている ⊕ ⊖ の指示にしたがってカメラに挿入します。
- 6Vリチウム電池（2CR5）をご使用になる場合も、EN-EL1と同様の向きで挿入します。



EN-EL1



2CR5

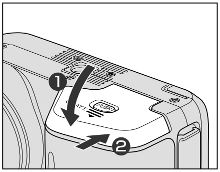


バッテリーカバー裏側の
⊕ ⊖ の指示表示

> **メモ　付属のバッテリーについて**
>
> - 電源には、付属の専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1の使用をおすすめします。EN-EL1は付属のバッテリーチャージャーで充電することができます。
> - 付属のリチャージャブルバッテリーEN-EL1はフル充電されていません。バッテリーの容量が少ない場合は、付属のチャージャーを使用して、バッテリーを充電してください。バッテリー容量の確認方法は、**「撮影前の準備ーステップ4：バッテリーの容量を確認します」**（☞ P.54）を参照してください。

3 バッテリーカバーを閉じます。

- バッテリーカバーを押しながら矢印方向にスライドさせてバッテリーカバーを閉じ、ロックします。

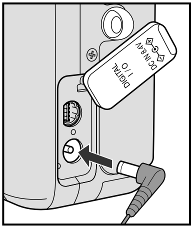


! 注意 バッテリーについてのご注意

- 専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1の取り扱いについてはバッテリーの使用説明書をご参照ください。また、バッテリーを入れる際は、**「安全上のご注意」**の**「警告」**、**「危険」**（☞ P.4〜9）や**「バッテリーの取り扱いについて」**（☞ P.13）の注意事項を必ずお守りください。
- バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの容量が十分な状態（バッテリー表示が何も表示されない状態）を示すことがありますのでご注意ください。
- カメラの液晶モニタに**「電池残量がありません」**と表示されたEN-EL1をカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。COOLPIX885をEN-EL1で使用中に**「電池残量がありません」**と表示された場合は、EN-EL1を充電してご使用ください。
- カメラの使用直後にはバッテリーが熱くなっていることがあります。バッテリーを取り出す場合は、カメラの電源をOFFにしてバッテリーの温度が下がるのを待ってから取り出してください。
- 6Vリチウム電池（2CR5）で長時間カメラを使用した場合、グリップが熱くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラを三脚に取り付けた状態でバッテリーの交換はできません。

メモ　使用できるその他の電池および電源について

- COOLPIX885は、市販の2CR5リチウム電池を使用することもできます（2CR5リチウム電池は充電できません）。
- 再生時やパソコンとの接続時など、カメラを長時間ご使用になる場合は、別売のACアダプタEH-53、ACアダプタ／バッテリーチャージャー EH-21（☞ P.181）のご使用をおすすめします。
  ACアダプタを使用すると、家庭用電源（AC100V）からCOOLPIX885に電源を供給することができます。ACアダプタを使用する時は、次のことにご注意ください。
  - ACアダプタ端子を抜き差しする時は、カメラの電源がOFFになっていることを必ず確認してください。
  - COOLPIX885のDC入力端子には、ACアダプタEH-53、EH-21以外のものを接続しないでください。
  - ACアダプタを長時間接続すると、カメラ本体、ACアダプタが熱を持つことがありますが、故障ではありません。
  - リチャージャブルバッテリーEN-EL1をCOOLPIX885に入れたまま充電することはできません。



ステップ3：コンパクトフラッシュカードを入れます

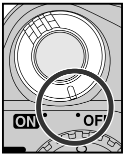
COOLPIX885は、画像や撮影データをコンパクトフラッシュカードに記録します。

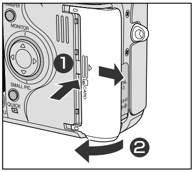
- コンパクトフラッシュカード使用上のご注意についてはP.182、およびコンパクトフラッシュカードの使用説明書をご覧ください。

■ コンパクトフラッシュカードの入れ方

1 電源スイッチをOFFにして、コンパクトフラッシュカードカバーを開けます。

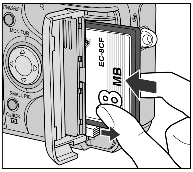
- コンパクトフラッシュカードカバーをスライドさせてから開けます。



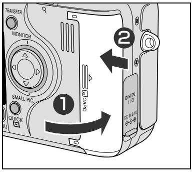


2 コンパクトフラッシュカードを入れます。

- コンパクトフラッシュカードは、ラベル面をカメラの液晶モニタ側に向けて差し込みます。カードが正しく装着されるとイジェクトレバーが手前に出てきます。



3 コンパクトフラッシュカードカバーを閉じます。



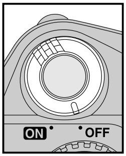
注意 コンパクトフラッシュカードを装着する時のご注意

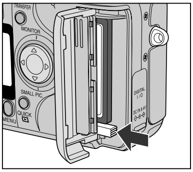
- コンパクトフラッシュカードを装着する時は、電源スイッチがOFFになっていることを必ず確認してください。
- コンパクトフラッシュカードは無理に差し込まないでください。カメラやコンパクトフラッシュカードの破損の原因となります。

■ コンパクトフラッシュカードの取り出し方

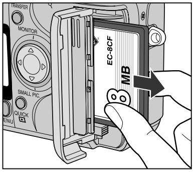
1 電源スイッチをOFFにして、コンパクトフラッシュカードカバーを開け、イジェクトレバーを押し込みます。

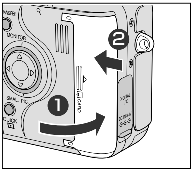
- イジェクトレバーを押し込むと、スロットに差し込まれていたコンパクトフラッシュカードが少し押し出されます。





2 コンパクトフラッシュカードを取り出し、コンパクトフラッシュカードカバーを閉じます。





注意 コンパクトフラッシュカードを取り出す時のご注意

- コンパクトフラッシュカードを取り出す時は、電源スイッチがOFFになっていることを必ず確認してください。
- カメラの使用直後には、コンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。

2 基本操作 撮影前の準備

■ コンパクトフラッシュカードのフォーマットについて

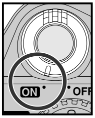
コンパクトフラッシュカードをはじめてCOOLPIX885で使う場合には、COOLPIX885で使用できるように、あらかじめカードをフォーマット（初期化）する必要があります。以下の手順でフォーマットをしてください。ただし、付属のコンパクトフラッシュカードはフォーマットずみです。

! 注意　コンパクトフラッシュカードをフォーマットする時のご注意

カードのフォーマットをすると、カード内の画像とデータはすべて消去されます。フォーマットする前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします。

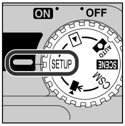
1 **電源スイッチをOFFにして、コンパクトフラッシュカードをCOOLPIX885に装着します**（☞ P.50）。

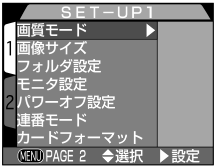
2 **電源スイッチをONにします。**



3 **モードダイヤルをSETUPにセットし、SET-UPメニューを表示させます。**

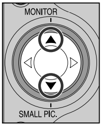
- コンパクトフラッシュカードのフォーマットは、撮影メニューでも行うことができます（☞ P.142）。

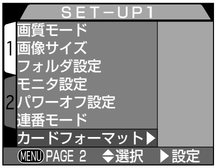


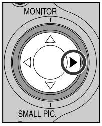


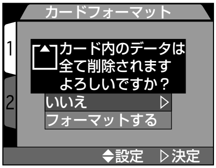
4 **「カードフォーマット」を選択します。**

- マルチセレクターの▲/▼で**「カードフォーマット」**を選択して、▶を押すとカードフォーマット画面に切り換わります。



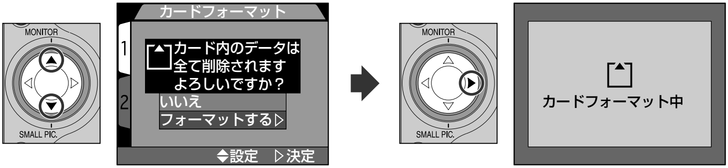






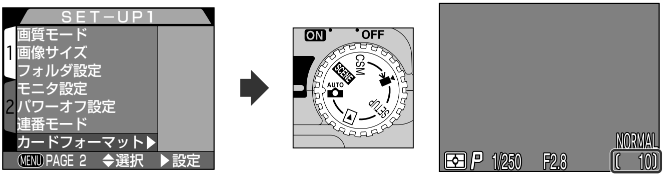
5 「フォーマットする」を選択します。

- ▲ / ▼で**「フォーマットする」**を選択して、▶を押すとカードフォーマットがはじまり、**「カードフォーマット中」**という表示されます。フォーマットが終了するとSET-UPメニュー画面に戻ります。



6 モードダイヤルをAUTOにセットして、撮影可能枚数を確認します。

- フォーマットが終了したらモードダイヤルをAUTO、SCENE、CSMのいずれかにセットして、液晶モニタで撮影可能枚数を確認してください。



メモ　カードフォーマットを行わない場合について

カードフォーマットを行わない場合は、カードフォーマット画面で▲ / ▼で**「いいえ」**を選択して、◀ / ▶を押すと、SET-UPメニューの画面に戻ります。

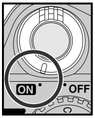
注意　カードフォーマットを行う場合のご注意

「フォーマットする」を選択してマルチセレクターの▶を押すと、すぐにフォーマットがはじまり、取り消すことはできませんので、ご注意ください。フォーマットすると、全てのデータが削除されます。また、フォーマット中はコンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

ステップ4：バッテリーの容量を確認します

バッテリーを入れた時や、撮影の前などには、必ずバッテリー容量をチェックしてください。

1 電源スイッチを ON にします。



2 液晶モニタでバッテリーチェック表示を確認します。

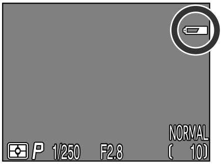


表　示	意　味	カメラの状態
表示なし	バッテリーの容量は十分です。	通常
（点灯）	バッテリーの容量が少なくなりました。充電することをおすすめします。※1	通常（連写可能枚数に制限があります）
電池残量がありません	バッテリーの容量がなくなりました。充電済みのバッテリーと交換してください。※2	撮影不可

※1：6Vリチウム電池をご使用の場合は、予備の電池をご用意ください。
※2：6Vリチウム電池をご使用の場合は、新しい電池と交換してください。

- 撮影の際は予備のバッテリーをご用意することをおすすめします。
- バッテリーの残量が全くなくなった時は、カメラの全機能が停止します。
- バッテリーの残量がなくなっても、コンパクトフラッシュカードにいったん記録された画像・撮影データは保持されます。
- 液晶モニタをオフにして（☞ P.63）ファインダーで撮影することで、バッテリーの消耗を防ぐことができます。

メモ　付属のバッテリーEN-EL1について

付属のバッテリーEN-EL1はフル充電されていません。はじめてバッテリーをご使用になる時は、バッテリーチェック表示を確認して、バッテリーの容量が少ない場合は付属のチャージャーを使用してバッテリーを充電してください。充電方法はチャージャーの使用説明書をご覧ください。

注意　バッテリーチェック表示についてのご注意

- バッテリーの残量がなくなると、液晶モニタに**「電池残量がありません」**という警告メッセージが表示されます。この警告メッセージが表示された時は、EN-EL1を充電してからご使用ください。
- カメラの液晶モニタに**「電池残量がありません」**と表示されたEN-EL1をカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。EN-EL1を充電してからご使用ください。
- **「電池残量がありません」**と表示された場合にACアダプタを接続しても、バッテリーチェック表示が正しく表示されない場合があります。電源スイッチをいったんOFFにして、再度電源を入れてください。

時計のバックアップ用電池について

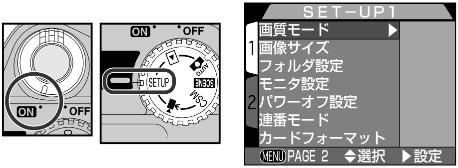
COOLPIX885には、時計の作動とカメラの設定内容の記憶用にバックアップ用電池が内蔵されています。カメラにバッテリーを入れるか、別売の専用ACアダプタを使って家庭用電源に接続するとバックアップ用電池の充電を開始し、数時間で充電が完了します。充電が完了すると、カメラからバッテリーを取り出したり、専用ACアダプタを取りはずしても、記憶された日時やカメラの設定内容は数時間保持されます。長時間カメラにバッテリーが入っていない状態が続いた場合は、記憶された日時のデータやカメラの設定内容は失われますので、再度設定してください。

- 充電が不十分な場合、一度セットした日付データや、操作ボタン・メニューで設定した内容が失われることがあります。
- 記憶されたデータ（日時、カメラの設定内容）が失われた場合は液晶モニタに時計マークが点滅します（☞ P.23）。
- 長期間使用しない場合はバッテリーを抜いて保管し、撮影前に日時を再設定してください。

ステップ5：日付と時刻を設定します

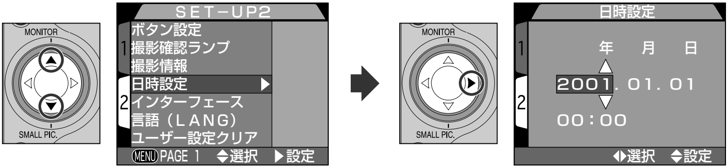
ご購入時にはCOOLPIX885は時計の日付と時刻の設定はされていません。はじめてお使いになる時は、以下の手順にしたがって日付と時刻をセットしてください。撮影した画像と動画には、設定した日付と時刻が撮影日時として記録されます。

1 電源スイッチをONにし、モードダイヤルをSETUPにしてSET-UPメニューを表示させます。



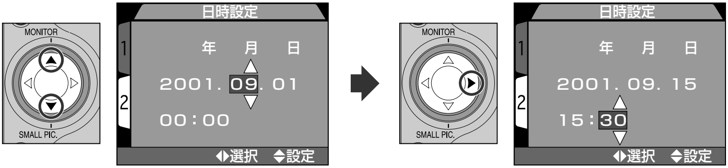
2 「日時設定」を選択します。

- マルチセレクターの▼を押してSET-UPメニューの**「日時設定」**を選択し、▶を押すと**「日時設定」**の画面に切り換わり、**「年」**の表示が点滅します。



3 「年」「月」「日」「時」「分」をセットします。

- 数値は▲を押すごとに大きくなり、▼を押すごとに小さくなります。数値をセットして▶を押すと次の位置に赤い表示が移動し、点滅します。
- この手順を繰り返して、年、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

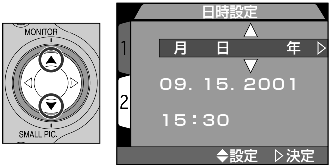


年 → 月 → 日 → 時 → 分 → 日付表示順

- 「年」の数値は、1970～2037の範囲でセットできます。

4 日付表示順をセットします。

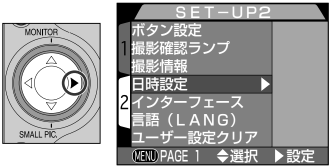
- 日付表示順にカーソルを合わせて▲ / ▼を押すと、日付表示順は以下の順に移動します。



年 月 日 ⟷ 月 日 年 ⟷ 日 月 年

5 日付と時刻が設定されます。

- 日付表示順を選択して▶を押すと、日付と時刻の設定が完了し、時計の計時が開始されます。液晶モニタの画面は、日付設定画面からSET-UPメニュー画面に戻ります。



メモ 日付と時刻の撮影画面内の写し込みについて

「日時設定」を行うと撮影日時が画像データとともに記録され、画像を再生した時（☞ P.144）などに確認することができますが、撮影画面内には写し込まれていません。ただし、プリント時に撮影日をプリントすることはできます（☞ P.162）。

! 注意 時計マークについて

日時と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタの右上に時計マークが点滅します。日時と時刻が設定されていなくても撮影に影響はありませんが、撮影された画像の撮影日時情報には、**「0000.00.00　00：00」**と記録されます。

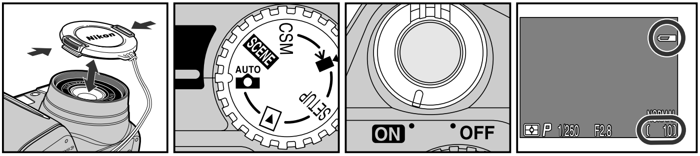
簡単な撮影

ここでは、モードダイヤルをAUTOまたはSCENEにセットして行う基本的な撮影の方法について説明しています。オートモードは、各機能のセットをカメラまかせにして撮影を行えるモードで、デジタルカメラを初めてお使いになる方でも、手軽にきれいな写真を撮ることができます。
また、シーンモードでは、さまざまな撮影シーンに応じてモードを選択するだけで、イメージに合った写真を撮ることができます。

ステップ1

P.60

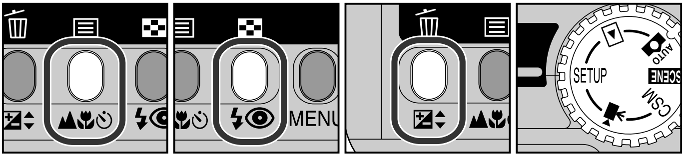
撮影を始める前に



ステップ2

P.61

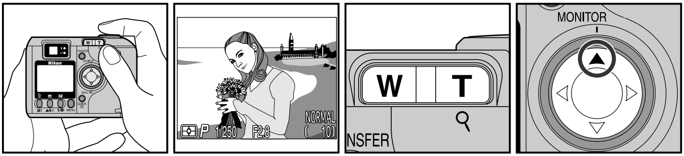
カメラの設定内容を確認します



ステップ3

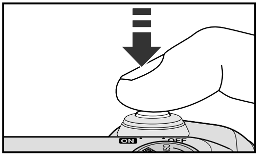
P.62

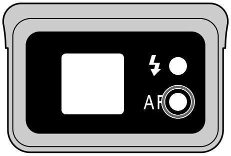
構図を決めます



ステップ4 P.64

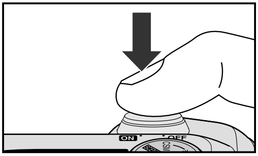
ピントを合わせます

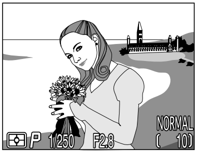




ステップ5 P.66

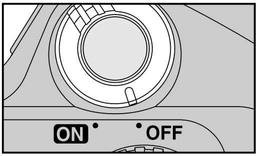
撮影します





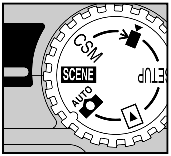
ステップ6 P.67

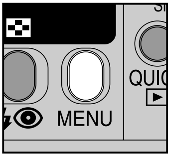
カメラの電源をOFFにします

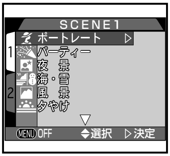


ステップ7 P.68

シーンモードで撮影してみましょう









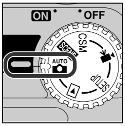
ステップ1：撮影を始める前に

撮影の前に、次の手順で準備を行ってください。

1 レンズキャップをはずします。

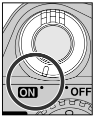
- レンズキャップを装着したまま電源スイッチを入れると、液晶モニタに**「レンズキャップがついています」**と警告メッセージ（☞ P.186）が表示されます（▶および SETUP以外のモードにセット時）。

2 モードダイヤルを AUTO にセットします。



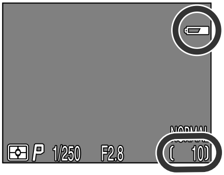
3 電源スイッチを ON にします。

- ファインダー横の緑色LEDが数秒間点灯し、レンズが繰り出します。液晶モニタに撮影画面、カメラの設定内容が表示されます。



4 バッテリー容量と撮影可能枚数を確認します。

- 液晶モニタにバッテリーチェック表示 ▭ が表示された場合は、早めにバッテリーを充電、または交換してください。
  「電池残量がありません」と警告表示された場合は、充電済みのバッテリーまたは新品の6Vリチウム電池と交換してください。（☞ P.54）
- 液晶モニタには、撮影可能なコマ数が表示されます。コンパクトフラッシュカードに撮影可能なメモリ容量がない場合には、**「メモリー残量がありません」**と警告表示され、撮影することができません。新しいコンパクトフラッシュカードに交換するか、記録されている画像を削除してください。（☞ P.155）
  また、画質モードや画像サイズを変更することによって、撮影可能な状態になる場合があります。（☞ P.103）



ステップ2：カメラの設定内容を確認します

ご購入後に初めてCOOLPIX885をご使用になる場合は、カメラの各撮影機能は下表のように設定されています。この状態を「初期設定」といいます。
この「簡単な撮影」では、はじめてデジタルカメラをお使いの方でも、簡単に撮影が行えるように、初期設定の状態で撮影手順を説明しています。

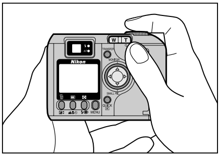
カメラの機能	初期設定	内　容	操作ボタン／メニュー	参照ページ
フォーカスモード	オートフォーカス	カメラとの距離が30cm以上（最広角〈W〉側）・60cm以上（最望遠〈T〉側）の被写体に自動的にピントを合わせます。	フォーカスモードボタン	P.92
スピードライトモード	自動発光	被写体が暗い時に、スピードライトが自動的に発光します。	スピードライトモードボタン	P.97
露出補正	±0	カメラが決定した露出値で撮影します。	露出補正ボタン	P.100
画質モード	NORMAL	標準的な圧縮率で撮影します。 記念写真などの撮影に適しています。	SET-UPメニュー	P.104
画像サイズ	FULL	2048×1536ピクセルの画像が撮影されます。画質モードがNORMALの場合、8MBのコンパクトフラッシュカードに約10枚の画像が記録できます。	SET-UPメニュー	P.105

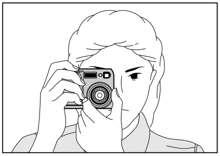
● 上記の5種類の撮影機能は、オートモードでの撮影時にも操作ボタンやSET-UPメニューで設定を変更できます。カメラの各機能を初期設定から変更する方法は、参照ページをご覧ください。

ステップ3：構図を決めます

1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、右手でカメラのグリップをしっかりと持ち、左手で支えます。



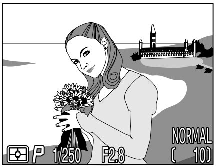


注意 カメラを構える時についてのご注意

- カメラ前面のレンズやスピードライトなどに指や髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
- ファインダーで太陽を直視しないでください。

2 構図を決めます。

- 写したいものにレンズを向け、液晶モニタまたはファインダーを見ながら構図を決めます。オートモードの撮影では、液晶モニタまたはファインダーの中央部でピント合わせを行うため、ピントを合わせたいものを画面の中央部に重ねてください。



液晶モニタ



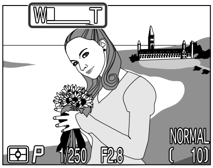
ファインダー

メモ 液晶モニタとファインダーについて

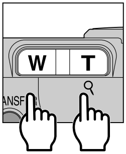
- 液晶モニタを使用して構図を決める場合は、表示された画像と同じ画像が撮影されます。ファインダーを使った撮影では、見える範囲と撮影して得られる画像が正確に一致しない場合があります。次の場合は液晶モニタを使用して撮影してください。
  - カメラの設定内容を確認しながら撮影を行いたい場合
  - マクロモードでの撮影（☞ P.93）
  - 被写体との距離が1.5m以内の場合
  - 電子ズームを使用している場合（☞ P.91）
  - コンバータ（別売）を使用している場合（☞ P.131）
- ファインダーを使用して構図を決める場合は、液晶モニタをオフにするとバッテリーを節約できます。また、明るい場所で液晶モニタが見えにくい時はファインダーを使用すると便利です。

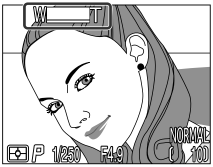
■ズームボタンについて

COOLPIX885は3倍のズームレンズを装備しています。ズームボタンを押すことにより、構図を決める際に撮影する範囲を変えることができます。



ワイド（広角）時画面





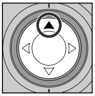
テレ（望遠）時画面

- ズームボタンの**W**を押すと、カメラはワイド（広角）側にズーミングして、撮影する範囲を広くすることができます。
- ズームボタンの**T**を押すと、カメラはテレ（望遠）側にズーミングして、被写体を大きく撮影することができます。
- ズームボタンを押している間、液晶モニタにはズーム量を示すインジケーターが表示されます。
- 液晶モニタを使用して撮影する場合には、最も望遠側にして、2秒間以上ズームボタンの**T**を押し続けると、自動的に電子ズームが働き、さらに4.0倍までの望遠撮影が行えます（☞ P.91）。

> **! 注意　電子ズーム撮影のご注意**
>
> 電子ズームでの撮影の場合には、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲が異なりますので、必ず液晶モニタで確認してください。

■ 液晶モニタの表示切り換えについて

モードダイヤルが撮影モード（AUTO、CSMのいずれか）にセットされている場合は、マルチセレクターの▲を押すごとに、液晶モニタの表示が次のように切り換わります。



▲を押すごとに、液晶モニタの表示が切り換わります。

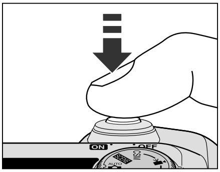


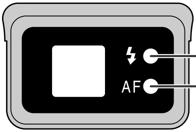
液晶モニタにカメラの設定内容と撮影画面を表示します。 → 液晶モニタに撮影画面だけを表示します。 → 液晶モニタをオフにします。

ステップ4：ピントを合わせます

1 写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央に合わせて、シャッターボタンを半押しし、ピントが合っていることを確認します。

- ピントが合うと、ファインダー右側の緑色LEDが点灯します。緑色LEDでピントの状態を確認できます。
- 被写体が暗い場合は、内蔵スピードライトが自動的に発光します。ファインダー右側の赤色LEDでスピードライトの状態が確認できます。





LED	表示	カメラの状態
赤色LED：⚡○	点灯	スピードライトの充電が完了しています。スピードライト撮影がいつでも行えます。
	点滅	スピードライトが充電中です。シャッターボタンから指を離し、点滅から点灯状態になるのを待って撮影を行ってください。
	消灯	被写体が明るいため、またはスピードライトモードが発光禁止になっているため、スピードライトは発光しません。
緑色LED：AF○	点灯	被写体にピントが合っています。シャッターボタンを深く押し込むと撮影が行えます。
	高速で点滅	被写体にピントを合わせることができません。**AFロック撮影**（☞ P.65）を行ってください。

! 注意　ピント合わせの際のご注意

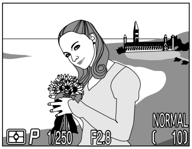
液晶モニタが点灯している状態では、常時オートフォーカスが行われます（**コンティニュアスAF** ☞ P.94）。ピントが合っていなくてもシャッターをきることができますので、液晶モニタでピントが合っていることを確認してください。

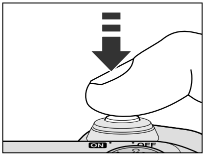
写したい被写体が構図の中央にないときは（AFロック撮影）

オートモード、またはシーンモード（ポートレート、クローズアップを除く）では、写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央に合わせてシャッターを半押しすると、ピントの合った状態に固定されます（AFロック）。同時に主要被写体の露出もカメラに記憶されます（AEロック）。AFロックは、主要被写体が構図の中央にない場合や、構図を工夫したい撮影の時などに便利です。

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

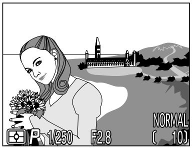
- 写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央に合わせ、シャッターボタンを半押しします。

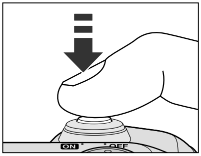


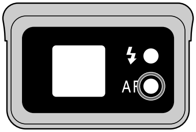


2 緑色LEDの点灯を確認し、シャッターボタンを半押ししたまま構図を決めます。

- ピントが合うとファインダー右側の緑色LEDが点灯します。このままシャッターボタンを半押ししている間は、ピントと露出が固定（AF／AEロック）されます。







! 注意　AFロック後の被写体との撮影距離について

緑色LEDの点灯後は主要被写体との撮影距離を変えないでください。被写体が動いて距離が変わった場合などは、いったんシャッターボタンから指を離し、再びシャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。

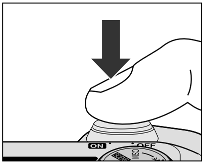
✓ ここをチェック！

- カスタムモード時にTRANSFERボタンを押すと、露出を固定するAEロック撮影が可能です（☞ P.28）。
- AEロック撮影は、マルチ測光、スポット測光、中央重点測光のいずれでも行うことができますが、マルチ測光は十分なAEロック効果が期待できないため、おすすめできません。　測光方式の選択については　☞ P.125
- AFロック撮影では、AFエリア選択（☞ P.137）をマニュアルで中央にセットしての撮影をおすすめします（カスタムモード時）。

ステップ5：撮影します

ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

- 撮影された画像は、液晶モニタに数秒間表示された後、コンパクトフラッシュカードに記録されます。



注意　手ブレについてのご注意

一気にシャッターボタンを押すと、手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと押し込んでください。

✓ ここをチェック！

- コンパクトフラッシュカードに画像を記録中に次の撮影を行うと、新しく撮影した画像はカメラ内の一時保存メモリに一時保存され、一時保存メモリの空き容量がなくなるまで撮影を続けることができます。（連写モード時に画像サイズがFULL、画質モードがNORMALの画像を約6枚保存できます）。一時保存メモリの空き容量がなくなると、砂時計マーク⌛が表示され、撮影することができません。⌛マークが消えると、再び撮影をすることができます。

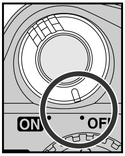
注意　画像記録中のご注意

画像をコンパクトフラッシュカードに記録している時には、緑色LEDが点滅します。緑色LEDの点滅が消えるまで、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像がこわれたりする場合があります。

ステップ6：カメラの電源をOFFにします。

撮影を終了したい場合は、電源スイッチをOFFにセットします。

- 電池の消耗を防ぐため、撮影を行わない時は、電源スイッチがOFFにセットされていることを必ず確認してください。



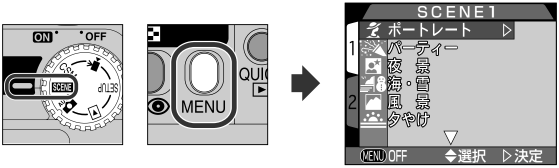
メモ　記録された画像について

電源をOFFにしても、コンパクトフラッシュカードに記録された画像は、消去されません。

ステップ7：シーンモードで撮影してみましょう

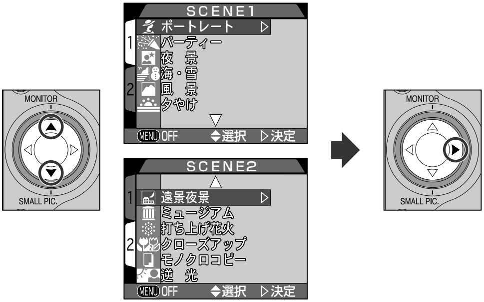
シーンモードでは、ポートレートや夜景、クローズアップなど、撮影シーンや被写体に合わせたモードにセットするだけで、イメージに近い写真がカメラまかせで簡単に撮影できます。各モードの特徴は次ページをご覧ください。

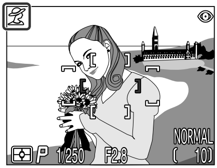
1 モードダイヤルを SCENE にセットし、MENUボタンを押して、シーンモード画面を表示させます。



- シーンモード画面では、12項目のシーンモードが2ページに分かれて表示されます。
- マルチセレクターの▲／▼を押して2ページ目に切り換えることができます。

2 シーンモード画面で希望するシーンモードを選択し、決定します。





- 選択したシーンモードのアイコン（絵表示）が液晶モニタの左上に表示されます。

- マルチセレクターの▲／▼を押して赤く表示されている部分を移動させてシーンモードを選択します。▶を押すと、選択したシーンモードがセットされて、撮影画面になります。
- シーンモード画面が表示されている時にMENUボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

! 注意　シーンモードについて

撮影状況によっては、必ずしも最適な画像とならないことがあります。その場合はオートモードで撮影し直すことをおすすめします。また、撮影後にパソコンなどでレタッチを行う場合にはシーンモードはおすすめできません。

■ 各シーンモードの特徴

ポートレート



背景をきれいにボカして、人物を浮き立たせて立体感がある、ナチュラルなポートレート写真が撮影できます。

- 背景のボケの程度は明るさで変化します。

パーティー



パーティーなどで、キャンドルライトをきれいに写すなど、雰囲気のある写真が撮影できます。

夜景



夜景をバックに人物を撮影したい時、背景を黒くつぶすことなく人物も背景も自然に表現した夜景写真が撮影できます。

海・雪



晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影することができます。

風景



木々の緑や青空などの輪郭と色のコントラストが強調された、鮮やかな写真が撮影できます。

夕やけ



美しい赤い夕やけや朝焼けを、見た目のままに美しく撮影することができます。

遠景夜景

遠景夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。



ミュージアム

スピードライトの発光が禁止されている博物館や美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影する時に使用します。

- 博物館、美術館等によっては、撮影自体禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。



打ち上げ花火

スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- 打ち上げられた花火を追いながら、花火がはじける直前にシャッターボタンを押すときれいに撮影できます。



クローズアップ

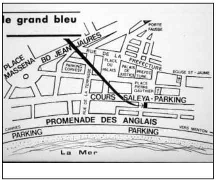
草花や昆虫、小物などを、色鮮やかに撮影することができます。



モノクロコピー

ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。

- 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。
- フォーカスモードが通常AFの場合、最短撮影距離がレンズ前約70cmとなります。
- 近くのものを撮影する場合には、マクロモードにセットしてください。



逆光

逆光状態の時に、人物が影にならずに美しく撮影することができます。



モードによっては、シャッタースピードが遅くなります。下記の「シーンモードと各機能の組み合わせについて」をご覧ください。

■ シーンモードと各機能の組み合わせについて

モード名	フォーカスモード ※1	スピードライトモード ※1	手ブレ ※2	ノイズ除去 ※4
ポートレート ※3	通常AF、セルフタイマー	全モードセット可能		○
パーティー	通常AF、セルフタイマー	赤目軽減自動発光	☆	
夜景	通常AF、セルフタイマー	赤目軽減自動発光	☆	○
海・雪	全モードセット可能	全モードセット可能		○
風景	遠景、セルフタイマー	発光禁止		○
夕やけ	通常AF、セルフタイマー、遠景	発光禁止		○
遠景夜景	遠景、セルフタイマー	発光禁止	☆☆	○
ミュージアム	通常AF、セルフタイマー、マクロ、マクロセルフ	発光禁止	☆	○
打ち上げ花火	遠景	発光禁止	☆☆☆	○
クローズアップ ※3	マクロ、マクロセルフ	発光禁止	☆	○
モノクロコピー	全モードセット可能	全モードセット可能		○
逆光	通常AF、セルフタイマー	強制発光		

※1 フォーカスモードはP.92を、スピードライトモードはP.97をご覧ください。
※2 手ブレとは撮影を行う際、手ブレに注意していただきたい度合いを示します。
☆ ： 脇をしめて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。
☆☆ ： 塀や台などにのせて、カメラを固定してください。
☆☆☆ ： 三脚を使用して、カメラを固定してください。
※3 AFエリアはMANUAL（5点）となります（☞P.137）。
※4 シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影では、ノイズ除去モードがセットされます(☞P.142)。

! 注意 シーンモードでのノイズ除去モードについて

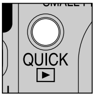
シーンモード時に、シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影では、自動的に画面上に発生するノイズを軽減する**ノイズ除去モード**（☞ P.142）にセットされますので、撮影後のコンパクトフラッシュカードへの記録に通常より2倍以上の時間がかかります。

レビュー再生モード／簡易再生モード

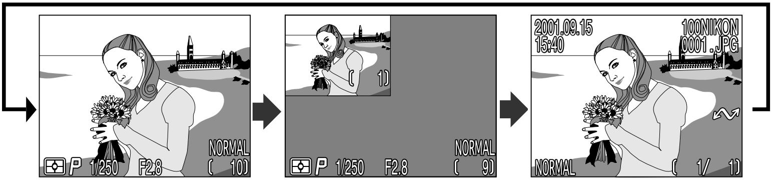
撮影した画像は、撮影後すぐに液晶モニタで確認でき、撮影の途中にカメラの設定や構図などをチェックしながら、次の撮影を行うことができます。
COOLPIX885には、撮影後すぐに画像を確認したい場合に便利な「レビュー再生モード」「簡易再生モード」機能が搭載されています。これらのモードでは、モードダイヤルを切り換えなくても、QUICK▶（クイックレビュー）ボタンを押すだけで、すぐに撮影画像を確認できます。

■ 撮影した画像をすぐに確認するには

モードダイヤルを撮影モードにセットしたまま、QUICK▶ボタンを押します。



- QUICK▶ボタンを押すごとに、液晶モニタの画面が次のように切り換わります。



撮影モード

レビュー再生モード
コンパクトフラッシュカードに記録された画像が液晶モニタの左上部分に小さく表示されます。
次の撮影を行う前に、最後に撮影した画像の内容を確認することができます。

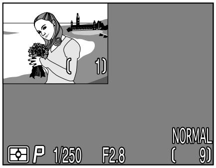
簡易再生モード
コンパクトフラッシュカードに記録された画像を液晶モニタいっぱいに再生（1コマ再生）します。このモードでは、画像の削除やスモールピクチャーの作成ができます。縮小した画像を9コマまたは4コマ同時に表示することもできます。

- レビュー再生モード、簡易再生モード時にシャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影をすることができる状態に戻ります。

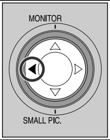
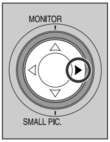
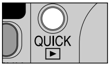
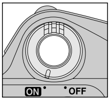
> **✓ ここをチェック！**
>
> 画像の確認は、レビュー再生モード、簡易再生モード機能の他に、モードダイヤルを▶にセットして、再生モードに切り換えても行えます（☞ P.144)。
> ▶モードにセットした状態で、MENUボタンを押すと、再生メニューが表示されます。再生メニューでは、複数の画像の削除や画像のプロテクト設定、スライドショー、転送マーキング、プリント指定などが設定できます（☞ P.154)。

レビュー再生モード

QUICK[▶]ボタンを押すと、レビュー再生モードになり、コンパクトフラッシュカードに最後に記録された画像が液晶モニタの左上に縮小表示されます。

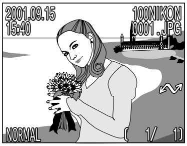


レビュー再生モード時には、以下の操作が行えます。

目的	ボタン	カメラの動作
前の画像を見る		1コマ前に記録された画像が表示されます。 先頭コマの再生時に押すと最終コマを表示します。 ボタンを押し続けると、コマ番号が変わり、ボタンを離した時点の画像が表示されます。
次の画像を見る		1コマ後に記録された画像が表示されます。 最終コマの再生時に押すと先頭コマを表示します。 ボタンを押し続けると、コマ番号が変わり、ボタンを離した時点の画像が表示されます。
簡易再生モードにする		画像を全画面表示します。
撮影する		シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。シャッターボタンを深く押し込むと、撮影できます。

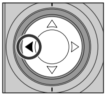
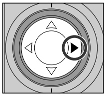
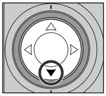
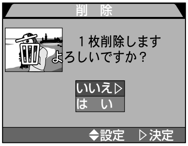
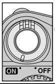
簡易再生モード

レビュー再生モードでQUICK▶ボタンを押すと、画面の左上に縮小表示されていた画像が液晶モニタ全体に表示される「簡易再生モード」になります。



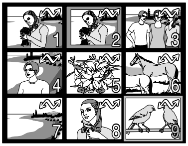
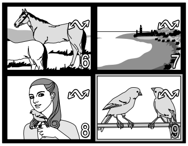
● 簡易再生モード時にはスモールピクチャー（縮小画像）は、グレー色の枠で表示されます。

簡易再生モードでの操作方法は次の通りです。

目　的	ボタン	カメラの動作
前の画像を見る		1コマ前に記録された画像が表示されます。 先頭コマの再生時に押すと最終コマを表示します。 ボタンを押し続けると、コマ番号が変わり、ボタンを離した時点の画像が表示されます。
次の画像を見る		1コマ後に記録された画像が表示されます。 最終コマの再生時に押すと先頭コマを表示します。 ボタンを押し続けると、コマ番号が変わり、ボタンを離した時点の画像が表示されます。
スモールピクチャー（縮小画像）を作成する		マルチセレクターの▼を押して、液晶モニタに表示されている画像のスモールピクチャー（縮小画像）を作成します（☞ P.79）
画像情報の表示を切り換える	☰ （▲✿ⓢ）	画像の詳細情報の表示を切り換えます（☞ P.147）。
表示されている画像を削除する	🗑 （☒⬍）	 削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、**「はい」**か**「いいえ」**のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。
サムネイル画像を見る	▦ （⚡◉）	▦ボタンを押すと、9コマまたは4コマのサムネイル（縮小表示）画像を一覧表示します。
パソコンに転送する画像を選択する	TRANSFER	転送設定された画像には〜（転送）マークが付きます。 転送画像を新たに選択する場合は、TRANSFERボタンを押します。転送設定を解除する場合には、転送設定されている画像を選択してTRANSFERボタンを押すと、選択が解除されて〜マークが消えます。
撮影する	 QUICK ▶	シャッターボタンを半押し、またはQUICK▶ボタンを押すと、すぐに撮影することができます。

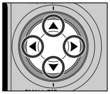
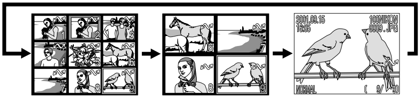
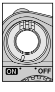
サムネイルレビューモード

簡易再生モード時に▦ボタンを押すと、液晶モニタに9コマまたは4コマのサムネイル画像（縮小画像）が一覧表示される「サムネイルレビューモード」になります。

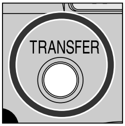
- サムネイルモード時にはスモールピクチャー（縮小画像）は、グレー色の枠で表示されます。

サムネイルレビューモードでの操作方法は次の通りです。

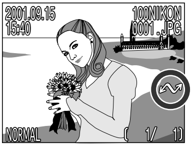
目的	ボタン	カメラの動作
画像を選択する		マルチセレクターの▲／▼／◀／▶を押すと、サムネイル画像が選択されます
サムネイル画像の表示切り換え	▦ (⚡◉)	▦ボタンを押すごとに、液晶モニタのサムネイル画像の表示が次のように切り換わります。  9コマ表示　4コマ表示　1コマ表示
表示されている画像を削除する	🗑 (☒⇕)	 削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲／▼を押して、**「はい」**か**「いいえ」**のいずれかを選択して▶を押すと、選択が実行されます。
パソコンに転送する画像を選択する	TRANSFER	転送設定された画像には ∿ （転送）マークが付きます。転送画像を新たに選択する場合は、TRANSFERボタンを押します。転送設定を解除する場合には、転送設定されている画像を選択してTRANSFERボタンを押すと、選択が解除されて ∿ マークが消えます。
撮影する	 QUICK ▶	シャッターボタンを半押し、またはQUICK▶ボタンを押すと、すぐに撮影することができます。

パソコンに転送する画像を選択する

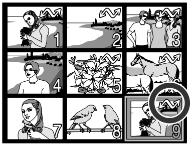
簡易再生モードまたはサムネイルレビューモード時にTRANSFERボタンを押すと、パソコンに転送したい画像を選択したり、すでに設定された転送設定を解除することができます。



TRANSFERボタン



簡易再生モード



サムネイルレビューモード

- 転送設定されている画像には、（転送マーク）が表示されています。転送設定されていない画像を選択してTRANSFERボタンを押すと、転送設定されて、が表示されます。
- 画像がすでに転送設定されている場合は、TRANSFERボタンを押すと、転送設定が解除されて、が消えます。
- モードダイヤルを▶にセットした再生モード時でも転送設定が行えます（☞ P.145）。

パソコンで使用する
P.78〜84

3 撮影した画像の楽しみ方

この章では、COOLPIX885で撮影した画像をパソコンで使用するための転送方法を紹介しています。

パソコンで使用する

撮影した画像はパソコンに転送すると、電子メールで送ったりホームページに掲載したりして活用することができます。ここでは、パソコンで活用するのに適したサイズの画像を簡単に作成する方法と、パソコンとの接続、転送方法を説明しています。

パソコンで使用する

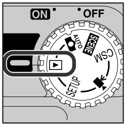
COOLPIX885で撮影したデジタル画像は、パソコンに転送して、パソコンの画面で見る、電子メールで送る、ハードディスクなどに記録するなど、さまざまな形態で簡単に利用することができます。
パソコンに画像を転送する時は、アプリケーションソフトNikon View 5を使用します。
この章では、スモールピクチャー機能を用いて、電子メールやホームページ（インターネット）用に画像を簡単に作成してパソコンに転送する方法を説明しています。
Nikon View 5の機能と操作の詳細についてはNikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMを参照してください。

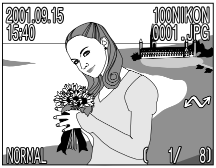
スモールピクチャー機能で電子メールやホームページ用の画像を作成する

撮影した画像から、元の画像はそのまま保存しながら、画像サイズを縮小した画像（スモールピクチャー）を作成することができます。作成できる画像のサイズ（ピクセル）は640×480、320×240、160×120、96×72の4種類で、いずれも、インターネットで使用する場合に適したサイズです。

1 1コマ再生モードまたは簡易再生モードにセットします。

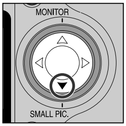
- サムネイルモード、レビュー再生モードでは作成することができません。





2 スモールピクチャーを作成したい画像を表示させ、SMALL PIC（マルチセレクターの▼）ボタンを押します。

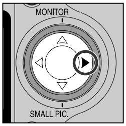
- スモールピクチャー作成の確認画面が表示されます。





3 「はい」を選択して、▶ボタンを押します。

- 設定されている縮小サイズで、スモールピクチャーが作成されます。

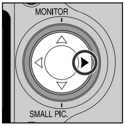




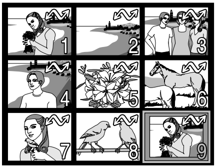
スモールピクチャーの
作成中

4 作成したスモールピクチャーを確認します。

- 作成されたスモールピクチャーは、最後に記録された画像の一つ後にグレー色の枠で表示されます。
- スモールピクチャーは、サムネイルモードでもグレー色の枠で表示され、確認するのに便利です。







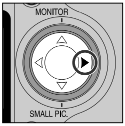
メモ　スモールピクチャーについて

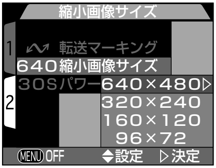
- スモールピクチャーの画質モードは、元画像の画質モードにかかわらずBASICになります。
- スモールピクチャーのファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前（拡張子.JPG）となります。例：SSCN0009.JPG

■ 縮小サイズを変更する場合は

1 再生メニューの「縮小画像サイズ」を選択します。

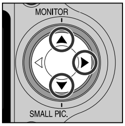
- 初期設定状態では、縮小画像サイズは**「640×480」**が選択されています。
  再生メニューの**「縮小画像サイズ」**については ☞ P.165

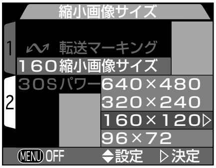




2 ▲/▼で作成する画像のサイズを選択して、▶を押します。

- 縮小画像サイズは4種類から選択できます。再生モードに戻ってP.79の操作を行うと、選択したサイズのスモールピクチャーが作成されます。





● 各縮小サイズの画像は、ホームページや電子メールなどインターネットでは次のような使い方に適しています。

縮小画像サイズ	用　途
640×480	13型モニターで見る、5×4cm程度の大きさでプリントする、ホームページのダウンロード用の画像に使用する
320×240	ホームページに画像を載せる、4画面合成して13型モニターで見る
160×120	ホームページの挿し絵用に使う
96×72	携帯電話に送る、ホームページのサムネイル用に使う

✓ ここをチェック！

- 次の場合は、スモールピクチャーを作成することができません。
  - スモールピクチャーからスモールピクチャーを作成する場合
  - フォルダ内にDSCN9999.JPGまたはSSCN9999.JPGという名前の画像がある場合
  - フォルダ内に200コマの画像がある場合
  - UH連写で撮影した画像、画質モードがHIの画像および動画からスモールピクチャーを作成する場合
- コンパクトフラッシュカードのメモリー残量が少ない場合、スモールピクチャーを作成できないことがあります。画像の削除などを行って、メモリー容量を確保してからスモールピクチャーを作成してください。
- スモールピクチャー画像は、スライドショーでは表示されません。
- 元画像に転送マーキングが設定されていると、スモールピクチャーにも自動的に設定されます。転送を行いたくない場合は解除してください。
- 元画像を削除しても、スモールピクチャーは削除されません。また、スモールピクチャーを削除しても、元画像は削除されません。
- 元画像にプロテクトまたはプリント指定が設定されていても、スモールピクチャーに自動的には設定されません。任意に設定してください。また、スモールピクチャーにプロテクトまたはプリント指定を設定しても、元画像には設定されません。

! 注意　スモールピクチャーについてのご注意

- COOLPIX885で作成したスモールピクチャーをCOOLPIX885以外のデジタルカメラで扱う場合には、正常に表示できないことやパソコンへの転送ができないことがあります。
- COOLPIX885以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。

電子メールやホームページ用の画像を転送する

電子メールやホームページ用の画像を作成したら、パソコンに転送します。ここでは、カメラのTRANSFERボタンを使ってパソコンに簡単に転送する手順を説明しています。

注意 カメラをパソコンに接続する前にご確認ください。

- カメラをパソコンに接続する前に、必ずNikon View 5をインストールしてください。
- Mac OS 10.1.3以降を使用してカメラのTRANSFERボタンで画像を転送する場合には、SETUPメニューの「**インターフェース：USB**」を「**PTP**」に設定してください（☞ P.116）。初期設定は「**Mass Storage**」に設定されています。

注意 Mac OS X10.1.2をご使用の場合のご注意

Mac OS X10.1.2をご使用の場合は、カメラのTRANSFERボタンで画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon View 5の[転送]ボタンを使用してください。詳しくは付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

1 画像を記録したコンパクトフラッシュカードをカメラに入れ、モードダイヤルを[▶]にセットして、電源スイッチを[ON]にします。

2 転送する画像の（転送マーク）を確認します。

- 画像上に（転送マーク）が表示されている画像がパソコンに転送されます。が表示されていない画像は転送されません。
- カメラの初期設定では、撮影されるすべての画像にマークが付く（転送される）設定になっています（☞ P.115）。転送しない画像は、選択してTRANSFERボタンを押してマークの表示を消してください。
- マークの表示されていない画像を選択してTRANSFERボタンを押すと、マークが表示され、パソコンに転送する設定になります。
- サムネイルモード時も、画像を選択してTRANSFERボタンを押すと、マークの表示／非表示が切り換えられます。
- 画像を確認したら、カメラの電源をOFFにします。

3 パソコンを起動します。

4 カメラとパソコンを接続します。

- パソコンに専用USBケーブルUC-E1を接続します。接続するポートについては、ご使用になるパソコンの説明書を参照してください。
- COOLPIX885のデジタル端子にUSBケーブルを接続します。

5 カメラの電源をONにします。

- カメラの電源をONにすると、レンズが繰り出し、カメラの液晶モニタには何も表示されません。
- 電源スイッチとTRANSFERボタンを除くすべてのボタンが使用できなくなります。

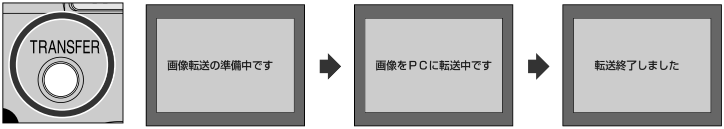
! 注意　レンズキャップを取りはずしてください！

COOLPIX885は、パソコンと接続してカメラの電源をONにすると、レンズが繰り出しますので、パソコンと接続する前に必ずレンズキャップをはずしてください。

6 Nikon View 5(ニコントランスファ）が自動的に起動します。

- パソコンが自動的にカメラを認識して、パソコンのモニタ画面にNikon View 5（ニコントランスファ）を表示します。詳しくは付属のNikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMをご覧ください。

7 TRANSFERボタンを押します。



- カメラの液晶モニタに「**画像転送の準備中です**」というメッセージが表示されます。
- 画像の転送が開始すると、「**画像をPCに転送中です**」というメッセージが表示されます。転送が完了すると「**転送終了しました**」と表示されます。

! 注意　転送中のご注意

画像の転送中は、

- USBケーブルを抜かないでください。
- カメラの電源をOFFにしないでください。
- コンパクトフラッシュカードを抜かないでください。

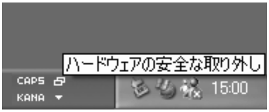
カメラ、パソコンが動かなくなることがあります。

8 カメラとパソコンの接続をはずします。

パソコンの画面に転送した画像が一覧で表示されたら、転送は終了です。
Windows XP Home Edition、Windows XP Professional、またはMac OS Xを使用して、SETUPメニューの「**インターフェース：USB**」を「**PTP**」に設定している場合（☞ P.82、116）は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜いてください。
USB通信方式を「**Mass Storage**」（初期設定）から変更していない場合（☞ P.116）は、必ず次の操作をしてからカメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜いてください。

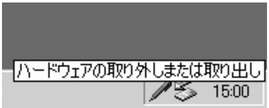
- Windows XP Home Edition/Professionalの場合：

  パソコン画面右下の「**ハードウェアの安全な取り外し**」アイコンをクリックして「**USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を安全に取り外します**」を選択してください。



- Windows 2000 Professionalの場合：

  パソコン画面右下の「**ハードウェアの取り外しまたは取り出し**」アイコンをクリックして「**USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を停止します**」を選択してください。



- Windows Millennium Edition (Me)の場合：

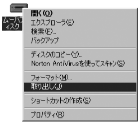
  パソコン画面右下の「**ハードウェアの取り外し**」アイコンをクリックして「**USBディスク－ドライブ(E:)の停止**」を選択してください。



※ 「ドライブ(E:)」のEはご使用のパソコンによって異なります。

- Windows 98 Second Edition (SE)の場合：

  マイコンピュータの中の「**リムーバブルディスク**」上でマウスを右クリックして「**取り出し**」を選択してください。

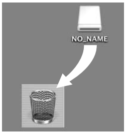


- Macintoshの場合：

  デスクトップ上の「**名称未設定**」（Mac OS 9）または「**NO_NAME**」（Mac OS X）のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



Mac OS 9



Mac OS X

4 機能の詳細

この章は次の6部で構成されています。

ボタンとダイヤルの使用方法

撮影モードでボタン・ダイヤルを使って行う操作について説明しています。

カメラのセットアップ

SETUPモードのメニューを使用したカメラの設定方法について説明しています。

カスタムモード／撮影メニュー

カスタムモードで使用できる機能や、撮影メニューを使用したカメラの設定方法について説明しています。

再生モード／再生メニュー

▶（再生）モードでの画像の再生方法や、再生メニューを使用したカメラの設定方法について説明しています。

接続

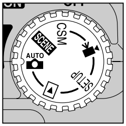
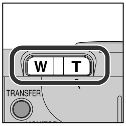
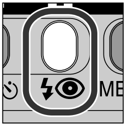
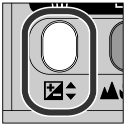
カメラと接続して、画像をパソコンに転送する方法について説明しています。Nikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMもあわせてご覧ください。

資料編

カメラのお手入れ方法や、カメラが正しく動作しない場合の対処方法、別売アクセサリー、主な仕様などについて説明しています。

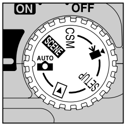
ボタンとダイヤルの使用方法

モードダイヤルとカメラ背面の各ボタンの機能について、撮影モードを中心に説明しています。

操作するボタン・ダイヤル	参照先	参照ページ
	モードダイヤルについて	P.87
	ズーム機能について	P.90～91
	フォーカスモードについて	P.92～95
	セルフタイマー機能について	P.96
	マニュアルフォーカスについて	P.120
	スピードライトモードについて	P.97～99
	露出補正について	P.100
	感度変更モードについて	P.121

モードダイヤルについて

COOLPIX885のモードダイヤルには、AUTO（オート）モード、CSM（カスタム）モード、SCENE（シーン）モード、動画アイコン（動画）モードの4種類の撮影モードと、▶（再生）モード、SETUPモードの合わせて6種類のモードがあります。



モードダイヤルをセットする位置によって、セットされるモードと、液晶モニタに表示される表示内容は次のようになります。

セット位置	モード		液晶モニタ表示	参照ページ
AUTO	撮影モード	オートモード	撮影画面を表示 （AUTOのアイコンは表示されません）	P.88
SCENE	撮影モード	シーンモード	画面の左上に、選択されているシーンモードのアイコンを表示	P.68
CSM	撮影モード	カスタムモード	撮影画面を表示 （アイコンは表示されません）	P.119
動画アイコン	撮影モード	動画モード	画面の左下に動画アイコンのアイコンを表示	P.89
▶	再生モード		最後に撮影した画像、または作成したスモールピクチャーの1コマ再生画面を表示	P.144
SETUP	SETUPモード		SET-UPメニュー画面を表示	P.102

撮影モードについて

COOLPIX885には4種類の撮影モードがあります。

モードダイヤルをAUTOにセットしたオートモードでの撮影で、ほとんどの撮影シーンに対応できますが、撮影状況によっては、SCENE（シーン）モードの中から撮影状況に合ったモードを選択するか、CSM（カスタム）モードで撮影機能を詳細に設定した方がより効果的な場合もあります。

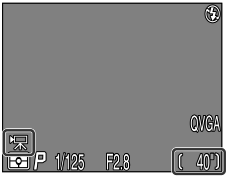
- スピードライトライトモードとフォーカスモードは、各撮影モードで使用できるものです。

モード	内　容	フォーカスモード	スピードライトモード
AUTO オートモード	一番手軽に撮影できるカメラまかせのモードです。スナップ撮影など、シャッターチャンス優先で撮影したい時などに便利です。	通常AF※ セルフタイマー 無限遠 マクロ セルフタイマー＋マクロ	自動発光※ 発光禁止 赤目軽減 強制発光 SLOW
SCENE シーンモード	12種類のシーンモードの中から撮影シーンや被写体に合ったモードを選択すると、イメージに近い写真を手軽に撮影できるモードです。 SCENE1：ポートレート、パーティー、夜景、海・雪、風景、夕やけ SCENE2：遠景夜景、ミュージアム、打ち上げ花火、クローズアップ、モノクロコピー、逆光	各シーンモードで使用できるフォーカスモード、スピードライトモードについては、P.71を参照してください	
CSM カスタムモード	操作ボタンと撮影メニューによって、撮影機能について詳細に設定できます。	通常AF※ セルフタイマー 無限遠 マクロ セルフタイマー＋マクロ	自動発光※ 発光禁止 赤目軽減 強制発光 SLOW
動画モード	最大40秒間の動画（音声なし）を撮影します。動画は画像サイズQVGA（320×240）、15フレーム／秒で撮影されます。	無限遠 マクロ	発光禁止

※：初期設定されているモード

■ 動画モード

動画モードをセットして、シャッターボタンを深く押し込むと動画撮影を開始します。もう一度シャッターボタンを押し込むと撮影が終了します。



- 液晶モニタのカウンタ部には、動画撮影可能な時間（最大40秒）が表示されます。動画の撮影は、撮影開始後40秒経過するか、コンパクトフラッシュカードの記録容量がなくなると自動的に終了します。
- 動画ファイル形式は、QuickTime Movie（ファイル拡張子「.MOV」）でコンパクトフラッシュカードに記録されます。

ズーム機能について （W｜T）　AUTO/SCENE/CSM

ズームボタンを操作することにより、被写体が写る大きさを変えて撮影することができます。

■ 光学ズーム

光学ズームではカメラのズームレンズを使用して、被写体を3倍まで拡大します。

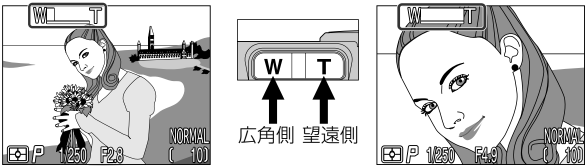
広角側にズーミングする

ズームボタンのW側を押すと、広角側にズーミングします。液晶モニタおよびファインダーで見える範囲が広くなります。

望遠側にズーミングする

ズームボタンのT側を押すと、望遠側にズーミングします。液晶モニタおよびファインダーで見える画像（被写体）が拡大されます。

- ズームボタンを押している間、液晶モニタの上部にズーム表示が表示されます。

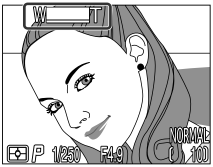


広角時画面　　　　望遠時画面

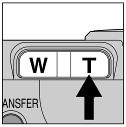
■ 電子ズーム

液晶モニタを使用して撮影する場合には、光学ズームを最も望遠側にして、ズームボタンの**T**側を2秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動します。

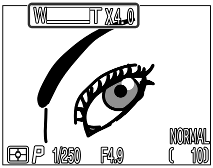
- 光学ズームの最大倍率（3倍）の1.2倍～4.0倍まで、0.2倍ステップで拡大することができます。
- 電子ズームが作動している時にズームボタンの**W**側を押すと、電子ズームの倍率がダウンし、さらに押し続けると電子ズーム倍率が消えて、電子ズームが解除されます。



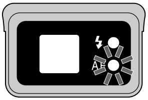
ズームボタンの**T**側を押して、光学ズームの最大倍率にします。



2秒間以上**T**側を押し続けます。



ズーム表示と電子ズーム倍率が表示されます。



電子ズームの作動中は、緑色LEDが低速点滅します。

メモ 電子ズームについて

電子ズームは、カメラのセンサーがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。

✓ ここをチェック！

電子ズーム時に撮影メニューの**「フォーカス：AFエリア選択」**（☞ P.137）で中央部以外のAFエリアが選択されている場合でも、一時的にAFエリアは中央に固定されます。また、電子ズーム時の測光モードは、中央部重点測光相当になります。

! 注意 電子ズームについてのご注意

- 液晶モニタがオフになっている場合は、電子ズームは作動しません。電子ズームを使用する前に、マルチセレクターの▲を押して、液晶モニタをオンにしてください（☞ P.63）。
- HIモード、マルチ連写、UH連写、動画、モノクロモード（階調補正）時には使用できません。
- 電子ズーム時には撮影画面の中央部を拡大するため、ファインダーで見える範囲と撮影範囲が異なります。必ず液晶モニタで確認しながら撮影してください。

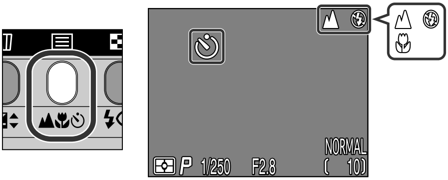
フォーカスモードについて

AUTO / SCENE / CSM

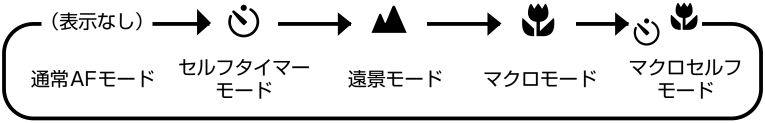
フォーカスモードは、写したい被写体との距離とセルフタイマーの設定を組み合わせた5種類のモードから選択できます。

- オートモードでは電源ON時にセットされるフォーカスモードは、**通常AFモード**に設定されています。

ボタンを押し、セットしたいフォーカスモード表示、またはセルフタイマー表示を表示させます（通常AFモードでは何も表示されません）。



- ボタンを押すと、フォーカスモード表示は次のように切り換わります。



フォーカスモードは、以下の5種類から選択できます（モードにより使用できる機能が制限されます）。

フォーカスモード	表示	機　能	こんな時に
通常AFモード	表示なし	被写体までの距離に応じて、自動的にピントを合わせます。 ピントの合う距離範囲は、広角（W）時は30cm〜無限遠、望遠（T）時は60cm〜無限遠です。	カメラまかせで一番手軽に撮影できるモードです。スナップ写真やポートレートをはじめとするほとんどの撮影に幅広く対応します。
セルフタイマーモード		通常AFモードでセルフタイマー撮影を行います。 セルフタイマー時間は、10秒か3秒のいずれかに設定できます。	撮影者自身が写りたい記念写真や、シャッターボタンを押す時に生じる手ブレを防止したい時に使用します。
遠景モード		レンズが遠景撮影に適した位置に自動的に駆動し、固定されます。 スピードライトは自動的に発光禁止になります。	窓越しの景色や風景、建物など、遠くにある被写体を撮影する時などに使用します。
マクロモード		最広角（W）時にレンズ前約4cm〜無限遠でピントを合わせます。	花や昆虫など小さな被写体の近接（マクロ）撮影をする時に使用します。
マクロセルフモード		マクロモードでセルフタイマー撮影を行います。 セルフタイマーは10秒か3秒のいずれかに設定できます。	近接（マクロ）撮影の際、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたい時に使用します。

! 注意　マクロモードについてのご注意

- が黄色に表示されているズーム位置では4cmまでピントを合わせることができます。
- マクロモードで近接撮影する場合は、ファインダーで確認した構図と実際に写る範囲との間にズレが生じますので、液晶モニタを見て構図を決めることをおすすめします（☞ P.62）。
- マクロモードでスピードライトを使用すると、光が十分に行きわたらないことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像をご確認ください。

ボタン設定 (☞ P.113)

- カスタムモード時は電源をOFFにしても、セットしてあるフォーカスモードを記憶しますが**「ボタン設定：ボタン記憶」**により、電源ON時に通常AFになるように変更できます。

4 機能の詳細　ボタンとダイヤルの使用方法

■ 通常AFモード、マクロモード撮影時のAF方式について

- 通常AFモード時、またはマクロモード撮影時に、液晶モニタが点灯している場合と、消灯している場合ではAFの動作方式が異なります。

AF方式	機　能	特　徴
コンティニュアスAF*1 （液晶モニタ：点灯）	シャッターボタンの操作に関係なく、オートフォーカスでピント合わせを繰り返します。シャッターボタンを半押しすると、そこでピントが固定（AFロック ☞ P.65）され、緑色LEDが点灯します。	• 被写体の動きに合わせてピントを追い続けるので、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。 • ピントが合っていなくてもシャッターがきれますので、緑色LEDおよび液晶モニタを確認して撮影してください。
シングルAF *2 （液晶モニタ：消灯）	シャッターボタンが半押しされている間のみピント合わせが行われ、ピントが合うと緑色LEDが点灯し、AFロックを行います。	• ピントが合っている時にだけシャッターがきれます。 • 液晶モニタを使用しないため、バッテリーの節約になります。 • ピントが合うまでは、シャッターをきることはできません。

*1 カスタムモードのAF動作を、撮影メニューの**「フォーカス：AFモード」**で**C-AF**（コンティニュアスAF）または**S-AF**（シングルAF）のいずれかを選択することができます（☞ P.138）。液晶モニタ点灯時にS-AFを選択した場合は、被写体にピントが合っていなくても撮影を行うことが可能ですので、撮影前に緑色LEDの点灯を確認してから撮影を行ってください。

*2 液晶モニタが消灯している場合、シングルAFとなりますが、オートパワーオフ状態（☞ P.111）から復帰した場合は、液晶モニタが点灯状態になるため、コンティニュアスAFになります。

■ AFエリアについて

- 撮影モードによって、ピントを合わせる時に使用するAFエリアが異なります。

撮影モード	特　徴
オートモード シーンモード	中央部のAFエリアのみを使用してピント合わせを行います。ピントを合わせたいものを画面の中央にして撮影してください。
カスタム モード	5つのAFエリアを使用してピント合わせを行います。 撮影メニューの**「フォーカス：AFエリア選択」**で、使用するAFエリアを選択することができます。初期設定では、カメラが自動的に5つのAFエリアを使用してピントを合わせる**「AUTO」**モードになりますが、任意のAFエリアを選択する**MANUAL**モード、および中央部のAFエリアのみを使用してピントを合わせる**OFF**が選択できます（☞ P.137）。

■ オートフォーカスが苦手な被写体について

COOLPIX885のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体についてピント合わせが可能ですが、被写体の条件によってはオートフォーカスでのピント合わせが正常に行えない場合があります。その場合は、以下の方法で撮影してください。

1. 液晶モニタ消灯時にオートフォーカスでのピント合わせができず、緑色LEDが高速に点滅してシャッターがきれない場合

※液晶モニタ点灯時はピントが合っていなくてもシャッターがきれます。

（例）
- 被写体が非常に暗い場合
- 太陽が背景に入った日陰の人物など画面内の輝度差が非常に大きい場合
- 白壁や背景と同色の服を着ている人物等被写体にコントラストがない場合

撮影方法

撮影したい被写体と同じ距離にあるほぼ同じ明るさの、コントラストのはっきりしたものでピントを合わせ、AFロック（☞ P.65）した後、構図を決めて撮影してください。

2. 緑色LEDが点灯し、シャッターがきれてもピントが合わない場合

（例）
- オリの中の動物等遠いものと近いものが混在する被写体
- 動きの速い被写体

撮影方法

撮影したい被写体と同じ距離にあるほぼ同じ明るさのものにあらかじめピントを合わせ、AFロックした後、構図を決めて撮影してください。

! 注意　AFロック時のご注意

シャッターボタンを半押ししてAFロックを行った場合には、同時にAEロック（露出値を保持する機能）も行われますので、露出には十分ご注意ください。

セルフタイマー撮影

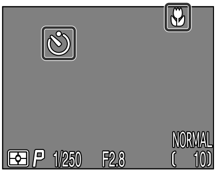
AUTO / SCENE / CSM

記念写真など、撮影者自身が写りたい時や、シャッターボタンを押す時に生じる手ブレを防止したい時などに使うと便利です。

1 ボタンを押して、セルフタイマー表示を点灯させます。

- セルフタイマーモードにはが表示されます。ピントが合う被写体までの最短距離は、レンズ先端から30cmです（ズームの位置は広角〈ワイド〉側）。
- マクロセルフモードでは、とが同時に表示されます。ピントが合う被写体までの最短距離は、レンズ先端から4cmです（ズームの位置は最広角〈ワイド〉側）。
- が黄色に表示されているズーム位置では、4cmまでピントを合わせることができます。



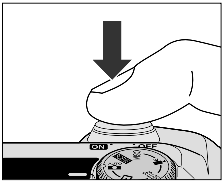


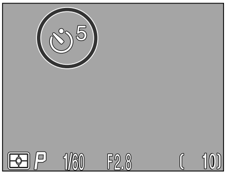
2 構図を決めます。

- 三脚などを使って、カメラを安定させて構図を決めてください。
- ピントを合わせたい被写体が最も手前に配置される構図にしてください。

3 シャッターボタンを深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます。

- シャッターボタンを1度押すと10秒間、2度押すと3秒間タイマーが作動します。セルフタイマーが作動しはじめると、液晶モニタにタイマー時間がカウントダウン表示されます。セルフタイマー表示ランプはシャッターがきれる約1秒前まで点滅し、撮影前の約1秒間点灯します。
- 作動中のセルフタイマーを一時停止する時は、シャッターボタンを10秒タイマー時は2回、3秒タイマー時は1回押します。セルフタイマー作動開始後のキャンセルは、一時停止の操作後にボタンを押してを消灯させるか、電源をOFFにします。
- カスタムモード時には、マニュアルフォーカスによるセルフタイマー撮影が可能です。





スピードライトモードについて　ϟ◎

AUTO / SCENE / CSM

撮影の目的や状況に応じて、５種類のスピードライトモードを選択できます。

ϟ◎ ボタンを押して、セットしたいスピードライトモード表示を表示させます（自動発光モードでは何も表示されません）。



- ϟ◎ ボタンを押すと、スピードライトモード表示は次のように切り換わります。



4

機能の詳細

ボタンとダイヤルの使用方法

● セットできるスピードライトモードは以下の通りです。
（シーンモードによっては選択できないスピードライトモードがあります）

スピードライトモード	表示	機　能	こんな時に
自動発光モード	表示なし	被写体が暗い時にスピードライトが自動的に発光します。	一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
発光禁止モード		スピードライトの発光を禁止します。	暗い場所で自然光を使って撮影する場合、スピードライトの使用が禁止された場所で撮影する時などに使用します。シャッタースピード表示が黄色く表示されている場合は手ブレに注意してください。
赤目軽減自動発光モード		人物の目が赤く写ってしまう赤目現象を軽減します。スピードライトが発光する前に赤目軽減ランプを約１秒間照射し、その後スピードライトが発光します。	ポートレート撮影に使用します（撮影の際、被写体の人物に赤目軽減ランプをしっかりと見るようにすると効果が上がります）。ただし、シャッターチャンスを優先させるような撮影にはおすすめできません。
強制発光モード		被写体の明るさとは関係なくスピードライトを発光させます。	昼間の屋外撮影での逆光の場合などに使用します。
スローシンクロモード	**SLOW**	主要被写体の背景の露出を考慮して、遅いシャッタースピードでスピードライトを発光します。	夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの人物もきれいに写したい場合に使用します。シャッタースピード表示が黄色く表示されている場合は手ブレに注意してください。

注意　発光禁止、スローシンクロモード時のご注意

- **発光禁止**、または**スローシンクロモード**を選択して暗い場所で撮影する際は、シャッタースピードが遅くなり、手ブレを起こしやすくなりますので三脚などを使用してカメラを安定させて撮影してください。また、シャッタースピードが1/4秒より長時間になる撮影では、液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯し、撮影画面にノイズが生じる場合があります。
- 次の場合は自動的に**発光禁止モード**になりますので、ご注意ください。
  - フォーカスモードが**遠景モード**▲にセットされている場合（☞ P.93）
  - シーンモードで、**「風景（）」「夕やけ（）」「遠景夜景（）」「ミュージアム（）」「打ち上げ花火（）」「クローズアップ（）」**にセットされている場合（☞ P.69, 70）
  - 撮影メニューの**「BSS」**がONにセットされている場合（☞ P.128）
  - 撮影メニューの**「連写」**で**「連写」「マルチ連写」「UH連写」**にセットされている場合（☞ P.126）
  - モードダイヤルが**（動画）**にセットされている場合（☞ P.89）
  - 撮影メニューの**「コンバータ」**がOFF以外にセットされている場合（☞ P.131）
  - 撮影メニューの**「露出制御：露出固定」**がONにセットされている場合（☞ P.136）

✓ ここをチェック！

- カスタムモード時にモードダイヤルの切り換え、電源のOFFなどによってモードをいったん終了してから、再びカスタムモードにセットした場合、スピードライトモードは、前回セットされていたスピードライトモードにセットされます。
- オート、シーンモード時は、自動発光モードまたは赤目軽減自動発光モードのいずれか（最後にセットされた方のモード）にセットされます。
- 40cmより近距離側でスピードライト撮影を行った場合、光が十分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。

ボタン設定（☞ P.113）　カスタムモード時は電源をOFFにしても、セットしてあるスピードライトモードを記憶しますが、**「ボタン設定：ボタン記憶」**により、電源ON時に自動発光モードまたは赤目軽減自動発光モードのいずれかになるように変更できます。

注意　スピードライト使用時のご注意

- スピードライト充電中にシャッターボタンを半押しすると、ファインダー右側の赤色LEDが点滅する場合があります。このような場合は、シャッターボタンからいったん指を離し、しばらくしてから再度半押しして、赤色LEDの点灯を確認してください。
- スピードライトを使用する時は、指や髪の毛などでスピードライトの前をさえぎらないように注意してください。スピードライトの前がさえぎられていると、撮影画像が暗くなったり、大きな影が写り込んだりする場合があります。

露出補正値のセット

AUTO/SCENE/CSM（P）

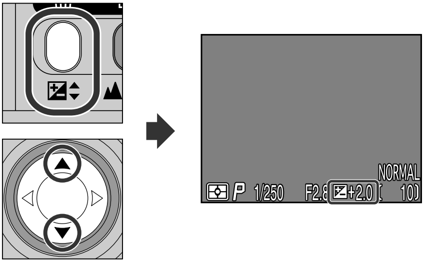
撮影条件等に合わせて露出補正が行えます。補正範囲は－2EVから＋2EVまでで、1/3EVステップで12段階の変更が行えます。

露出補正ボタンを押しながらマルチセレクターの▲/▼を押して、セットしたい露出補正値を表示させます。

- 露出補正時には、液晶モニタに露出補正マークと露出補正値が表示されます。
- セットできる補正値は次の通りです。

－2.0 ⟷ －1.7 ⟷ －1.3 ⟷ －1.0 ⟷ －0.7 ⟷ －0.3
⟷ 0.0（補正なし）⟷
＋0.3 ⟷ ＋0.7 ⟷ ＋1.0⟷ ＋1.3 ⟷ ＋1.7 ⟷ ＋2.0

- カスタムモードで、撮影メニューの**「露出制御：露出モード」**（☞ P.133）をM（マニュアル）にセットしている時には、露出補正は行えません。



メモ　露出補正をキャンセルするには

露出補正をキャンセルする時には、露出補正値を0.0にセットします。オートモード時は、電源をOFFにしてもキャンセルできます。

ここをチェック！

露出補正は、撮影メニューの**「露出制御：露出補正」**（☞ P.136）でも行えます。

ボタン設定
（☞ P.113）

- カスタムモード時は電源をOFFにしても、セットしている露出補正値が記憶されますが、**「ボタン設定：ボタン記憶」**により、電源ON時に露出補正なし（0.0）となるように変更できます。

カメラのセットアップ

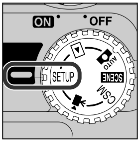
モードダイヤルをSETUPにセットして行えるメニューの設定方法について説明しています。

SET-UPメニュー

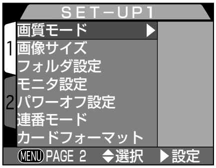
SETUPモードではSET-UPメニューによって、画質モード／画像サイズのセット、コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）や日時設定など撮影前の基本的な設定や、液晶モニタなどカメラの各種状態を設定することができます。

モードダイヤルをSETUPにセットし、SET-UPメニューを表示させます。

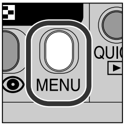
- SET-UPメニューは2画面で構成されています。
  メニューボタン、またはマルチセレクターの▲/▼で切り換えます。
- SET-UPメニューを終了するには、モードダイヤルをSETUP以外にセットするか、電源をOFFにしてください。

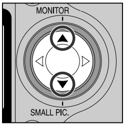


SET-UP1

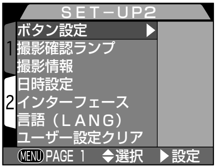


画質モード	P.104
画像サイズ	P.105
フォルダ設定	P.106
モニタ設定	P.110
パワーオフ設定	P.111
連番モード	P.112
カードフォーマット	P.113





SET-UP2



ボタン設定	P.113
撮影確認ランプ	P.114
撮影情報	P.114
日時設定	P.115
インターフェース	P.116
言語（LANG）	P.117
ユーザー設定クリア	P.118

画質モードと画像サイズの組み合わせによって決まる撮影可能枚数について

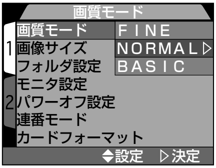
撮影された画像のファイル容量は、画質モードと画像サイズによって決定します。そのため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変化します。8MB、16MB、32MB、64MBのコンパクトフラッシュカードに記録できる画像コマ数の目安は次の通りです(JPEG圧縮の性質上、撮影枚数は画像の絵柄によって大きく異なります)。

	8MBカード			16MBカード		
	FULL	XGA	VGA	FULL	XGA	VGA
HI ※	0	—	—	1	—	—
FINE	4	18	43	10	37	86
NORMAL	9	34	71	19	69	144
BASIC	18	60	113	37	121	229

	32MBカード			64MBカード		
	FULL	XGA	VGA	FULL	XGA	VGA
HI ※	3	—	—	6	—	—
FINE	20	75	173	40	151	347
NORMAL	39	139	289	78	278	578
BASIC	75	243	459	151	488	918

※ 画質モードの「HI」は、SET-UPメニューでは選択できません。カスタムモードの撮影メニューでのみ選択できます。撮影メニューで「HI」にセットした状態で、オートまたはシーンモードにセットすると、自動的に「FINE」に切り換わります。

画質モード



COOLPIX885は、画像をJPEG形式で圧縮して記録します。画像の圧縮率を高くすると画像ファイルの容量が小さくなり、コンパクトフラッシュカードに記録できる枚数は増加します。ただし、圧縮してファイル容量を小さくすると画質が低下し、画像中の細かい部分の再現性は低下していきます。画質への影響は、被写体やプリントする画像、モニタに表示する時のサイズなどによって異なります。

画質モード	圧縮率	ファイルフォーマット	撮影用途
FINE	約1/4	JPEG	細かい柄模様、高層ビルの窓、吊り橋のワイヤーなどを細かくプリンタで表現したい場合など。
NORMAL	約1/8	JPEG	通常の記念撮影などの画像をコンピュータの画面に表示したり、プリントする場合など。
BASIC	約1/16	JPEG	インターネット等の電子メールで画像を送る時など、画質よりも画像のファイルサイズが小さくなることを優先させたい場合など。

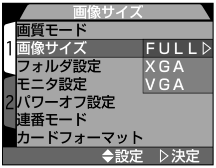
✓ ここをチェック！

セットした画質モードは、電源をOFFにしても記憶されます。

メモ　JPEGについて

「JPEG」は、JPEG圧縮規格を策定した「Joint Photographic Experts Group」の略語です。

画像サイズ



3種類の画像サイズ（画像の大きさ）を選択することができます。サイズが小さい画像は、電子メールで送る場合や、ホームページ用の画像として適していますが、大きくプリントすると、粒子が粗い画像になります。撮影後の使用方法に合わせて画像サイズを切り換えることによって、コンパクトフラッシュカードを無駄なく使用することができます。

画像サイズ	サイズ（pixel）	使用目的
FULL	2048×1536	この使用説明書のサイズからA4サイズ程度までの大きさでプリントする場合など。
XGA	1024×768	名刺サイズからカセットテープのサイズでプリントしたり、17型モニタに表示する場合など。
VGA	640×480	インターネットに掲載する場合や、電子メールで画像を送る場合、または13型モニタや、カメラで再生している画像をテレビに表示する場合など。

- プリント時の大きさは次の通りとなります（画像解像度を300dpiに設定した場合）。

画像サイズ	サイズ（pixel）	プリント時の大きさ
FULL	2048×1536	約17×13cm
XGA	1024×768	約9×7cm
VGA	640×480	約5×4cm

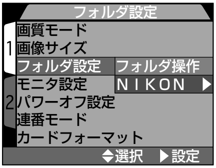
✓ ここをチェック！

セットした画像サイズは、電源をOFFにしても記憶されます。

メモ　スモールピクチャー機能

COOLPIX885では、撮影した画像から元の画像をそのまま保存しながら、画像サイズを縮小し、電子メールやホームページ用の画像に最適なサイズの画像（スモールピクチャー）を簡単に作成することができます（☞ P.79）

フォルダ設定



初期設定では、撮影した画像は、コンパクトフラッシュカードの「NIKON」フォルダの中に保存されます。フォルダ設定では、撮影した画像を保存するフォルダや、再生時に再生するフォルダを指定することができます。フォルダ操作では、フォルダの新規作成、名称変更、削除を行います。

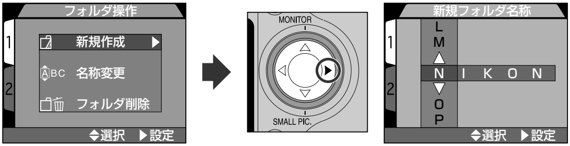
※「NIKON」フォルダは自動的に作成されるフォルダです。新規に作成されたフォルダは「NIKON」フォルダの下に表示されます。

［フォルダ操作］

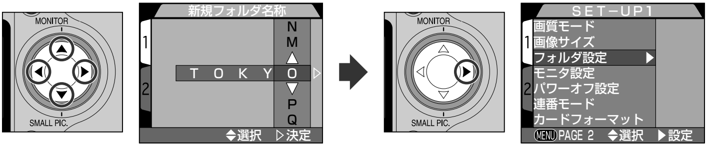
■ 新規作成

コンパクトフラッシュカード内に新規にフォルダを作成することができます。

1 「フォルダ操作」の詳細画面から「新規作成」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、「新規フォルダ名称」画面に切り換わり、「NIKON」の文字が表示されます。



2 ◀ / ▶を押して、変更したい文字位置にカーソルを移動し、▲ / ▼を押して文字を選択し、5文字の名称を完成させせます。最後に▶を押せば、新規にフォルダが作成され、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。



✓ ここをチェック！

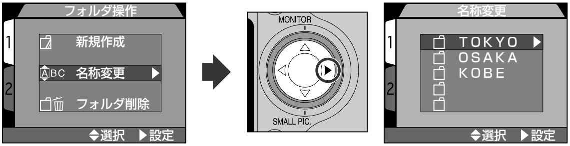
新規作成されたフォルダは、撮影・再生に使用するフォルダに設定され、撮影時には、新規作成したフォルダ名が液晶モニタに表示されます（NIKONフォルダは表示されません）。



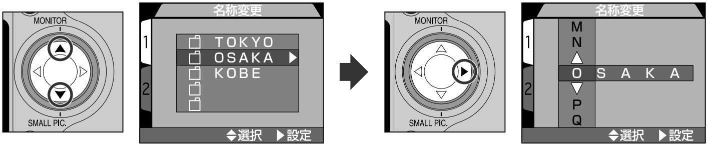
■名称変更

フォルダの名称を変更することができます（ただし、フォルダの名称がNIKONのフォルダは、変更することができません）。

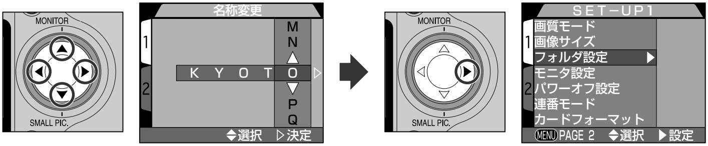
1 **「フォルダ操作」の詳細画面から「名称変更」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、名称変更するフォルダを選択する画面に切り換わります。**



2 **▲ / ▼を押して、名称変更するフォルダを選択し、▶を押すと、文字を入力する画面に切り換わります。**



3 **◀ / ▶を押して、変更したい文字位置に赤い表示を移動し、▲ / ▼を押して文字を選択し、5文字の名称を完成させます。最後に▶を押すと名称変更が終了し、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。**



✓ ここをチェック！

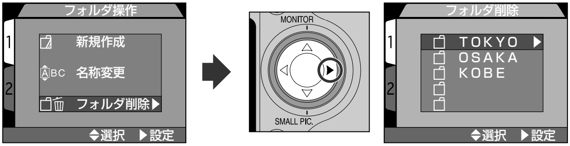
名称変更されたフォルダは、撮影・再生に使用するフォルダに設定され、撮影時には、名称変更したフォルダ名が液晶モニタに表示されます。



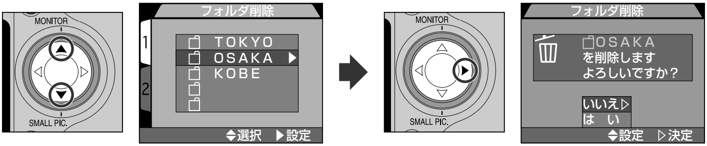
■ フォルダ削除

フォルダを削除することができます（ただし、フォルダの名称がNIKONのフォルダは削除することができません）。

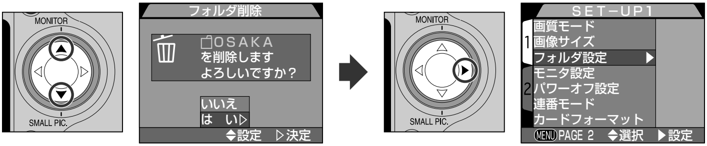
1 「フォルダ操作」の詳細画面から「フォルダ削除」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、削除するフォルダを選択する画面に切り換わります。



2 ▲ / ▼で削除するフォルダを選択し、▶を押すと確認画面に切り換わります。



3 ▲ / ▼で「はい」を選択して▶を押すとフォルダ削除が終了して、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。



! 注意 フォルダ削除についてのご注意

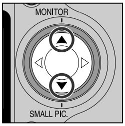
- フォルダの名称がNIKONのフォルダは削除できません。
- NIKON以外のフォルダを削除する場合は、フォルダおよびそのフォルダ内にある画像もすべて削除されます。選択したフォルダ内に、非表示（☞ P.161）またはプロテクト設定（☞ P.160）された画像がある場合には、フォルダの削除は行われません（非表示またはプロテクトされていない画像は削除されます）。

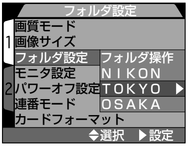
■ NIKONまたはフォルダ名

撮影・再生時に使用するフォルダを選択します。

1 ▲ / ▼を押して、撮影・再生に使用するフォルダ名を選択します。

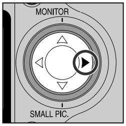


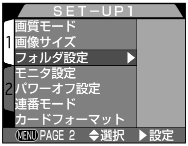




- NIKONを選択すると、再生モードでは全てのフォルダを使用する設定になります。

2 ▶を押すと設定され、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。



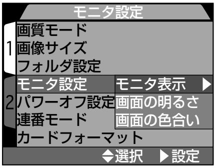


✓ ここをチェック！

選択されたフォルダは撮影・再生に使用するフォルダに指定され、撮影時には選択したフォルダ名が液晶モニタに表示されます（NIKONフォルダは表示されません）。



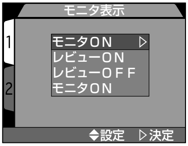
モニタ設定



液晶モニタの表示、画面の明るさ、画面の色合いをセットします。

■ モニタ表示

カスタムモードにセットして撮影を行う時の液晶モニタの表示の仕方、およびレビュー画（撮影画像の静止画像）表示の仕方をセットできます。



設　定	内　容
モニタON	液晶モニタがONになります。
レビューON	液晶モニタはOFFになりますが、シャッターをきった後にレビュー画が表示されます。
レビューOFF	液晶モニタはONになりますが、シャッターをきった後はレビュー画が表示されずに撮影画面に切り換わります。
モニタOFF	カスタムモード時に液晶モニタはOFFになります。

✓ ここをチェック！

モードダイヤルが SCENE 、 、SETUPのいずれかにセットされている場合、液晶モニタは必ずONになります。

■ 画面の明るさ

画面の明るさを選択してマルチセレクターの▶を押すと、セット画面に切り換わります。▲/▼で赤い指標を希望する明るさ（5段階）にセットします（＋側は明るく、－側は暗くなります)。▶を押すとセットされ、SET-UPメニュー画面に切り換わります。



● 画面の明るさは5段階からセットできます。

■ 画面の色合い

画面の色合いを選択し、マルチセレクターの▶を押すと、セット画面に切り換わります。▲／▼で赤い指標を希望する色合い（11段階）にセットします（＋側は赤みがかり、－側は青みがかります)。▶を押すとセットされ、SET-UPメニュー画面に切り換わります。



● 画面の色合いは11段階からセットできます。

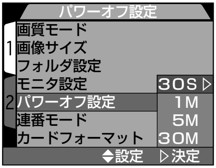
メモ 画面の明るさと色合い

画面の明るさと色合いは、赤い指標が移動した時点でセットされます。

✓ ここをチェック！

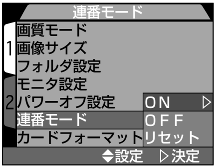
セットされた画面の明るさと色合いは、AUTO、SCENE、CSM、 、SETUP、▶モードの全てに適用されます。

パワーオフ設定



一定時間カメラの操作が行われない場合に自動的に低消費電力状態に切り換わるオートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットします。30秒、1分、5分、30分から選択して設定します。

連番モード



連番モードをONにセットすると、複数のコンパクトフラッシュカードを使用しても、画像のファイル名を連続する通し番号で記録します。初期設定では、ONにセットされています。パソコンに画像を取り込んで管理する場合などに名称変更することなく管理できます。

メモ　画像ファイル名・フォルダ名について

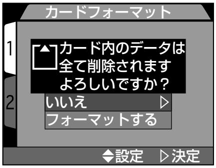
COOLPIX885で撮影した画像ファイルには4桁の番号が付けられ、DSCN0001.JPG ～ DSCN9999.JPGという名前で記録されます（スモールピクチャーのファイル名はSSCN0000.JPGとなります）。また、ファイルが保存されるフォルダには3桁のフォルダ番号が付けられます。連番モードのセット内容により、画像ファイルには次のように番号が付けられます：

- **連番モードがON時：**
  コンパクトフラッシュカードを交換したり、記録フォルダを変更した場合にも、画像ファイルには撮影順に連続した番号が付けられます。このため、同じ名前のファイルが作成されず、画像をパソコンに取り込んで管理する場合などに便利です。
- **連番モードがOFF時：**
  画像ファイルの番号は、フォルダごとに撮影順に0001から9999まで自動的に付けられます。複数のコンパクトフラッシュカード、フォルダを使うと、例えばDSCN0001.JPGという同名のファイルが、複数存在する状態になります。
- **連番モードがリセット時：**
  連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び0001から連番を付けます。すでにファイル番号がある場合は、コンパクトフラッシュカード内にある一番大きいファイル番号の次の番号より連番を付けます。

✓ ここをチェック！

フォルダの中の画像ファイル番号が9999を超える場合、または1フォルダ内に200枚の画像がある場合は、フォルダ番号に1を加えた数のフォルダを自動的に新規作成し、そのフォルダ内に画像ファイルを保存していきます。

カードフォーマット

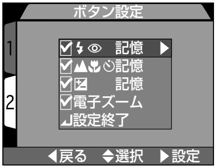


コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。
カードフォーマットの方法は、P.52をご覧ください。

! 注意　カードフォーマットについてのご注意

- カードフォーマットをすると、コンパクトフラッシュカード内に記録されているデータはすべて削除されます。**「フォーマットする」**を選択して▶を押すとすぐにフォーマットがはじまり、取り消すことはできませんので注意してください。
- カードフォーマット中は、コンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

ボタン設定



電源をONにした時の各機能の状態を設定できます。スピードライトモード、フォーカスモード、露出補正の各操作ボタンのセット内容の記憶と、電子ズームのON/OFFの設定ができます。

■ ±◆記憶、▲✿⏲記憶、⚡◉記憶

1 項目を ☑（チェック済み）にすると、電源をOFFにした時のセット内容が電源をONにした時にそのまま表示されます。

- 初期設定では、すべて☑チェック済みとなっています。

2 電源OFF時のセット内容を残さない場合は、マルチセレクターの▶でチェックボックスから□チェックをはずし、「設定終了」を選択してセットします。

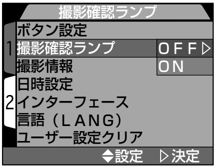
- 各項目のチェックをはずした時には、電源をONにした時には、次のような内容にセットされます：スピードライトモード＝自動発光モードまたは赤目軽減自動発光モード（いずれかのうち、最後にセットされたモード）、フォーカスモード＝通常AFモード、露出補正＝補正なし

■ 電子ズーム

チェックボックスを ☑（チェック済み）にすると、ズームボタンのT側を2秒間以上押し続けると電子ズームが作動するようになります。

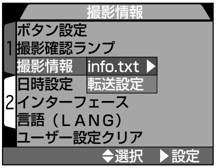
- 初期設定では、電子ズームは☑チェック済みとなっています。

撮影確認ランプ



ONにすると、レンズ横にある赤目軽減／セルフタイマーランプを撮影終了時に確認用ランプとして点灯するようにできます。

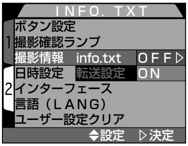
撮影情報



info.txtファイルの作成と、画像の転送設定のON/OFFをセットできます。

■ info.txt

info.txtは、画像ファイル名と撮影時の各種データをテキストファイルとして記録するもので、コンパクトフラッシュカードの画像記録フォルダに保存されます。

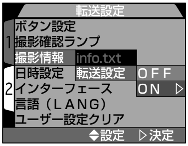


メモ info.txtについて

- COOLPIX885の撮影撮影SET-UPの**「info.txt」**をONにセットした場合には、コンパクトフラッシュカード内の画像を保存したフォルダに、info.txtというテキストファイルを作成することができます。info.txtには、画像ファイル名に加えて、以下の項目（詳細情報表示と同一の項目）が記録されています。
  - 画像ファイル名／種類
  - カメラ機種名／ファームウェアバージョン
  - 測光モード
  - 露出モード
  - シャッタースピード
  - 絞り値
  - 露出補正値
  - 焦点距離と電子ズーム
  - 階調補正モード
  - 感度
  - ホワイトバランス
  - 輪郭強調
  - 撮影日時
  - 画像サイズと画質モード

■ 転送設定

撮影時に、画像をパソコンへ転送するかどうかをあらかじめ設定することができます。転送設定をONにセットして撮影すると、設定以降に撮影された全ての画像ファイルが自動的に転送設定されます（再生時の液晶モニタに 転送マークが表示されます）。転送設定をOFFにセットして撮影すると、設定以降に撮影された画像には転送設定されません。



設　定	内　容
OFF	撮影時に画像や動画を転送設定しません。
ON	撮影時に画像や動画に 転送マークを付け、転送設定します。

! 注意　1000コマ以上の画像を転送する場合のご注意

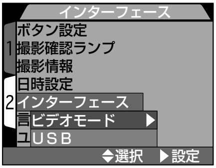
- 1枚のコンパクトフラッシュカード内で転送設定できる画像は、999コマまでです（ただし、画像のファイル番号は関係ありません）。
- 1000コマ以上の画像を転送する場合は、Nikon View 5を使用してください。詳しくは付属のNikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMをご覧ください。

日時設定



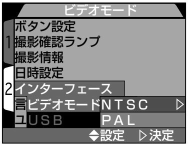
日付と時刻を設定します。初めてお使いになる時などは、日時を設定してください。また、日付表示順の変更も行えます（日時の設定の方法は、P.56をご覧ください）。

インターフェース



ビデオ出力方式や、専用のUSBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続する時のUSB通信方式を選択します。

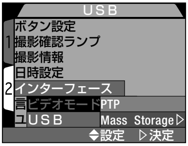
■ ビデオモード



カメラを接続する機器のビデオ信号形式に合わせて、NTSC（日本国内のビデオ出力方式）またはPAL（欧州のビデオ出力方式）を選択します。

> **! 注意　PALにセットした場合についてのご注意**
>
> PALにセットした場合は、ビデオケーブル接続中に液晶モニタの表示は行いません。

■ USB



専用のUSBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続して画像を転送する前に、ご使用のパソコンのOS（オペレーティングシステム）および画像を転送する方法に合わせてUSB通信方式を選択します。初期設定は「Mass Storage」に設定されています。画像を転送するには、カメラのTRANSFERボタンを使用する方法と、Nikon View 5の［転送］ボタンを使用する方法があります。

<table>
<tr><th rowspan="2">OS</th><th colspan="2">USB通信方式</th></tr>
<tr><th>TRANSFERボタン</th><th>Nikon View 5の［転送］ボタン</th></tr>
<tr><td>Windows XP Home Edition
Windows XP Professional</td><td colspan="2">Mass StorageまたはPTP</td></tr>
<tr><td>Mac OS X（10.1.3以降）</td><td>PTP</td><td rowspan="2">Mass Storage
またはPTP</td></tr>
<tr><td>Mac OS X（10.1.2）</td><td>— ※</td></tr>
<tr><td>Windows 2000 Professional
Windows Millennium Edition（Me）
Windows 98 Second Edition（SE）
Mac OS 9（9.0、9.1、9.2）</td><td colspan="2">Mass Storage</td></tr>
</table>

※：Mac OS X 10.1.2をご使用の場合は、カメラのTRANSFERボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon View 5の ボタンを使用してください。

注意 Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98 SE、Mac OS 9をご使用の場合のご注意

COOLPIX885を上記OSのパソコンに接続する場合、SET-UPメニューの「**インターフェース：USB**」を「**PTP**」に設定しないでください。
初期設定は「**Mass Storage**」に設定されています。
「**PTP**」にセットしてCOOLPIX885をパソコンに接続した場合は、下記の要領でパソコンとの接続をはずしてください。また、再度パソコンと接続する場合は、必ず「**Mass Storage**」に変更後、パソコンに接続してください。

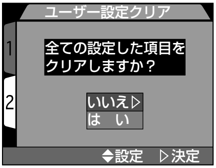
- **Windows 2000 Professionalの場合：**
  「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。
- **Windows Millennium Edition（Me）の場合：**
  「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。
- **Windows 98 Second Edition（SE）の場合：**
  「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。
- **Mac OS 9.0、9.1、9.2の場合：**
  「USB装置“Nikon Digital Camera E885_PTP”に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを捜しますか？」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

言語（LANG）



メニューに表示する言語をD（ドイツ語）、E（英語）、F（フランス語）、J（日本語）、S（スペイン語）のいずれかに切り換えることができます。

ユーザー設定クリア



カメラに記録された各種の設定をクリアします。
以下のメニュー項目では、ユーザー設定クリアを実行すると、カメラに記録された内容が全て初期設定に戻ります（表中以外のメニュー項目は変更されません）。

■ 撮影メニュー項目

メニュー項目		初期設定
ホワイトバランス		オート
測光方式		マルチ測光
連写		単写
BSS		OFF
階調補正		標準
輪郭強調		AUTO
コンバータ		OFF
画質	画質モード	NORMAL
	画像サイズ	FULL
感度設定		AUTO
露出制御	露出モード	P
	露出固定	OFF
	露出補正	0（補正無し）
フォーカス	AFエリア選択	AUTO
	AF-MODE	C-AF
	ピーキング	MF
ブラケティング		OFF
ノイズ除去		ON

■ SET-UPメニュー項目

メニュー項目		初期設定
画質モード		NORMAL
画像サイズ		FULL
フォルダ設定		NIKON
モニタ設定	モニタ表示	ON
	画面の明るさ	中間値
	画面の色合い	中間値
パワーオフ設定		30S
連番モード		ON
ボタン設定		全て記憶 [電子ズームON]
撮影確認ランプ		OFF
撮影情報	info.txt	OFF
	転送設定	ON

■ 再生メニュー項目

メニュー項目	初期設定
フォルダ設定	全てのフォルダ
スライドショー インターバル設定	3S
縮小画像サイズ	640×480
パワーオフ設定	30S

メモ　操作ボタンでセットした機能について

操作ボタンでセットする項目は、ユーザー設定クリアを行っても、全てセットされた状態が保持されます。

カスタムモード／撮影メニュー

モードダイヤルをCSM（カスタムモード）にセットした時に設定できる操作について説明しています。

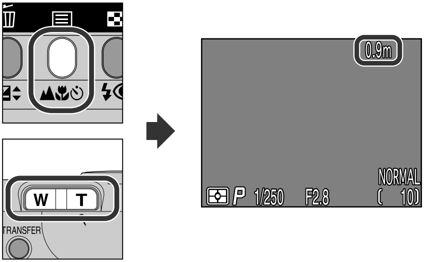
マニュアルフォーカス ▲✿⏲

CSM

カスタムモード時には、マニュアルフォーカスで撮影距離（レンズ先端からピントを合わせる被写体までの距離）をセットできます。撮影距離をあらかじめ想定して撮影を行う場合や、オートフォーカスが苦手な被写体を撮影する場合などに便利です。

モードダイヤルをCSMにセットして、▲✿⏲ボタンを押しながらズームボタンを押すと、マニュアルフォーカスでの撮影となり、液晶モニタに撮影距離が表示されます。フォーカスモードボタンを押したまま、ズームボタンを押して任意の撮影距離をセットします。

- 撮影距離はレンズ前から被写体までの距離の目安です。
- セットできる撮影距離は、セットされているフォーカスモードによって、次のようになります。
  通常AF、セルフタイマー、遠景モード時：0.30m～10mおよびINF（無限遠）
  マクロ、マクロセルフモード時：約0.03m～10mおよびINF（無限遠）
- ▲✿⏲ボタンを押しながらズームボタンの**W**側を押すと撮影距離が短くなり、**T**側を押すと長くなります。



メモ　マニュアルフォーカス撮影をキャンセルするには

フォーカスモードボタンを1度押すとマニュアルフォーカスはキャンセルされ、マニュアルフォーカスをセットした直前のフォーカスモードに戻ります。

注意　マニュアルフォーカスについてのご注意

- マニュアルフォーカスとセルフタイマーを併用する場合は、セルフタイマーをセットしてからマニュアルフォーカスをセットしてください。
- セットした距離によっては、ピントが合わないズーム領域があります。この場合、液晶モニタの撮影距離表示が赤色に点灯し、警告します。
- コンバータ使用時は、距離表示とピントの合う距離が異なります。

感度変更モード

CSM

標準時の感度はISO100相当ですが、AUTOにセットした場合は、低輝度時に自動的に感度アップします。また、暗いところで被写体を明るく撮影したい場合には、撮像感度を標準よりも高くセットすることもできます。

モードダイヤルをCSMにセットし、感度変更ボタンを押しながらズームボタンを押して、セットしたい感度を表示させます。

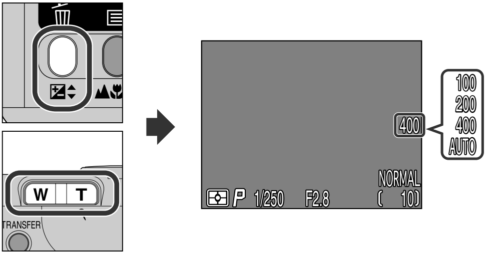


表　示	感　度
AUTO	通常は標準感度（ISO100相当）にセットされますが、低輝度時には自動的に感度アップします。 ● **AUTO**にセットして低輝度時に自動的に感度アップしている時は、液晶モニタには、**ISO**（感度変更マーク）が表示されます。
400	ISO400相当
200	ISO200相当
100	ISO100相当 ● 暗い場所や動きの速い被写体の撮影以外は、100で撮影することをおすすめします。

メモ　感度変更モードをキャンセルするには

- 感度変更モードをキャンセルする場合は、AUTOにセットしてください。
- 感度の変更は、撮影メニューの **「感度設定」**（☞ P.133）でも行えます。

注意　感度変更モードについてのご注意

- 感度変更モードのセットは、カスタムモード時のみ有効です。感度セット後に撮影モードをAUTOに合わせた場合、セットした感度は無効になり、**AUTO**にセットされます。ただし、撮影モードを再びCSMにセットすると、セットした感度に復帰します。
- **200**、**400**にセットした時や、**AUTO**で低輝度時に自動的に感度アップしている時は、標準感度に比べて多少ザラついた画像になる場合があります。

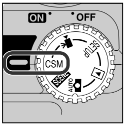
撮影メニュー

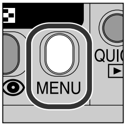
CSM

カスタムモード時には、撮影メニューによって露出やホワイトバランスなどをより詳細にコントロールしたり、測光方式、連写、階調補正、コンバータなどの撮影条件を設定して撮影を行うことができます。

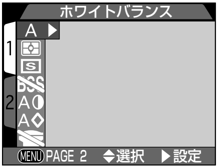
モードダイヤルをCSMにセットし、メニューボタンを押して撮影メニューを表示させます。

- 撮影メニューは2画面で構成されています。
  メニューボタン、またはマルチセレクターで切り換えます。
- メニュー画面を終了するには、撮影メニュー1（1ページ目）の表示時にはMENUボタンを2回、撮影メニュー2（2ページ目）の表示時にはMENUボタンを1回押すと、メニューが終了します。

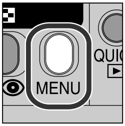


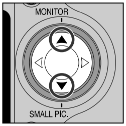


撮影メニュー1

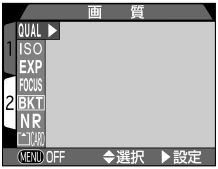


A	ホワイトバランス	P.123
	測光方式	P.125
S	連写	P.126
BSS	BSS	P.128
A◐	階調補正	P.129
A◇	輪郭強調	P.130
	コンバータ	P.131



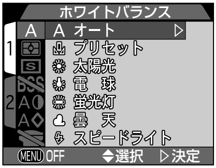


撮影メニュー2

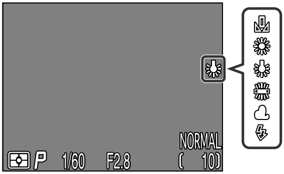


QUAL	画質	P.132
ISO	感度設定	P.133
EXP.	露出制御	P.133
FOCUS	フォーカス	P.137
BKT	ブラケティング	P.140
NR	ノイズ除去	P.142
CARD	カードフォーマット	P.142

ホワイトバランス



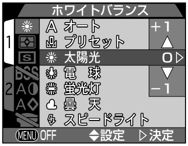
人間の目には、照明する光が変化しても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラ等では、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランス調整を行ってはじめて、白い被写体は白に見えます。この調整を、ホワイトバランスを合わせるといいます。ほとんどの場合はオートで撮影できますが、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には、他のホワイトバランスにセットしてください。また、このカメラではホワイトバランスを使用したブラケティング撮影も行えます（☞ P.141）。



● ホワイトバランスをオート以外にセットすると、ホワイトバランス表示が液晶モニタの撮影画面に表示されます。

A　オート	ホワイトバランスを自動調整
プリセット	撮影者が被写体を基準にホワイトバランス調整可能（☞ P.124）
太陽光　※1	晴れの日の撮影用
電球　※1	白熱電球下での撮影用
蛍光灯　※2	蛍光灯下での撮影用
曇天　※1	曇りの日の撮影用
スピードライト　※1	スピードライト撮影用

※1　マルチセレクターの▲ /▼で−3〜+3（1段ステップ）までの微調整が行えます。−方向にセットした場合は画像が赤みがかり、+方向にセットした場合は画像が青みがかります。▶を押すとセットされます。



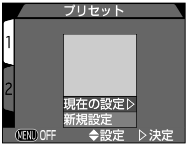
※2　▲ /▼でFL1、FL2、FL3の中から蛍光灯の種類に応じて選択することができます。▶を押すとセットされます。



名　称	光　源
FL1	白色（W）
FL2	昼白色（N）
FL3	昼光色（D）

■プリセットホワイトバランス

「プリセット」を選択すると、ズームレンズが動作して、プリセットホワイトバランス設定画面に切り換わります。

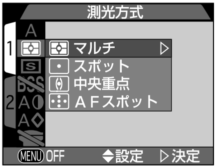


設　定	内　容
現在の設定	「現在の設定」を選択後、マルチセレクターの▶を押すと、現在設定されているホワイトバランスが呼び出されてセットされます。現在の設定の呼び出し中にはズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。
新規設定	「新規設定」を選択後、撮影する照明下で紙などの白い被写体をホワイトバランス測定窓に映して、▶を押すと、新しいプリセットホワイトバランス値が測定されます。プリセット中にはシャッターがきれる音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

メモ　プリセットホワイトバランスについて

- カクテル照明や高演色蛍光灯による照明下で、マニュアルでホワイトバランスをセットするときに便利です。
- 撮影する照明下でプリセット画面にし、紙などの白い被写体を撮影してホワイトバランスをセットします。
- カメラは撮影した被写体をもとにホワイトバランスをセットし、記憶します。

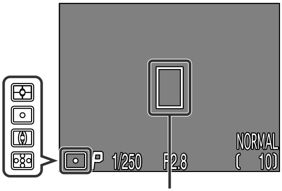
測光方式



測光方式を選択します。

測光方式	特　徴	こんな撮影には
マルチ	CCDの撮像領域を256分割して測光し、最適な露出値を決定します。さまざまなシーンで適正な露出が得られます。	通常の撮影では、マルチ測光による撮影をおすすめします。
スポット	撮影画面中央部の、全体の約1/32の領域のみを測光して露出値を決定します。測光範囲は、撮影時に液晶モニタ中央部に表示されます。	逆光やコントラストの差が激しいときなど、撮影画面の一部分の露出を基準に撮影したいときに適しています。
中央重点	撮影画面の中央部の、全体の約1/4の領域に80%のウエイトを置いて測光し、露出値を決定します。	作画意図に応じて中央部の露出値を基準に撮影したい場合に適しています。
AFスポット	撮影メニューの**「フォーカス：AFエリア選択」**で**「AUTO」**または**「MANUAL」**にセットされている時にセットできます（☞ P.137）。 **「AUTO」**　：スポット測光エリアは、カメラが5つのAFエリアから自動的に選択したAFエリアに連動 **「MANUAL」**：スポット測光エリアは、撮影者自身が選択したAFエリアに連動 **「OFF」**　：マルチ測光に自動的にセット なお、液晶モニタがOFFの場合は、測光エリアはAFエリアに連動せず、中央部のAFエリアに固定されます。	測光エリアがAFエリアと連動するため、撮影したい構図のままで、意図的に被写体の特定部分のみの露出を基準に撮影する場合などに適しています。

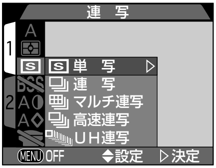
※電子ズームの作動時は、自動的に中央部重点測光相当に固定されます。



スポット測光エリア表示

- 測光方式をセットすると、測光モード表示が液晶モニタに表示されます。

連写



撮影方式を単写、連写などから選択します。

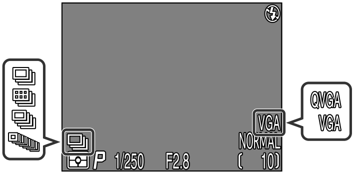
連写モード	特　徴	セット可能な画像サイズ(pixel)	セット可能な画質モード	速度（**NORMAL**時）
単写	シャッターボタンを深く押し込むごとに、1枚撮影を行います。そのままシャッターボタンを押し続けても、次のコマの撮影は行われません。	全画像サイズ	全画質モード	−
連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、連続撮影を行います。	全画像サイズ	HI 以外	FULL時※ 約1.5コマ/秒
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、連続して16枚撮影を行います。16枚の画像は、1つの画像ファイルに保存されます。	FULL (2048×1536)	HI 以外	−
高速連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、高速で連続撮影を行います。	VGA (640×480)	NORMAL	約2コマ/秒※
UH連写	シャッターボタンを深く押し込むと、約30コマ/秒で70枚の撮影を行います。撮影を行うごとにN_で始まる専用フォルダが作成され、そのフォルダに70枚全てが記録されます。	QVGA (320×240)	NORMAL	約30コマ/秒

※カメラ内部のメモリの空き容量により、速度が変化します。

- マルチ連写は、画像サイズを**FULL**にセットした時のみ撮影可能です。
- 連写、マルチ連写、高速連写、UH連写では、オートフォーカス、測光値、ホワイトバランス（オートの場合）は、それぞれ撮影1枚目の条件に固定されます。

! 注意　スピードライトについてのご注意

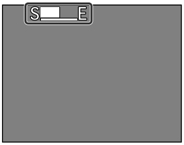
単写モード以外にセットした場合、スピードライトは発光禁止となります。



● 連写を単写モード以外にセットすると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。

✓ ここをチェック！

UH連写で撮影中は、撮影進行状況が液晶モニタに表示されます。シャッターボタンから指を離すとUH連写を終了させることができます。



メモ UH連写モードについて

- UH連写モードで撮影された画像を再生する時には、フォルダ選択を**「すべてのフォルダ」**にするか、N__で始まる専用フォルダを選択してください。ユーザー設定をクリアにした初期状態では、フォルダは**「すべてのフォルダ」**が選択されます。
- UH連写モードでは液晶モニタをONにして行ってください。液晶モニタをOFFにすると、自動的に単写モードにセットされます。ただし、再度液晶モニタをONにすると、再びUH連写モードに戻ります。
- UH連写では、撮影メニューの**「BSS」「ブラケティング」**はOFFになります。

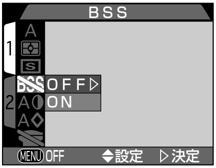
! 注意 コンパクトフラッシュカードの取り扱いについてのご注意

撮影後、コンパクトフラッシュカードへの記録が終了するまで、カードをカメラから取り出さないでください。特にUH連写では、撮影された画像はいったんカメラ内部のメモリ上に記録され、連写終了後にコンパクトフラッシュカードに保存されるため、記録に多少時間がかかりますのでご注意ください。

! 注意 マルチ連写、UH連写にセット時のノイズ除去について

マルチ連写、UH連写にセットするとノイズ除去（☞ P.142：初期設定ではONにセット）が自動的にOFFにセットされます。ノイズ除去をセットしたい場合は、再度セットしてください。

BSS



BSSとは「ベストショットセレクタ」（Best Shot Selector）のことで、最大10コマの連続撮影を行い、最もシャープだと判断される画像をカメラが自動的に選んで、その1コマだけをコンパクトフラッシュカードに記録します。

BSS OFF	BSSをセットしません。通常の撮影を行います。
BSS ON	シャッターボタンを深く押し続けると、最大10コマまで連続撮影が行われます。撮影した画像のデータは、いったんカメラ内部のメモリに記録され、撮影完了後に最もシャープだと判断されるコマをカメラが自動的に選択して、コンパクトフラッシュカードに記録します。オートフォーカス、測光値、ホワイトバランスは、1コマ目の条件で固定されます。

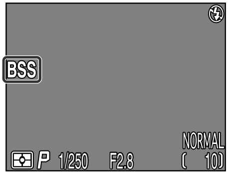
メモ BSSが効果的な撮影

BSSは以下のような撮影時に効果的です。

- カメラのズームレンズ、またはテレコンバータを使用して望遠撮影を行っている時
- マクロ撮影時
- 被写体が暗く、シャッタースピードが遅い場合

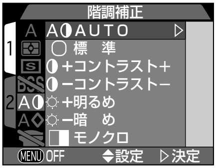
注意 BSSについてのご注意

- BSSは次の条件下では、ONにセットできません。
  - 連写モードが連写・マルチ連写・高速連写・UH連写モードにセットされている場合（☞ P.126）
  - 画質モードがHIにセットされている場合（☞ P.132）
- BSSをONにセットした時は、スピードライトは発光禁止になります。
- BSSをONにセットしても、動きのある被写体を撮影する場合や、連続撮影中に構図を変更した場合には、効果が得られないことがあります。



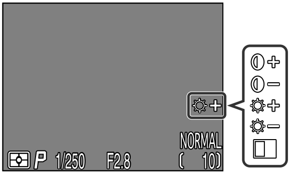
- BSSをONにセットした時には、BSS表示が液晶モニタに表示されます。

階調補正



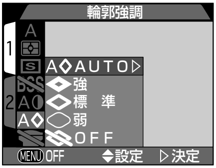
画像のコントラストと明るさを変化させます。

階調補正モード	特　徴
A◑ AUTO	カメラが撮影シーンに応じて最適な階調（コントラストの強弱や明るさ）を自動的に調節します。
〇 標準	撮影した画像をパソコンに取り込んでレタッチを行いたい場合などに適した標準的な階調に調節します。
◑+ コントラスト＋ ◑− コントラスト－	モニタやプリンタなどの出力機器のコントラスト（硬調、軟調）や、撮影シーンのコントラスト、あるいは好みに応じて、記録する画像のコントラストを調整するためなどに用います。 **コントラスト＋（強）**：明暗差や輪郭がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合に使用します。 **コントラスト－（弱）**：ソフトな感じの画像になるため、輝度差の大きい被写体を撮影する場合に使用します。
☼+ 明るめ ☼− 暗め	モニタやプリンタなどの出力機器のγ（ガンマ）特性に応じて、記録する画像の明るさを調整する場合などに用います。露出補正で画像の明るさを調節するとハイライトやシャドーの階調が失われる場合があるため、出力機器とマッチングさせるためには明るめ、暗めを用いた方が良い結果がでます。画像の明るさの好み、およびモニタやプリンタの特性に合わせて使用してください。 **明るめ**：全体的に明るめ（ハイキー）の画像になります。 **暗め**　：全体的に暗め（ローキー）の画像になります。
◧ モノクロ	撮影された画像はモノクロデータで記録し、液晶モニタもモノクロ表示となります。画像ファイルのデータ量は通常のカラーモードと同様となりますが、モノクロでは、カラーの場合と比べて解像感の高い画像となります。



● 階調補正をAUTOおよび標準以外にセットすると、階調補正表示が液晶モニタに表示されます。

輪郭強調

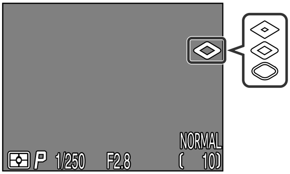


撮影した画像の輪郭を変化させます。

輪郭強調モード	特　徴
A◇ AUTO	カメラが撮影した画像から最適な輪郭を調節します。
◇ 標準	撮影した画像を標準的な輪郭に固定します。
◆ 強 ◯ 弱	モニタやプリンタなどの出力機器の特性や撮影シーン、または好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整するために使用します。 強：個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。 弱：個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭の強調を解除します。

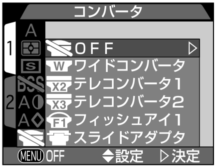
! 注意　輪郭強調モードについてのご注意

輪郭強調の設定は撮影時の液晶モニタ画面とビデオ出力では認識できません。



- 輪郭強調をAUTOおよびOFF以外にセットすると、輪郭強調表示が液晶モニタに表示されます。

コンバータ



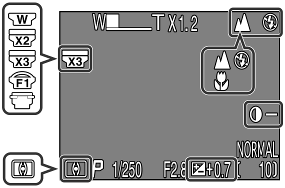
ワイド、テレ、フィッシュアイなどの各コンバータやスライドコピーアダプタなどを使用する撮影に適したカメラのセットを行います。

OFF	コンバータモードをOFFにセット
ワイドコンバータ	ワイドコンバータ使用時にセット
テレコンバータ1	テレコンバータTC-E2使用時にセット
テレコンバータ2	テレコンバータTC-E3ED使用時にセット
フィッシュアイ1	フィッシュアイコンバータ使用時にセット（画像が円形に撮影されます）
スライドアダプタ	スライドコピーアダプタ使用時にセット

- コンバータレンズの詳細については、各コンバータの使用説明書を参照してください。
- 各コンバータモードのセット内容は次のようになります。いずれも、アダプターリングUR-E4（別売 ☞P.181）を併用します。ただし、ワイドコンバータWC-E68を使用時にはUR-E4およびUR-E7（別売）の両方を併用します。

コンバータモード	ロックされるボタン	焦点距離	ズーム操作
ワイドコンバータ	⚡👁※1	最も広角側（ワイド端）	セット後は可
テレコンバータ1	⚡👁※1	最も望遠側（テレ端）	セット後は可
テレコンバータ2	⚡👁※1	最も望遠側（テレ端）	セット後は電子ズームのみ可
フィッシュアイ1 ※2	▲🌷⏱※3 ⚡👁※1	最も広角側（ワイド端）	不可
スライドアダプタ ※4	▲🌷⏱※3 ⚡👁※1	マクロモード（電子ズーム1.2倍に固定）	セット後は電子ズームのみ可

※1：スピードライトは発光禁止。
※2：焦点距離は無限遠に固定、測光モードは中央部重点測光に固定。
※3：セルフタイマーのセットは可能。
※4：階調補正はコントラストー、露出補正は＋0.7EV、ただし、セット後に変更可能。



- コンバータモードをセットすると、コンバータ表示が液晶モニタに表示されます。
  - フィッシュアイにセットすると、液晶モニタに遠景マーク▲および中央部重点測光マーク[◎]が表示されます。
  - スライドアダプタにセットすると、液晶モニタにズーム表示・電子ズーム倍率表示、マクロマーク🌷、コントラストーのアイコン◐ー および露出補正値が表示されます。

4 機能の詳細 カスタムモード／撮影メニュー

画質



画質モードを4種類から、画像サイズを3種類から選択できます。

■画質モード

4種類の画質モード（圧縮の比率）から選択することができます。

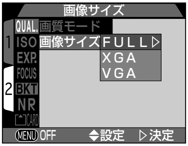


画質モード	圧縮率	ファイルフォーマット	撮影用途
HI	圧縮せず	TIFF	コンピュータで画像の一部を拡大表示する場合や、画像の一部を拡大してプリントする場合など（画像サイズがフルサイズの時のみセット可能）。
FINE	約1/4	JPEG	細かい柄模様、高層ビルの窓、吊り橋のワイヤーなどを細かくプリンタで表現したい場合など。
NORMAL	約1/8	JPEG	通常の記念撮影などの画像をコンピュータの画面に表示したり、プリントする場合など。
BASIC	約1/16	JPEG	インターネット等の電子メールで画像を送るときなど、画質よりも画像のファイルサイズが小さくなることを優先させたい場合など。

- 画質モードの**「HI」**はカスタムモードでのみ選択できます。画質モードを**「HI」**にセットした状態でオートまたはシーンモードにセットすると、自動的に**「FINE」**に切り換わります。

■画像サイズ

3種類の画像サイズ（画像の大きさ）から選択することができます（詳しくは、P.105の「SET-UPメニュー：画像サイズ 」をご覧ください）。

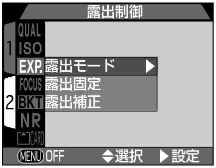


感度設定



撮像感度を変更することができます。標準時の感度はISO100相当ですが、AUTOにセットした場合は、低輝度時に自動的に感度アップします。また暗いところで被写体を明るく撮影したい場合は、標準よりも高い撮像感度をセットすることもできます（詳しくは、P.121の「感度変更モード」をご覧ください)。

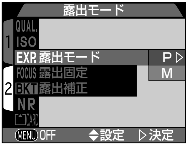
露出制御



露出制御では、露出モードをセットしたり、露出値を固定したり、カメラが測光した適正露出値を、露出補正などにより意図的に変えたりすることなどができます。

■ 露出モード

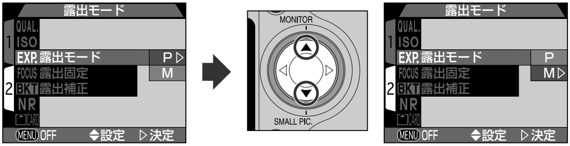
露出モードをP（プログラムオートモード)、M（マニュアルモード）のいずれかにセットできます。



P	カメラが自動的に露出を決めるプログラムオートモードにセットされます。
M	撮影者自身が絞り（2段階の絞り）とシャッタースピード（最長60秒までの長時間露出撮影［BULB］と、8秒から1/1000秒まで1段ごとに）をセットすることができるマニュアルモードにセットされます。撮影状況や目的に合わせた露出の決定ができます。

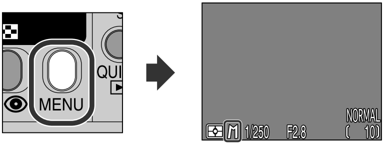
M：マニュアルモード時の操作方法

1 **「露出モード」の詳細画面から「M」を選択して、マニュアルモードにセットします。**



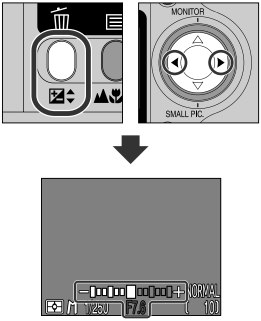
2 **メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。**

- マニュアルにセットすると、液晶モニタの露出モード表示が、Mになります。

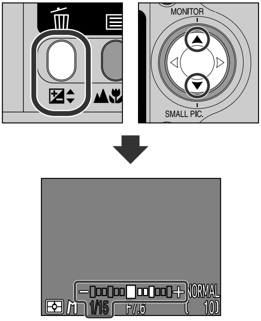


3 **絞りは、±（露出補正ボタン）を押しながら◀/▶を押すことにより、シャッタースピードは、±（露出補正ボタン）を押しながら▲/▼を押すことによりセットします。**

絞りのセット

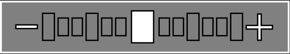
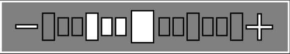
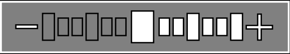


シャッタースピードのセット



4 液晶モニタの露出インジケーターを確認しながら、撮影意図に合わせて、絞りとシャッタースピードをセットします。

- セットした絞りとシャッタースピードの組み合わせによる露出値と、カメラが測光した露出値の差が、露出状態表示と露出インジケーターに表示されます。
- 表示例は以下の通りです。

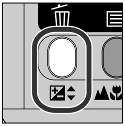
露出状態	露出インジケーター
適正露出	
1段アンダー	
2段オーバー	

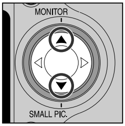
❗ 注意　最小絞りにセット時のご注意

COOLPIX885では、最小絞り時に絞り羽根にフィルターを併用して光量の調節しているため、表示されるF値から求められる被写界深度が若干浅くなります。

メモ　最長60秒までの長時間露出撮影(BULB)について

① 最長60秒までの長時間露出撮影（BULB）を行いたい場合は、カメラを三脚に固定して、露出モードをMにセットし、±（露出補正）ボタンでシャッタースピード表示を8”（8秒）の次のBULBにセットします。





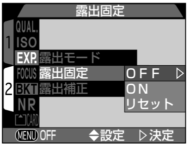


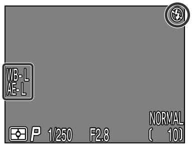
② シャッターボタンを押すと、押している間は最長60秒までシャッターが開いたままとなります。

- 長時間露出撮影（BULB）にセットできるのは、撮影メニューの**「連写」**が**「単写」**（☞ P.126）にセットされている時のみです。
- スピードライトは発光しません（強制発光にセットすると発光します）。
- 長時間露出撮影（BULB）を行う場合、シャッタースピードが1秒以上の長秒時になる場合は、画像の星状ノイズを軽減するために、撮影メニューの**「ノイズ除去」**（☞ P.142）が自動的に**ON**にセットされます。

■ 露出固定

一連の写真を同じ絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスにして撮影したい時などに使用します。コンピュータに画像を取り込んで合成する場合などに便利です。



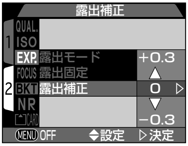


● 露出固定をONにすると、WB-L（ホワイトバランスロック）とAE-L（AEロック）マークが液晶モニタに表示されます。また、リセット状態では、この2つのマークが黄色に表示されます。

OFF	「露出固定」は解除され、通常の露出制御に戻ります。
ON	ONにセット後、最初に撮影された条件（絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。 • スピードライトは発光禁止になります。
リセット	リセットにセット後は、露出などが最初に撮影された条件（絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。

■ 露出補正

全体的に明るめにする、暗めにするなど作画意図に応じた撮影が行えます。撮影目的や条件に合わせて−2EVから＋2EVまで、1/3EVステップで12段階の露出補正がセットできます。



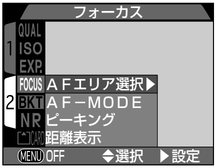


● 露出補正をセットにすると、液晶モニタに露出補正マーク と補正量が表示されます。

✓ ここをチェック！

露出補正は、露出補正ボタンとマルチセレクターでセットした補正値でも行えます（☞ P.100）

フォーカス



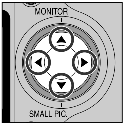
AFエリア選択やAF-MODEによりピント合わせの方法を変更したり、ピーキングによりピントを確認したり、距離表示を変更したりすることができます。

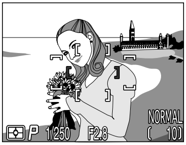
■ AFエリア選択

液晶モニタ上の5つのAFエリアを使用してピント合わせを行います。



AUTO	5つすべてのAFエリアを使用して、いずれかのAFエリアに重なる被写体のうち、最もカメラに近いものにピントを合わせます。この機能によりピントの外れた写真を避けることができます。シャッターボタンを半押しすると、5つのAFエリアのうち、カメラが自動的に選択したAFエリアだけが赤色に点灯します。
MANUAL	液晶モニタに表示された5つのAFエリアの中から、撮影者が選択したAFエリアだけを使用してピントを合わせます。マルチセレクターを上下左右に押して希望するAFエリアを選択します。選択されたAFエリアは液晶モニタでは赤色に点灯します。動きの少ない被写体に対して、選択したAFエリア単独で正確にピント合わせを行いたい場合などに便利です。
OFF	5つのAFエリアのうち中央部のAFエリアのみを使用してピント合わせを行います。AF／AEロック撮影を行う場合などに便利です（☞ P.65）。





● AFエリアをMANUALにセットした場合、マルチセレクターを使ってAFエリアを選択します。

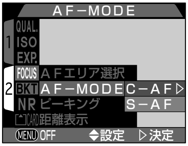
! 注意 AFエリア選択についてのご注意

● 液晶モニタON時は、AUTO、MANUALにセットできますが、液晶モニタ消灯時および電子ズーム使用時には自動的にOFFにセットされます。

● AFエリア選択を変更した場合、新しいAFエリアでピント合わせを行います。このため、AFエリア変更時はピントが合うまで、若干時間がかかります。

■AF-MODE

AF-MODEをC-AF（コンティニュアスAF）かS-AF（シングルAF）に切り換えられます。

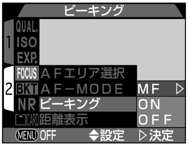


C-AF	液晶モニタ点灯時はシャッターボタンの操作に関係なく、AFによるピント合わせを繰り返し、シャッターボタンの半押しでAFロックを行います。ただし、液晶モニタ消灯時はS-AFとなります。
S-AF	液晶モニタ消灯時は、シャッターボタンが半押しされている間のみAFによるピント合わせを行い、ピントが合うとAFロックを行います。液晶モニタ点灯時は、被写体にピントが合っていなくても撮影を行うことが可能ですので、撮影前に緑色LEDの点灯を確認してから撮影を行ってください。

● 詳細は**「機能の詳細：フォーカスモードについて」**の**「通常AFモード：マクロモード撮影時のAF方式について」**をご覧ください（☞ P.94)。

■ ピーキング

液晶モニタ上でピントが合っているかどうかを確認することができます。



MF	マニュアルフォーカス（☞ P.120）をセットした場合に、液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調され、ピントが合っていることを確認できます。
ON	常に液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調され、ピントが合っていることを確認できます。
OFF	ピントが合っている部分の輪郭は強調されません。

✓ ここをチェック！

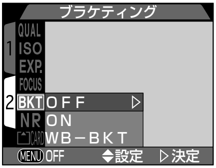
ピーキングは撮影時の確認用に液晶モニタ上で輪郭を強調表示するものです。撮影された画像には影響ありません。

■ 距離表示

マニュアルフォーカスモード時に液晶モニタに表示される距離の単位を、m（メートル）またはft（フィート）のいずれか切り換えられます。



ブラケティング



ブラケティングは、適正露出以外にカメラが自動的に露出をずらした撮影を行う機能です。露出が決めにくい被写体の撮影に便利です。また、ホワイトバランスブラケティングはカメラが自動的にホワイトバランスをずらした撮影を行う機能です。

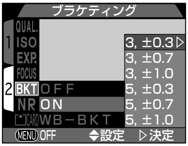
ブラケティング	特　徴
OFF	ブラケティングを行わず、通常の露出制御を行います。
ON	カメラが表示する適正露出値に対して、セットした撮影コマ数と補正ステップ数で、自動的に露出をずらした撮影が行えます（シャッタースピードが変化します）。
WB-BKT	シャッターボタンを1回押すと、その時セットされているホワイトバランスを中心に、赤味がかった画像と、青味がかった画像の3コマを記録します。

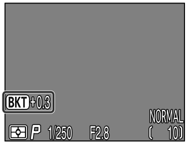
注意　ブラケティングおよびホワイトバランスブラケティングをセット時のご注意

ブラケティングおよびホワイトバランスブラケティングをセットする前に必ず**ノイズ除去**（☞ P.142）をOFFにセットしてください。

■ ON

シャッターボタンを押し込むごとに、プラス側からマイナス側の順で自動的に露出をずらしながら、5コマまたは3コマの画像の撮影が行えます。コントラストが強い被写体の撮影時に、露出をずらした画像から作画意図にあったものを選ぶことができます。





- ブラケティングをセットすると、液晶モニタに BKT（ブラケティングマーク）と次に撮影されるコマの補正量が表示されます。

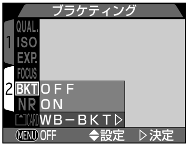
撮影コマ数と補正ステップ	撮影順序（EV）
3, ±0.3	+0.3→0→−0.3
3, ±0.7	+0.7→0→−0.7
3, ±1.0	+1.0→0→−1.0
5, ±0.3	+0.7→+0.3→0→−0.3→−0.7
5, ±0.7	+1.3→+0.7→0→−0.7→−1.3
5, ±1.0	+2.0→+1.0→0→−1.0→−2.0

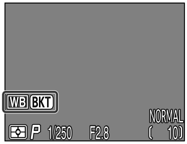
✓ ここをチェック！

連写・高速連写モード（☞ P.126）にセット時に、ブラケティング撮影する場合は、シャッターボタンを深く押し続けると、セットした枚数を撮影した時点でいったん停止します。

■ WB-BKT

シャッターボタンを1回押すと、その時セットされているホワイトバランスを中心に、赤みがかった画像と青みがかった画像の3コマの画像が記録されます。さまざまな光源下の撮影時に、記録された画像から好みに合ったものを選ぶことができます。



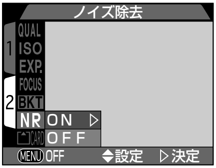


- ホワイトバランスブラケティングをセットすると、液晶モニタに WB BKT（ホワイトバランスブラケティングマーク）が表示されます。

! 注意　ブラケティングとホワイトバランスブラケティングついてのご注意

- 画質モードをHIにセットしている場合（☞ P.132）、および**マルチ連写・UH連写モード**（☞ P.126）、**BSS**（☞ P.128）、**ノイズ除去**（☞ P.142）をセットしている場合には、ブラケティングはセットできません。
- **露出固定**を**ON**にセットしている場合、ブラケティングをセットすると、露出固定は**OFF**にセットされます（☞ P.136）。
- 連写モードを単写以外にセットしている時（☞ P.126）や、**BSS**（☞ P.128）、**露出固定**（☞ P.136）、**ノイズ除去**（☞ P.142）をセットしている場合、ホワイトバランスブラケティングはセットできません。
- ホワイトバランスブラケティング撮影は、コンパクトフラッシュカードへの書き込みに、通常より3倍程度時間がかかります。

ノイズ除去



夜景など、シャッタースピードが長時間になる撮影を行った場合、記録された画像に星状のノイズが生じることがあります。ノイズ除去モードをONにすると、このノイズを軽減することができます。

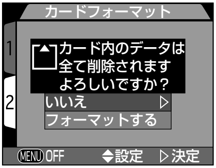
メモ　ノイズ除去モードについて

- オートモード時にはノイズ除去モードはセットできません。
- シーンモード時では、シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影の場合に、自動的にノイズ除去モードにセットされます。
- カスタムモード時およびBULBにセット時では、初期設定でシャッタースピードが1秒より遅くなる撮影の場合に、自動的にノイズ除去モードにセットされます。

注意　撮影画像の記録時間についてのご注意

ノイズ除去モードでは、撮影開始からコンパクトフラッシュカードへの画像の記録が完了するまでに通常より2倍以上時間がかかります。

カードフォーマット



コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

注意　カードフォーマットについてのご注意

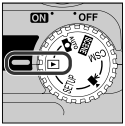
- カードフォーマットをすると、コンパクトフラッシュカード内に記録されているデータはすべて削除されます。「**フォーマットする**」を選択してマルチセレクターの▶を押すとすぐにフォーマットがはじまり、取り消すことはできませんので注意してください。
- カードフォーマット中は、コンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

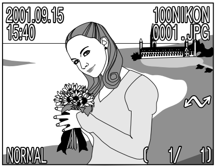
再生モード／再生メニュー

モードダイヤルを ▶（再生モード）にセットした時に設定できる操作について説明しています。

再生モード

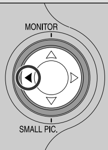
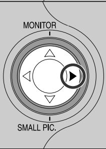
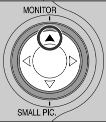
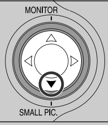
モードダイヤルを[▶]にセットすると再生モードになり、液晶モニタに最後に撮影された画像が表示されます（1コマ再生モード）。ここでは、マルチセレクターやボタンを使った再生モードでの操作について説明しています。

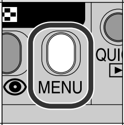
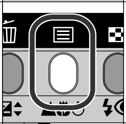
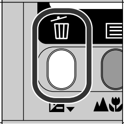
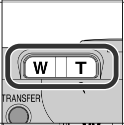
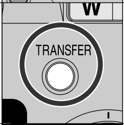
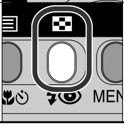




1コマ再生モード

1コマ再生モードでは、次の操作ができます。

機　能	ボタン	内　容
前の画像を見る		現在表示中の画像の1つ前に記録された画像やスモールピクチャーを表示します。 • 先頭コマ表示時は、最終コマを表示します。 • ボタンを押し続けると、コマ番号だけが変わり、ボタンを離した時点の画像が表示されます。
次の画像を見る		現在表示中の画像の1つ後に記録された画像やスモールピクチャーを表示します。 • 最終コマ表示時は、先頭コマを表示します。 • ボタンを押し続けると、コマ番号だけが変わり、ボタンを離した時点の画像が表示されます。
液晶モニタ表示を切り換える		液晶モニタの表示状態を切り換えます。 • 押すごとに、液晶モニタの表示が、点灯（画像情報表示あり）→点灯（画像情報表示なし）→消灯と切り換わります（☞ P.146）。
スモールピクチャーを作成する		再生中の画像のスモールピクチャーを作成します。 • 電子メールやホームページで使用するのに適した画像サイズ・画質モードのスモールピクチャー（縮小画像）を作成します（☞ P79）。
動画を再生する		動画を再生します。 • 動画再生の開始と一時停止を行います。 • 動画撮影されたファイルには、画面上に動画ファイルであることを示すアイコン🎥が表示されます。

機　能	ボタン	内　容
再生メニューを表示する		再生メニューを表示します（☞ P.154）。
画像情報の表示画面を切り換える		画像情報を表示する画面を切り換えます。 • 押すごとに、5種類の画像情報表示画面を切り換えます（☞ P.147）。
表示されている画像を削除する		削除確認画面が表示されます。 • マルチセレクターの▲/▼で**「はい」**を選択して、▶を押すと、画像が削除されます。
画像を拡大表示する		再生中の画像を拡大表示します。 • 画像を最大4.0倍まで拡大して表示します。拡大表示された画像は、マルチセレクターで表示されている部分をスクロールさせて見ることができます（☞ P.151）。
パソコンに転送する画像を選択する		再生中の画像の転送設定をします。 • 押すごとに、パソコンへの転送のセットと解除を切り換えます（☞ P.171）。
サムネイル画像を見る		1コマ再生モードからサムネイルモードに切り換えます。 • 押すごとに、9コマ表示、4コマ表示、1コマ表示を切り換えます（☞ P.152）。

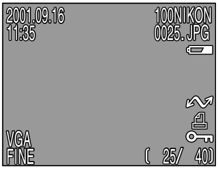
メモ　画像再生について

1コマ再生モードで画像サイズがFULL、画質モードがHI、FINE、NORMALモードで撮影された画像を表示する際には、コンパクトフラッシュカードから画像を読み込んで、実際の画質の再生画像が表示されるまでの間、画像をすばやく確認できるように、解像度が低い（画像が粗く見える）プレビュー画像が表示される場合があります。

液晶モニタ表示の切り換え

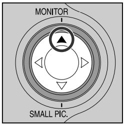
1コマ再生モードで表示される画像には、撮影日時、ファイル名、画像番号、画像サイズ、画質モードなどの画像情報が表示されます。画像情報を非表示にしたり、液晶モニタをオフにするには、マルチセレクターの▲を押します。
表示される画像情報は次の通りです。

- 表示される画像情報は次の通りです。



表示例	表示情報の内容
100NIKON	フォルダ名
0025.JPG	ファイル名（下4ケタ番号）
	バッテリーチェック表示 （バッテリー容量が不十分なとき表示）
	転送マーク（転送設定された画像で表示）
	プリント表示 （プリント指定された画像で表示）
	プロテクト表示 （プロテクト設定された画像で表示）
25/40	表示画像番号
2001.07.25	撮影日付
12:00	撮影時刻
VGA	画像サイズ（XGA、VGA、QVGA）
FINE	画質モード（HI、FINE、NORMAL、BASIC）

- マルチセレクターの▲を押すごとに、液晶モニタの状態が次のように切り換わります。





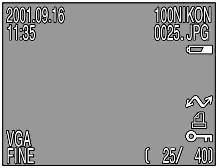
画像情報表示　　画像情報非表示　　液晶モニタオフ

画像情報の表示切り換え

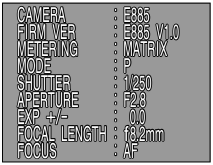
画像情報は、左ページに示した基本的な情報のほかに、より詳細な情報を表示させることができます。詳細な画像情報は基本情報も含めて、全部で5種類の表示画面を切り換えて表示されます。
詳細な画像情報を表示するには、▤ 画面切り換えボタンを押します。

● 表示される画面と、画像情報の内容は次の通りです。

1. 基本情報表示画面

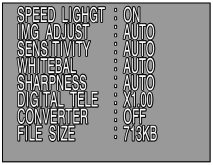


2. 詳細情報表示画面1



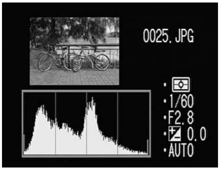
表示例	表示情報の内容
CAMERA : E885	撮影カメラの機種
FIRM VER : E885 V1.0	ファームウェアのバージョン (COOLPIX885の撮影画像でのみ表示)
METERING : MATRIX	測光方式
MODE : P	露出モード
SHUTTER : 1/250	シャッタースピード
APERTURE : F2.8	絞り値
EXP ＋／－ : 0.0	露出補正値
FOCAL LENGTH : f8.2mm	焦点距離
FOCUS : AF	フォーカスモード (MF時には設定距離)

3. 詳細情報表示画面2



表示例	表示情報の内容
SPEED LIGHT : ON	スピードライト
IMG ADJUST : AUTO	階調補正
SENSITIVITY : AUTO	感度
WHITEBAL : AUTO	ホワイトバランス
SHARPNESS : AUTO	輪郭強調
DIGITAL TELE : X1.00	電子ズームの倍率
CONVERTER : OFF	コンバータ
FILE SIZE : 713KB	撮影画像のファイルサイズ

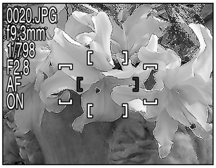
4. ヒストグラム表示画面



表示	表示情報の内容
サムネイル画像	ハイライト部分を表示 （画像のハイライト部分を白／黒の点滅で表示）
ヒストグラム	表示画像のヒストグラムを表示
撮影情報	表示画像の撮影情報 （ファイル名、測光方式、シャッタースピード、絞り値、露出補正値、感度）

- ヒストグラムの横軸は輝度（0～255）を、縦軸はドット数を示します。軸のスケールは画像のドット数の最大値により最適化されて表示されます。

5. ピーキング表示画面



表示	表示情報の内容
ピーキング処理画像	画像中で焦点の合っている被写体の輪郭を強調して表示
撮影情報	表示画像の撮影情報 （ファイル名、焦点距離、シャッタースピード、絞り値、フォーカスモード［MF時は設定距離］、ノイズ除去、選択AFエリア）

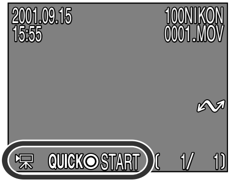
動画再生モード

撮影した動画を液晶モニタで再生することができます。

• 動画再生の方法

1コマ再生モードで動画ファイルが静止画表示されている時に、QUICK▶ボタンを押します。

- 1コマ再生モード、サムネイルモードでは、動画撮影されたファイルは先頭フレームが静止画表示され、画面上に動画ファイルであることを示す🎥（動画マーク）が表示されます。
- サムネイルモードから動画を再生するには、動画ファイルを選択してサムネイルボタンを押して1コマ再生モードに入ってから、QUICK▶ボタンを押します。



• 動画再生モードでの操作

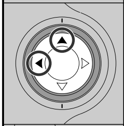
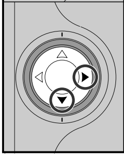
先頭フレームを静止画表示中

ボタン	機　能	内　容
	動画再生を開始	動画再生終了後は動画最終フレームを約1秒間表示した後、先頭フレームの静止画表示に戻る。

動画再生中

ボタン	機　能	内　容
	動画再生を一時停止	ボタンを押した時点のフレームを静止画表示

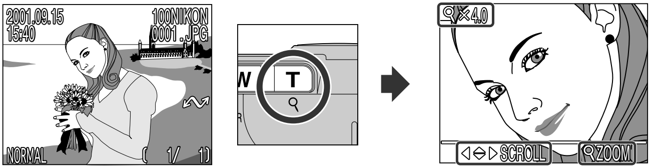
一時停止中（動画の先頭フレーム以外を静止画表示中）

ボタン	機　能	内　容
	動画再生を再スタート	静止画表示しているフレームから動画再生を再スタート
	1フレーム前の画像を表示	動画中の1フレーム前の画像をコマ送りで再生
	1フレーム前の画像を表示	動画中の1フレーム後の画像をコマ送りで再生 （動画の途中フレームの表示中）
	動画再生を終了	動画再生を終了して先頭フレームを静止画表示 （最終フレームの表示中）

拡大表示モード

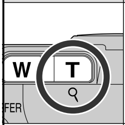
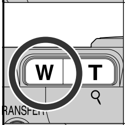
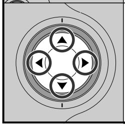
再生画像を最大4.0倍まで拡大して見ることができます。

ズームボタンのT（🔍）を押します。



- 1コマ再生画面でズームボタンの**T**を押し続けると、×1.2～×4.0倍の倍率（×0.2ステップ）で再生画像を拡大表示します（画面の左上に拡大表示アイコンと倍率が表示されます）。

• 拡大表示モードでの操作

ボタン	機　能	内　容
	画像の拡大	押すごとに4.0倍まで画像を拡大します。
	拡大表示モードの解除	拡大表示モードを解除して、1コマ再生モードに戻ります。
	画面のスクロール	画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。

! 注意　拡大表示モードについて

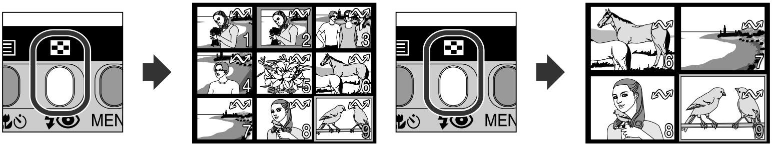
- 拡大表示の状態から前後の画像を表示する場合には、いったん拡大表示モードを終了してから画像の表示を切り換えてください。
- HIモードで記録した画像では、拡大画像の表示までに時間がかかることがあります。
- UH連写の画像、動画の拡大表示はできません。

サムネイルモード

液晶モニタに撮影画像を縮小した画像（サムネイル画像）を最大9コマまで表示します。サムネイル画像を確認しながら選択して、1コマ再生に切り換えたり、画像の削除や転送設定を行うことができます。

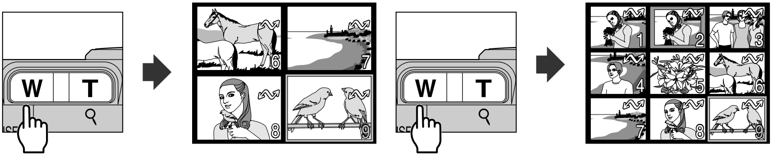
■ サムネイルモードへの切り換え方法

❶ 1コマ再生モードでサムネイルボタンを押します。



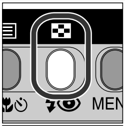
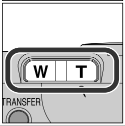
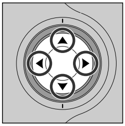
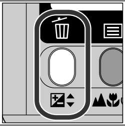
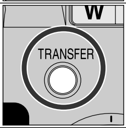
- （サムネイル）ボタンを押すと、9コマ、4コマ、1コマ再生に切り換わります。撮影画像が9コマまたは4コマより少ない場合は、左上から詰めて表示されます。
- 1コマ再生されていた画像は、黄色の枠で表示されます。

❷ 1コマ再生モードでズームボタンのW側を押します。



- ズームボタンのW側を1回押すと4コマ、2回押すと9コマのサムネイル画像が表示されます。
- 9コマのサムネイル表示時にズームボタンのT側を押すと4コマ表示に、4コマのサムネイル表示時では1コマ再生に切り換えられます。

• サムネイルモードでの操作

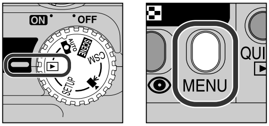
機　能	ボタン	内　容
表示コマ数を 変更する	 	•9コマ表示時に ⊞ ボタンを1回押すと4コマ表示に、さらにもう1回押すと1コマ再生モードに切り換わります。 •9コマ表示時にズームボタンの**T**側を1回押すと4コマ表示に、さらにもう1回押すと1コマ再生モードに切り換わります。
サムネイル画像を 選択する		選択されている画像を示す黄色の枠が移動します。 •黄色の枠を画面の端(左上または右下まで移動させ、さらに同方向まで移動させると、9コマ表示時は6画像分、4コマ表示時は3画像分スクロールします。 •先頭コマまたは最終コマが表示されている状態でさらにスクロールさせると、先頭コマの場合は最終コマから9コマ、最終コマの場合は先頭コマから9コマの画像を表示します。
選択されている 画像を削除する		削除確認画面が表示されます。 •マルチセレクターの▲/▼で**「はい」**を選択して、▶を押すと、画像が削除されます。
選択した画像の 転送設定をする		表示された画像の転送設定をします。 •押すごとに、パソコンへの転送設定のセット、解除を切り換えます。

再生メニュー

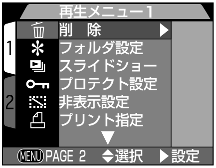
再生メニューには、複数の画像を一括削除したり、全画像を削除する「削除」モードや、画像を自動再生する「スライドショー」、画像を選択して管理を行う「プロテクト設定」「非表示設定」「プリント指定」、および全画像の転送設定をする「転送マーキング」など、記録された画像の再生に関して9項目のメニューが設定できます。

モードダイヤルを▶にセットし、再生メニューを表示させます。

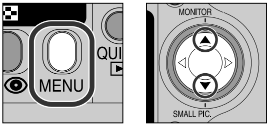
- 再生メニューは1ページ2画面で構成されています。画面の切り換えはマルチセレクターまたはメニューボタンで行います。



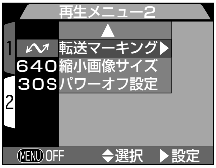
再生メニュー（1画面目）



削除	P.155
フォルダ設定	P.157
スライドショー	P.158
プロテクト設定	P.160
非表示設定	P.161
プリント指定	P.162

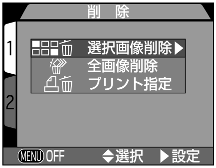


再生メニュー（2画面目）



転送マーキング	P.164
縮小画像サイズ	P.165
パワーオフ設定	P.165

削　除



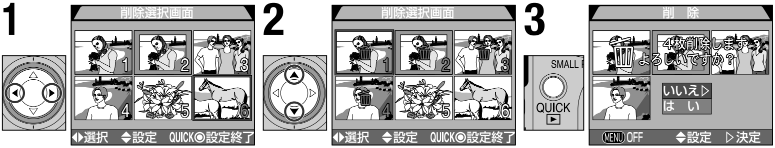
画像の削除とプリント指定の解除を行います。

選択画像削除	選択した画像を削除します
全画像削除	記録されている全画像を削除します
プリント指定	プリント指定（DPOF）を解除します

■ 選択画像削除

「選択画像削除」を選択すると、「削除選択画面」に切り換わります。

- **削除選択画面での画像選択方法**



1 ◀ / ▶で削除したい画像にオレンジ色の枠を合わせます。

2 ▲ / ▼を押して、削除する画像上に🗑を表示させます。

- 選択された画像上には削除アイコン🗑が表示されます。🗑が表示された画像上でもう一度▲ / ▼を押すと、選択が解除されて🗑の表示が消えます。
- 1・2の手順を繰り返して削除する画像を選択します。

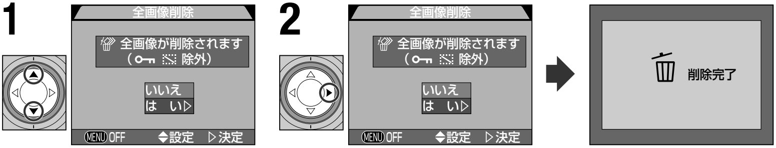
3 QUICK▶ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。
▲ / ▼で「はい」を選択し、▶を押すと削除が実行されます。

> **! 注意　プロテクト設定、非表示設定がセットされた画像について**
>
> - プロテクト設定がセットされた画像は、削除画像選択画面に表示されますが、削除することはできません。
> - 非表示設定がセットされた画像は、削除画像選択画面には表示されず、削除することもできません。

■ 全画像削除

「全画像削除」を選択すると、全画像削除の確認画面に切り換わります。削除を実行すると、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像がすべて削除されます。

・全画像削除の操作方法



1 マルチセレクターの▲ / ▼で「はい」を選択します。

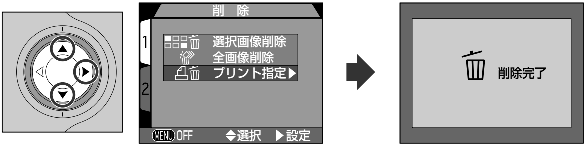
2 ▶を押すと、削除が実行されます。

> **! 注意 全画像削除について**
>
> - プロテクト設定または非表示設定がセットされた画像は、削除できません。
> - フォルダ内の全画像は削除されますが、フォルダは削除されません。

■ プリント指定

再生メニューの「プリント指定」（☞ P.162）での設定を一括して削除します。

1 ▲ / ▼で「プリント指定」を選択して、▶を押すと削除が実行されます。



> **! 注意 プリント指定の削除について**
>
> 「プリント指定」の削除を実行すると、動画にセットされた転送マークも解除されますのでご注意ください。

フォルダ設定



画像を再生するフォルダを指定します。
フォルダ操作では、フォルダの新規作成、名称変更、削除を行います。

※「NIKON」フォルダは自動的に作成されるフォルダです。新規に作成されたフォルダは「NIKON」フォルダの下に表示されます。

- **「フォルダ操作」**のセット方法は、撮影メニューの**「フォルダ設定」**（☞ P.106）をご覧ください。
- 画像を再生するフォルダを**「全てのフォルダ」、「NIKON」**フォルダ、または新規に作成したフォルダの中から選択します。
- 再生モードで選択したフォルダは、電源スイッチをOFFにしても記憶保持されます。再生モードで再生フォルダを設定した場合には、撮影モードでの画像記録用のフォルダも変更されます。また、SETUPモードでフォルダ設定を変更した場合には、再生モードの再生フォルダも変更されます。
- **「全てのフォルダ」**を選択すると、フォルダの選択を行わなくても、全てのフォルダ内の画像を再生することができます。

メモ　UH連写の撮影画像の再生について

UH連写で撮影された画像は、N_で始まる専用フォルダに記録されます。UH連写で撮影された画像を再生するときには、フォルダ選択を**「全てのフォルダ」**にするか、N_で始まる専用フォルダを選択してください。

スライドショー

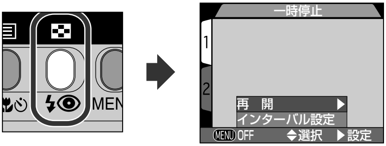


画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います。インターバル設定では、画像を表示する長さを、2秒、3秒、5秒、10秒のいずれかにセットできます。

■ 開始

マルチセレクターの▲/▼で「開始」を選択し、▶を押すと撮影した画像を1コマずつ順番に液晶モニタに表示します。

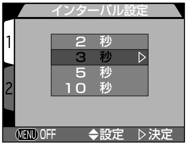
- スライドショーを再生中の動作は以下の通りです。
  - 先頭コマから最終コマまで一定間隔で最終コマまで表示した後は、最終コマを表示して**「一時停止」**画面になります。
  - 動画ファイルは、最初の1コマ目が静止画で表示されます。
  - スライドショーショーの再生中に▣ボタンを押すと、スライドショーを中断して**「一時停止」**画面に切り換わります。▶を押すと再開します。
  - メニューボタンを押すと、スライドショーを中止して1コマ再生画面に戻ります。
  - スライドショーを再生中にマルチセレクターでコマ送りができます。
  - 30分経過するとオートパワーオフ機能が働きます。



- スライドショーのセット画面または**「一時停止」**画面で、▲ / ▼で**「インターバル設定」**を選択し、▶を押すとインターバル設定画面になります。

■ インターバル設定

▲/▼でセットするインターバル時間を選択し、▶を押すとセットしたインターバル時間でスライドショーが開始／再開されます。



- インターバル時間とは、一枚の画像を完全に表示している最低時間です。はじめにセットされているインターバル時間は3秒、その他にセット可能なインターバル時間は2秒、5秒、10秒です。
- 画質モード、画像サイズによっては、セットしたインターバルどおりには画像が切り換わらない場合があります。

メモ　スライドショーが終了した時は

- メニューボタンを押すと、再生画面に戻ります。
- ◀を押すと、再生メニュー画面に戻ります。

注意　スモールピクチャーについて

スモールピクチャー画像はスライドショーでは表示されません（☞ P.79）

プロテクト設定

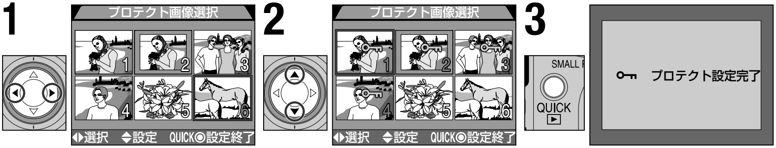


コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を不用意に削除してしまわないようにプロテクト（保護）をかけることができます。

■ プロテクト画像選択画面での画像選択

「プロテクト設定」を選択すると、「プロテクト画像選択」画面に切り換わります。

• プロテクト設定の方法



1 ◀ / ▶で、プロテクト設定したい画像に、オレンジ色の枠を合わせます。

2 ▲ / ▼を押して、プロテクトする画像を選択します。

- 選択された画像上にはプロテクトアイコン O┳┳ が表示されます。選択画像上でもう一度▲ / ▼を押すと、プロテクトアイコン O┳┳ が消え、選択が解除されます。
- 1、2の手順を繰り返し、プロテクトをかける画像をすべて選択します。

3 QUICK ▶ ボタンを押すと、プロテクト設定が実行されます。

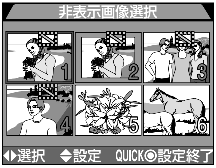
- QUICK ▶ を押すと画像の選択が完了し、プロテクト設定がセットされて **「プロテクト設定完了」** の画面が表示された後に、再生メニュー画面に戻ります。

■ プロテクト設定の解除方法

1 ◀ / ▶で、プロテクト設定を解除したい画像にオレンジ色の枠を合わせ、▲ / ▼を押して、プロテクトアイコンO┳┳を消します。

2 QUICK ▶ を押すと、プロテクト設定が解除されます。

非表示設定

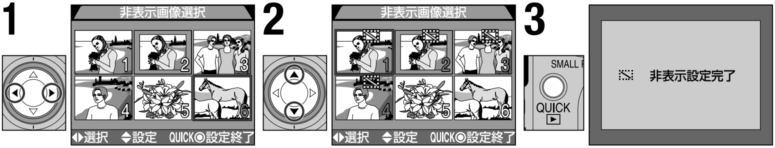


指定された画像を1コマ再生モード、サムネイルモード、スライドショー、および非表示設定を除く再生メニュー各項目の画像選択画面で表示されないようにします。

■ 非表示画像選択画面での画像選択

「非表示設定」を選択すると、「非表示画像選択」画面に切り換わります。

- **非表示設定の方法**



1 **◀ / ▶で、非表示設定したい画像に、オレンジ色の枠を合わせます。**

2 **▲ / ▼を押して、非表示にする画像を選択します。**

- 選択された画像は、非表示アイコン が画像上に表示されます。選択画像上でもう一度▲ / ▼を押すと、選択が解除され、非表示アイコン が消えます。
- 1、2の手順を繰り返し、非表示設定する画像をすべて選択します。

3 **QUICK▶ボタンを押すと、非表示設定が実行されます。**

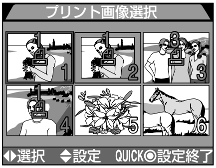
- QUICK▶を押すと画像の選択が完了し、非表示設定がセットされて**「非表示設定完了」**の画面が表示された後に、再生メニュー画面に戻ります。

■ 非表示設定の解除方法

1 **◀ / ▶で、非表示設定を解除したい画像にオレンジ色の枠を合わせ、▲ / ▼を押して、非表示アイコン を消します。**

2 **QUICK▶ボタンを押すと、非表示設定が解除されます。**

プリント指定

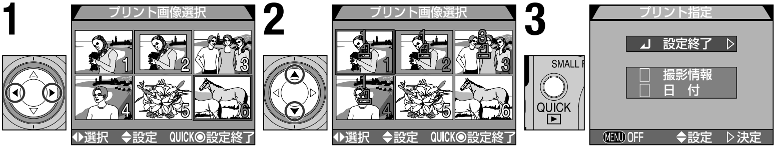


画像のプリントについての指定を行います。プリント指定の内容は、プリント設定ファイルとしてコンパクトフラッシュカードに記憶・保存されます。COOLPIX885は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）に準拠しています。

■ プリント画像選択画面での画像選択

「プリント指定」を選択すると、「プリント画像選択」画面に切り換わります。

- プリント指定の方法



1 **マルチセレクターの◀ / ▶で、プリント指定したい画像に、オレンジ色の枠を合わせます。**

2 **▲ / ▼を押してプリント指定する画像を選択し、プリント枚数をセットします。**

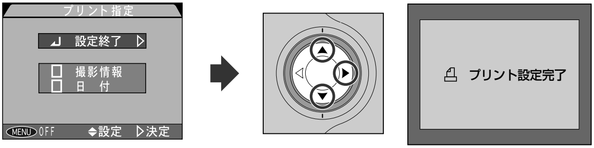
- 選択された画像上にはプリントアイコン と プリント枚数が表示されます。▲を押すとプリント枚数が増加し（最大9枚）、▼を押すとプリント枚数が減少します。
- 1、2の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。

3 **QUICK ▶ボタンを押します。**

- QUICK ▶を押すと画像の選択が完了し、プリント指定画面が表示されます。

■ プリント指定画面

プリント指定画面では、プリント時に撮影情報（絞り値とシャッタースピード）や撮影日を印字するようにセットできます。



[設定終了]

- ▲ / ▼で**「設定終了」**を選択し、▶を押すとプリント指定の設定が完了し、**「プリント設定完了」**の画面が表示された後、再生メニュー画面に戻ります。

[撮影情報]

- ▲ / ▼で**「撮影情報」**を選択し、▶を押すとチェックボックスの☑／□が切り換わります。チェック済み☑にセットすると、画像内に絞り値とシャッタースピードが印字されるように設定します。設定を終了する操作手順は、**「設定終了」**と同様になります。

[日付]

- ▲ / ▼で**「日付」**を選択し、▶を押すとチェックボックスの☑／□が切り換わります。チェック済み☑にセットすると、画像内に撮影の日付が印字されるように設定します。設定を終了する操作手順は、**「設定終了」**と同様になります。

■ プリント指定の解除方法

1 ◀ / ▶で、プリント指定を解除したい画像にオレンジ色の枠を合わせ、▼を押して、プリントアイコン 🖶 を消します。

- プリントアイコン 🖶 が表示されている画像上で、▼を押すとプリント枚数が減少します。プリント枚数が1の時にさらに▼を押すと、選択が解除され、プリントアイコン 🖶 が消えます。

2 QUICK▶を押すと、プリント指定が解除されます。

- 再生メニューの**「削除：プリント指定」**でプリント指定を一括して解除します（☞ P.156）。

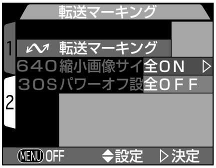
メモ 日付のプリントについて

プリント指定画面で**「日付」**をチェック済み☑にセットすると、従来の日付機能付きフィルムカメラで撮影した写真と同様に、プリント画像に撮影日時を入れることができます。撮影日時を印字したい場合には、必ず撮影前にカメラの**「日時設定」**が正しく設定されているかご確認ください（☞ P.56）。また、DPOFの日付機能に対応していないプリンタでプリントする場合は、この機能を使用することができません。

メモ DPOF(Digital Print Order Format)について

「プリント指定」で設定した情報は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）でコンパクトフラッシュカードに保存されます。従来の写真と同様に、デジタルプリントサービス取扱店に依頼するか、DPOF対応プリンタを使用すると、プリント指定した画像をコンパクトフラッシュカードから直接プリントすることができます（ニコンデジタルフォトプリンタNP-100は、画像情報、日付機能に対応していません）。

転送マーキング



撮影された全画像をパソコンに転送する、または全画像を転送しないように設定できます。

- 初期設定では撮影された全ての画像は自動的に転送設定され、転送マークが表示されます（SET-UPメニュー**「撮影情報：転送設定」**☞ P.115）。転送マーキングでは、転送設定された画像を全て一括して解除したり、撮影された全画像を一括で転送設定することができます。COOLPIX885とNikon View 5がインストールされたパソコンを接続してTRANSFERボタンを押せば、転送マークが表示された画像を簡単にパソコンに転送することができます。

設　定	内　容
全ON	撮影した全画像を転送設定します。
全OFF	撮影した全画像の転送設定を解除します。

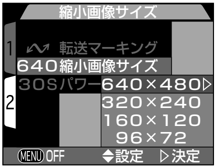
! 注意　1000コマ以上の画像を転送する場合のご注意

- 転送マーキング設定で一度に転送設定される画像は、999コマまでです。1000コマ以上の画像が記録されているフォルダに、**「転送マーキング設定：全ON」**を行っても、「転送マーク付き」として扱われる画像は、999コマまでです（ただし、画像のファイル番号は関係ありません）。
- 1000コマ以上の画像を転送する場合は、Nikon View 5を使用してください。詳しくは、Nikon View 5のリファレンスマニュアルCD-ROMをご覧ください。

! 注意　ニコン製の他のデジタルカメラで転送設定を行った場合

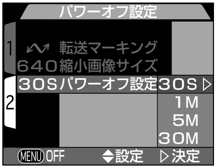
ニコン製の他のデジタルカメラで転送設定された画像が記録されているコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX885に装着しても、転送設定は認識されません。COOLPIX885で再度転送設定を行ってください。

縮小画像サイズ



スモールピクチャーの画像サイズを、使用目的に合わせて、4種類の画像サイズ（640×480、320×240、160×120、96×72ピクセル）のいずれかをセットできます（スモールピクチャーについてはP.79を参照してください）。

パワーオフ設定



再生モード時にカメラの操作が終了してからオートパワーオフ機能が作動するまでの時間を、4種類の時間（30秒、1分、5分、30分）のいずれかにセットできます。

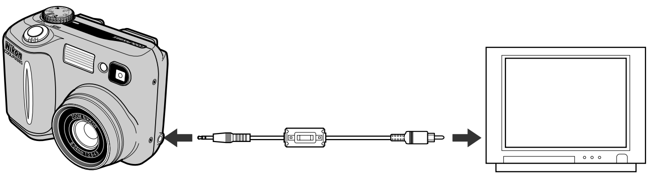
テレビやビデオなどで画像を再生する

COOLPIX885をテレビやビデオなどに接続して、画像をテレビ画面に表示させたり、ビデオに録画したりできます。接続には専用のビデオケーブル（付属）をご使用ください。

1 **カメラの電源をOFFにします。**

2 **ビデオケーブルをカメラとテレビ（ビデオ）に接続します。**

- ビデオケーブルの黒いプラグをカメラ側に、黄色のプラグをテレビまたはビデオ側に接続します。



3 **テレビの入力モードを「ビデオ」に設定します。**

4 **カメラのモードダイヤルを ▶ にセットして、電源スイッチを ON にセットします。**

- カメラのビデオ端子にビデオケーブルが接続されると、液晶モニタに表示されている画像信号をビデオ出力します。テレビには液晶モニタの画像がそのまま映ります。
- テレビなどには、液晶モニタがオフになっている場合を除いて、液晶モニタと同じ内容が表示されます。
- 液晶モニタがオフになっている場合や画像情報を非表示にしている場合には、テレビにはカメラの設定内容や撮影情報は表示されません。
- カメラをACアダプタ（別売）に接続すると、液晶モニタのオートパワーオフは30分に固定されます。ただし、ビデオケーブルが接続されている場合は、ビデオ信号は継続して出力されます。

メモ　ビデオモードについて

SET-UPメニューの **「ビデオモード」** では、ビデオ信号の出力形式をNTSC（日本などで採用されている形式）、またはPAL（欧州などで採用されている形式）から選択します。カメラを接続する機器のビデオ信号形式と **「ビデオモード」** メニューで選択した形式は、必ず一致するようにしてください。
PAL形式に設定した場合、カメラの液晶モニタはオフになります。ただし、動画モードにセットしている場合、カメラの液晶モニタはオンになりますが、ビデオ出力は一時停止します。

撮影した画像をパソコンで活用しましょう

COOLPIX885には、TRANSFERボタン（☞ P.28）やスモールピクチャー機能（☞ P.79）など、撮影した画像を手軽にパソコンに転送して、家族や友人にインターネットを利用して送るための便利な機能が搭載されています。
アプリケーションソフトウェア Nikon View 5がインストールされたパソコンとカメラを接続して、カメラのTRANSFERボタンを押すだけで、簡単にパソコンに画像を転送することができます。
パソコンに転送した画像は、インターネットのホームページに使ったり、カラープリンタでプリントしたりするなど、さまざまな方法で楽しんだり、活用することができます。

この「接続」のセクションでは、カメラに付属のUSBケーブルを使用してカメラとパソコンを接続して、カメラの画像をパソコンに転送する方法について説明しています。
また、ご使用になるパソコンがUSBインターフェースを装備していない場合は、PCカードスロットやカードリーダを利用して、撮影した画像をコンパクトフラッシュカードからパソコンに転送する方法についても説明しています。

メモ　Nikon View 5について

- Nikon View 5は、COOLPIX885で撮影した画像をパソコンに転送し、画像の一覧表示や編集を可能にするアプリケーションです。
- Nikon View 5の動作環境については、P.192の**「Nikon View 5動作環境」**を参照してください。詳細は、Nikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMをご覧ください。
- COOLPIX885とパソコンをUSBケーブルで接続して、TRANSFERボタンを使う方法で画像を転送する場合は、カメラに付属のNikon View 5がパソコンにインストールされている必要があります。他のニコン製デジタルカメラ用のNikon Viewがすでにパソコンにインストールされている場合は、COOLPIX885に付属のNikon View 5をインストールしてください。

Nikon View 5のインストール

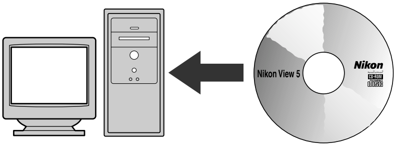
Nikon View 5の詳しいインストール方法については、付属のNikon View 5レファレンスマニュアルCD-ROMに収録されているインストールマニュアルをお読みください。

1 Nikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

- パソコンを起動し、CD-ROMドライブにNikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMをセットしてCD-ROMのウィンドウを開いてください。

Windowsの場合：「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックして開き、ウィンドウの中にあるNikonアイコンをダブルクリックすると、Nikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMのウィンドウが開きます。

Macintoshの場合：デスクトップ上にNikonフォルダが自動的に開きます。Mac OS X（10.1.2以降）の場合は、デスクトップ上のCD-ROM（Nikon）をダブルクリックすると、Nikonフォルダが開きます。



注意 Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professionalをご使用になる場合のご注意

Nikon View 5をご使用になる場合（インストール/アンインストールする場合も含む）は、「コンピュータの管理者」アカウント（Windows XP Home Edition／Windows XP Professionalの場合）もしくは「Administrator」アカウント（Windows 2000 Professionalの場合）でログオンしてください。

2 Adobe Acrobat Readerをインストールします。

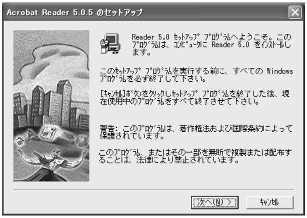
- Nikon View 5のインストールマニュアルはPDF形式で作成されています。マニュアルを読むには、Adobe Acrobat Reader 4.0以降が必要です。すでにパソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされている場合は、ステップ3に進んでください。
- Adobe Acrobat Readerをインストールするには、選択した言語のフォルダをダブルクリックして開きます。中にあるインストーラーアイコンをダブルクリックしするとインストール開始画面が表示され、インストールが開始されます。画面に表示される指示にしたがってインストールを完了してください。



Adobe Acrobat Reader
インストーラ（Windows）



Adobe Acrobat Reader
インストーラ（Macintosh）



Adobe Acrobat Reader
インストール開始画面（Windows）



Adobe Acrobat Reader
インストール開始画面（Macintosh）

3 Nikon View 5のインストールマニュアルの指示にしたがって、Nikon View 5をインストールします。

- Nikonフォルダ内の「INDEX.pdf」ファイルのアイコンをダブルクリックすると、Nikon View 5インストールマニュアルのインデックス（見出し）が表示されます。ご使用のパソコン、システムに応じた箇所を参照してよくお読みの上、Adobe Acrobat Readerを終了してからNikon View 5のインストールをしてください。インストールマニュアルは、Adobe Acrobat Readerの「ファイル」メニューにある「プリント...」コマンドでプリントできます。

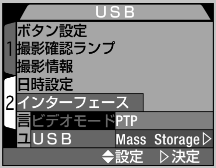
! 注意　Nikon View 5インストール時のご注意

Nikon View 5をインストールする前に、Adobe Acrobat Readerやウィルスチェック用ソフトウェアなど、起動しているプログラムはすべて終了してください。

パソコンに接続する

！ 注意　カメラをパソコンに接続する前に

- カメラをパソコンに接続する前に、必ずNikon View 5をインストールしてください。
- カメラをパソコンに接続する前に、SETUPメニューの **「インターフェース：USB」** で接続するパソコンのOSに合わせて、USB通信方式を選択してください（☞ P.116）。初期設定は **「Mass Storage」** に設定されています。



  - Windows XP Home Edition/Professionalの場合は、**「PTP」** または **「Mass Storage」** のどちらでも選択可能です。
  - Mac OS X（10.1.2以降）の場合は、**「PTP」** を選択します。
  - Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 98 Second Edition (SE)、またはMac OS 9.0、9.1、9.2の場合は **「Mass Storage」** を選択します。

Nikon View 5のインストール完了後、カメラとパソコンを専用USBケーブルUC-E1で接続してTRANSFERボタンを押すと、転送設定された画像がパソコンへ転送されます。また、PCカードスロット、またはカードリーダを使用して、画像が記録されたコンパクトフラッシュカードから画像を転送することもできます。

！ 注意　レンズキャップを取りはずしてください！

COOLPIX885は、パソコンと接続してカメラの電源をONにすると、レンズが繰り出しますので、パソコンと接続する前に必ずレンズキャップをはずしてください。

■ USBケーブルで接続して画像を転送する

1 パソコンに転送する画像を確認します。

- カメラを[▶]（再生）モードにセットして、転送したい画像上に （転送マーク）が表示されていることを確認します。 が表示されていない場合は、TRANSFERボタンを押して表示させます。
- 画像を確認したら、カメラの電源をOFFにします。

! 注意　カメラをパソコンに接続する前にご確認ください。

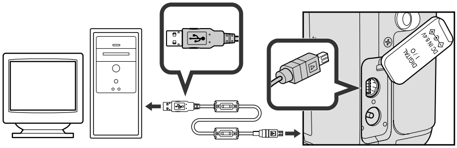
- カメラをパソコンに接続する前に、必ずNikon View 5をインストールしてください。
- Mac OS 10.1.3以降を使用してカメラのTRANSFERボタンで画像を転送する場合には、SETUPメニューの「**インターフェース：USB**」を「**PTP**」に設定してください（☞ P.116）。初期設定は「**Mass Storage**」に設定されています。

! 注意　Mac OS X10.1.2をご使用の場合のご注意

Mac OS X10.1.2をご使用の場合は、カメラのTRANSFERボタンで画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon View 5の ボタンを使用してください。詳しくは付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

2 カメラとパソコンを接続します。

- パソコンを起動し、カメラとパソコンを専用USBケーブルUC-E1で下図のように接続します。



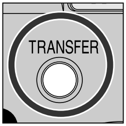
3 カメラの電源スイッチを[ON]にします。

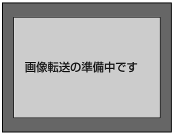
- カメラの電源をONにすると、レンズが繰り出し、カメラの液晶モニタには何も表示されません。
- カメラの電源スイッチとTRANSFERボタン以外のボタン・ダイヤルは操作できません。

4 Nikon View 5が自動的に起動します。

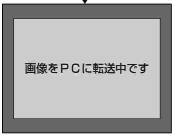
- カメラの電源をONにすると、パソコンの画面にNikon View 5（ニコントランスファ）が自動的に表示されます。画像をカメラからパソコンに転送する方法については、「**電子メールやホームページ用の画像を転送する**」（☞ P.82）を参照してください。

5 TRANSFERボタンを押します。

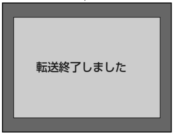




- カメラの液晶モニタに**「画像転送の準備中です」**というメッセージが表示されます。



- 画像の転送が開始すると、**「画像をPCに転送中です」**というメッセージが表示されます。



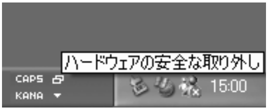
- 転送が完了すると**「転送終了しました」**と表示されます。

> **! 注意　転送中のご注意**
>
> カメラの液晶モニタに、**「画像をPCに転送中です」**と表示されている間は、
> - USBケーブルを抜かないでください。
> - カメラの電源をOFFにしないでください。
> - コンパクトフラッシュカードを抜かないでください。
>
> カメラ、パソコンが動かなくなることがあります。

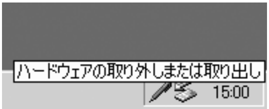
6 カメラとパソコンの接続をはずします。

パソコンの画面に転送した画像が一覧で表示されたら、転送は終了です。
Windows XP Home Edition、Windows XP Professional、またはMac OS Xを使用して、SETUPメニューの「**インターフェース：USB**」を「**PTP**」に設定している場合（☞ P.82、116）は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜いてください。
USB通信方式を「**Mass Storage**」（初期設定）から変更していない場合（☞ P.116）は、必ず次の操作をしてからカメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜いてください。

- Windows XP Home Edition/Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「**ハードウェアの安全な取り外し**」アイコンをクリックして「**USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ(E:)を安全に取り外します**」を選択してください。



- Windows 2000 Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「**ハードウェアの取り外しまたは取り出し**」アイコンをクリックして「**USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ(E:)を停止します**」を選択してください。

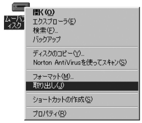


- Windows Millennium Edition (Me)の場合：
  パソコン画面右下の「**ハードウェアの取り外し**」アイコンをクリックして「**USBディスク－ドライブ(E:)の停止**」を選択してください。

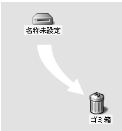


※ 「ドライブ(E:)」のEはご使用のパソコンによって異なります。

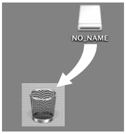
- Windows 98 Second Edition (SE)の場合：
  マイコンピュータの中の「**リムーバブルディスク**」上でマウスを右クリックして「**取り出し**」を選択してください。



- Macintoshの場合：
  デスクトップ上の「**名称未設定**」（Mac OS 9）または「**NO_NAME**」（Mac OS X）のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



Mac OS 9



Mac OS X

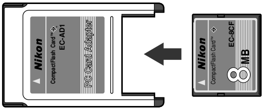
> **メモ　使用する電源について**
>
> カメラとパソコンを接続して画像の転送をする際には、確実に電源を供給できる別売の**ACアダプタ**のご使用をおすすめします（☞ P.181）。バッテリーを電源に使用する場合は、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

カードリーダ、PCカードスロットから画像を転送する

ご使用のパソコンにUSBインターフェースが装備されていない場合でも、パソコンのPCカードスロットやカードリーダを利用すれば、コンパクトフラッシュカードからパソコンに画像を転送することができます。

■ PCカードスロットを使用して画像を転送する

1 コンパクトフラッシュカードをPCカードアダプタEC-AD1（別売)にセットします。



2 PCカードスロットにPCカードアダプタを装着します。

- カードを認識してNikon View 5（ニコントランスファ）が自動的に起動します。画像をパソコンに転送する方法については、Nikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMを参照してください。

メモ　PCカードスロットについて

コンパクトフラッシュカード用の**PCカードアダプタEC-AD1**（別売）は、PCMCIA TYPE II規格に適合したPCカードスロット、カードリーダで使用してください。

注意　PCカードスロットからPCカードアダプタを取り出す場合

PCカードスロットからPCカードアダプタを取り出す前に、画像の転送が完了していることを確認してください。パソコンの画面に画像の転送中を示すインジケータが表示されている場合は、PCカードアダプタを取り出さないでください。

■ カードリーダを使用して画像を転送する

コンパクトフラッシュカードの装着方法の詳細については、ご使用のパソコン本体、カードリーダなどの使用説明書を参照してください。

1 **PCMCIA TYPE IIのカードに適合するカードリーダを使用する場合は、カメラから取り出したコンパクトフラッシュカードをPCカードアダプタEC-AD1（別売)にセットします。**

- CFカードリーダを使用する場合は、アダプタは必要ありません。

2 **カードリーダにコンパクトフラッシュカードを装着します。**

- カードを認識してNikon View 5（ニコントランスファ）が自動的に起動します。画像をパソコンに転送する方法については、Nikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMを参照してください。

メモ　カードリーダについて

カードリーダは、カードタイプの記録メディアをパソコンの外部ドライブとして利用するための装置です。カードリーダのタイプには、コンパクトフラッシュ（CF）カードをそのまま装着できるCFカードリーダや、PCMCIA TYPE II規格のPCカードタイプに適合するPCカードリーダなどがあり、それぞれUSBインターフェースのものからパソコンに装備されているものまで、さまざまなタイプがあります。

■ コンパクトフラッシュカードを取り出す場合は

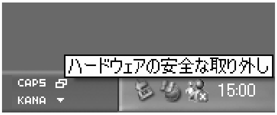
カードリーダやPCカードスロットからコンパクトフラッシュカードを取り出す時は、画像の転送が完了していることを確認してください。

パソコン画面に転送中を示すインジケータが表示されている場合は、コンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

またカードリーダやPCカードスロットからコンパクトフラッシュカードを取り出す前に、次の操作を行ってください。

- Windows XP Home Edition/Professionalの場合：

  パソコン画面右下の**「ハードウェアの安全な取り外し」**アイコンをクリックしてコンパクトフラッシュカードを取り出してください。



- Windows 2000 Professionalの場合：

  パソコン画面右下の**「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」**アイコンをクリックして、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。



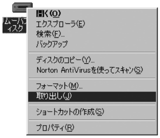
- Windows Millennium Edition (Me)の場合：

  パソコン画面右下の**「ハードウェアの取り外し」**アイコンをクリックして、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。



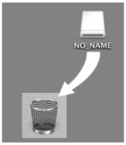
- Windows 98 Second Edition (SE)の場合：

  マイコンピュータの中の**「リムーバブルディスク」**上でマウスを右クリックして**「取り出し」**を選択してください。



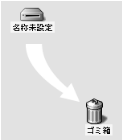
- Mac OS Xの場合：

  デスクトップ上の**「NO_NAME」**のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



- Mac OS 9の場合：

デスクトップ上の**「名称未設定」**のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



資料編

カメラのお手入れ方法、別売アクセサリー、カメラが正常に作動しない場合や警告表示が表示された場合の対処方法、およびカメラの主な仕様などについて説明しています。

カメラのお手入れ方法

■ カメラのクリーニングについて

レンズ・ファインダー	レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングする時は、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布等でガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。
液晶モニタ	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますので注意してください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布等で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

■ 保管について

長期間カメラを使用しない時は、必ずバッテリーを取り出しておいてください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安に、バッテリーを入れてカメラを操作することをおすすめします。
カメラを保管する場合は、下記のような場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60％をこえる場所

別売アクセサリー

COOLPIX885には下記の別売アクセサリーを使用できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブル バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL1
ACアダプタ／ バッテリーチャージャー	ACアダプタ／バッテリーチャージャー EH-21
ACアダプタ	ACアダプタ EH-53
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-53 バッテリーチャージャー MH-53C（車載用充電器）
ソフトケース	ソフトケース CS-E885
アダプターリング	アダプターリング UR-E4 アダプターリング UR-E7
コンバータレンズ	• ワイドコンバータ WC-E68（UR-E4およびUR-E7を併用） • ワイドコンバータ WC-E63（UR-E4を併用） • テレコンバータ TC-E2（UR-E4を併用） • テレコンバータ TC-E3ED（UR-E4を併用） • フィッシュアイコンバータ FC-E8（UR-E4を併用）
リモートコード	リモートコード MC-EU1
スライドコピーアダプタ	スライドコピーアダプタ ES-E28（UR-E4を併用）
液晶モニタフード	LCDフード HL-E885
マクロライト	MACRO COOL-LIGHT SL-1（UR-E4を併用）

! 注意　リモートコード使用上のご注意

カメラが動画モード、連写モード、および高速連写モードの場合には、リモートコードは使用できません。

使用できるコンパクトフラッシュカード

カメラに付属のコンパクトフラッシュカードおよびニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズ以外に、次の他社製コンパクトフラッシュカードが動作確認されております。

SanDisk社製：

SDCFBシリーズ 16MB、32MB、48MB、64MB、96MB、128MB

LEXAR MEDIA社製：

10X USBシリーズ	128MB、160MB
8X USBシリーズ	8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB
4X USBシリーズ	8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB

上記コンパクトフラッシュカードの機能、動作の詳細、動作保証等については、コンパクトフラッシュカードメーカーにご相談ください。
その他のメーカー製のコンパクトフラッシュカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

! 注意　コンパクトフラッシュカード使用上のご注意

- カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。
- 未使用カードは必ずフォーマット（初期化）してからご使用ください。
  コンパクトフラッシュカードのフォーマットについては ☞ P.52
- コンパクトフラッシュカードのフォーマット中には、絶対にカメラからカードを取り出さないでください。カードが使用できなくなることがあります。
- コンパクトフラッシュカードへ記録・削除が行われているときやコンピュータとの通信時には、以下のことは行わないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  ・カードの着脱をする　　・電源をOFFにする
  ・バッテリーを取り出す　　・ACアダプタを抜く
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- コンパクトフラッシュカードカバーには無理な力を加えないでください。破損の恐れがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しない時は、お買い上げの販売店や当社サービス部門にお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。点検しても症状が直らない場合は、P.193に記載されている当社サービス部門までお問い合わせください。

症状	原　因	ページ
液晶モニタに何も映らない	• 液晶モニタがオフになっています。マルチセレクターの▲を押してモニタをオンに切り換えてください。 • カメラがオートパワーオフ状態になっています。シャッターボタンを半押しオートパワーオフを解除してください。 • カメラの電源が入っていません。 • バッテリーが正しく装着されていません、またはバッテリーカバーがしっかりと閉じていません。 • バッテリーの容量がありません。 • ACアダプタ(別売)が正しく接続されていません。	P.26 P.24 P.24 P.47 P.54 P.49
液晶モニタにカメラの設定状態の情報や画像情報が表示されない	• カメラの設定内容や画像情報が非表示に設定されています。マルチセレクターの▲を押して情報を表示させてください。 • スライドショーが行われています。	P.63 P.158
液晶モニタの画面がよく見えない	• 液晶モニタの明るさを調整してください。 • 液晶モニタが汚れています。 • 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動するか、別売の液晶モニタフードを使用してください。	P.111 P.180 P.181
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • バッテリーの容量がありません。 • コンパクトフラッシュカードに画像を記録する容量がありません。 • 緑色LEDが点滅中：ピントを合わせることができません。 • 赤色LEDが点滅中：スピードライトが充電中です。 • 液晶モニタに「フォーマットされていません」というメッセージが表示される時は：コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX885用にフォーマットされていません。 • 液晶モニタに「カードが入っていません」というメッセージが表示される時：コンパクトフラッシュカードがカメラに装着されていません。	P.25 P.54 P.103 P.22 P.22 P.52 P.50

症　状	原　因	ページ
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	• 露出補正がプラス側にかかり過ぎています。	P.100
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライト光の届く範囲外にあります。 • 露出補正がマイナス側にかかり過ぎています。	P.98 P.99 P.99 P.100
ピントが合わない	• シャッターボタンを押す時に被写体が液晶モニタやファインダーの中央に合っていません。 • 緑色LEDが高速に点滅中：カメラはピントを合わせることができません。	P.62 P.22
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。 • シャッタースピードが遅すぎます。シャッタースピードを上げるには： 　• スピードライトを使ってください。 　• 広角側にズーミングしてください。 • 広角側にズーミングしても画像がブレる、スピードライトを使用できない、または使用したくない場合は： 　• 三脚等を使って、カメラを安定させてください。 　• BSS（ベストショットセレクタ）を使ってください。 　• セルフタイマーを使ってください。	P.62 P.97 P.90 P.128 P.96
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。 次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますので注意してください： 　• モードダイヤルが（動画）にセットされている時 　• フォーカスモードが（遠景）にセットされている場合 　• シーンモードで（風景）、（夕やけ）、（遠景夜景）、（打ち上げ花火）、（クローズアップ）、（ミュージアム）がセットされている時 　• 連写メニューで「連写」「マルチ連写」「高速連写」「UH連写」にセットされている時 　• 「BSS」がONの時 　• 「コンバータ」がOFF以外にセットされている時 　• 「露出制御」の「露出固定」にセットされている時 • バッテリー容量が少なくなっています。	P.98 P.89 P.92 P.69～70 P.126 P.128 P.131 P.136 P.54

症　状	原　因	ページ
画像を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで画像が上書きされました。 • パソコンか他社製のカメラで画像の名前が変更されました。	
テレビに液晶モニタの画面が映らない	• ビデオケーブルが正しく接続されていません。 • テレビの入力切り換えが「ビデオ」になっていません。または「ビデオ」の入力系統（番号）が間違っています。 • カメラの「ビデオモード」の設定が間違っています。	P.166 P.166 P.116
カメラとパソコンの接続時、またはコンパクトフラッシュカードをカードリーダやPCカードスロットに挿入した時に、Nikon View 5が自動的に起動しない	• カメラの電源スイッチがOFFになっています。 • ACアダプタ（別売）が正しく接続されていません。 • バッテリーの容量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。 • カードリーダが正しく接続されていません。 • カードがカードリーダ、カードアダプタ、PCカードスロットに正しく挿入されていません。 ※ Nikon View 5の機能および操作等については、Nikon View 5 リファレンスマニュアルを参照してください。	P.24 P.54 P.172 P.175 P.175

警告表示について

液晶モニタに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

表示	原　因	対処方法	ページ
レンズキャップが ついています	レンズキャップを付けたまま電源がONにされました。	電源スイッチをOFFにして、レンズキャップをはずしてからONにしてください。	P.46
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	P.56
（点滅） NORMAL P 1/250 F2.8 (10)	バッテリーの容量がありません	電源スイッチをOFFにしてバッテリーを交換してください。	P.47
電池残量がありません	バッテリーの容量がありません。	電源スイッチをOFFにして、バッテリーを交換してください。	P.47
モードダイヤル位置 がずれています	モードダイヤルが正しい位置にセットされていません。	モードダイヤルを正しい位置にセットしてください。	P.87 P.25
AUTOでは設定可能な メニューはありません 動画では設定可能な メニューはありません	オート（AUTO）モード時、または動画（）モード時にMENUボタンが押されました。	オート（AUTO）モード、動画（）モードにはメニュー画面がありません。モードダイヤルを他のモードにセットしてください。	P.87 P.25
カードが 入っていません	コンパクトフラッシュカードが入っていない、もしくは正しく装着されていません。	カメラの電源をOFFにして、コンパクトフラッシュカードを正しく装着してください。	P.50

表示	原　因	対処方法	ページ
このカードは 使用できません カードに 異常があります	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	• COOLPIX885に使用できるのコンパクトフラッシュカードであるかどうか確認してください。 • コンパクトフラッシュカードがこわれている可能性があります。当社サービス部門までご連絡ください。	P.182 P.193
フォーマット されていません フォーマットする▷ いいえ ⬍設定　▷決定	コンパクトフラッシュカードが正しくフォーマットされていません。	•「フォーマットする」を選択してマルチセレクターの▶を押して、カードのフォーマットを行ってください。 • 正しくフォーマットされたコンパクトフラッシュカードに交換してください。	P.53 P.50
メモリー残量が ありません	•コンパクトフラッシュカードに画像を記録する空き容量がありません。 •画像・フォルダ番号のオーバーフローです。	•画質モード、画像サイズを変更してみてください。 •不要な画像を削除してください。 •新しいカードに交換してください。	P.103〜105 P.155 P.50
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。 （カメラとパソコンを接続してTRANSFERボタンを押した時のみ）	•不要な画像を削除し、再度TRANSFERボタンを押してください。	P.155
画像を 登録できません	•コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なります。 •画像の記録中にエラーが発生しました。 •フォルダまたはファイル番号のオーバーフローです。 •スモールピクチャーが作成できない画像でSMALL PIC.ボタンが押されました。	• コンパクトフラッシュカードをフォーマットしてください。 • コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 • 連番モードをオフにセットするか、リセットを行ってください。 • UH連写や画質モードがHIの画像、動画、スモールピクチャー以外の画像を選んでください。	P.52 P.52 P.112 P.81

表示	原　因	対処方法	ページ
撮影画像がありません	コンパクトフラッシュカードに撮影された画像が入っていません。	• レビュー再生モード時：シャッターボタンを押して撮影をしてください。 • 再生モード時：他のモードに切り換えてください。	P.73 P.87
表示可能な 画像がありません	記録されている画像がすべて非表示設定されているために表示されません。	再生メニューの非表示設定で、画像の非表示設定を解除してください。	P.161
このファイルは 表示できません	画像ファイルを表示できません。COOLPIX885以外のカメラで撮影された画像か、アプリケーションソフトで編集された場合に表示されます。	• ファイルを削除してください。 • コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。	P.155 P.52
フォルダの削除が できません	カメラで認識できないファイルや、プロテクト設定または非表示設定された画像ファイルがあります。	• 他社製のカメラで撮影された画像か、アプリケーションソフトで編集されたファイルがある場合に表示されます。 • 画像のプロテクト設定、または非表示設定を解除してください。	P.160 P.161
通信エラー	• パソコンに画像を転送中に接続が外れたか、コンパクトフラッシュカードが取り出されました。 • ご使用のパソコンのOS、カメラのUSB通信方式の組み合わせでは、カメラのTRANSFERボタンは使用できません。	• パソコンの画面に警告メッセージが表示された場合、[OK]をクリックしてNikon View 5を終了してください。カメラの電源をOFFにした後、ケーブルを再接続するか、コンパクトフラッシュカードを装着し直して、再びカメラの電源をONにしてください。 • カメラの電源をOFFにセットし、いったんUSBケーブルをはずしてセットアップメニューを変更し直した後、再度接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合は、Nikon View 5の転送ボタンをご使用ください。	P.84 P.173 P.50 P.116

表示	原　因	対処方法	ページ
転送マーキングされた画像がありません	パソコンとの接続時に、転送設定された画像がない時にTRANSFERボタンが押されました。	カメラとパソコンとの接続を外して1枚以上の画像に転送設定をセットして、再接続してください。	P.174 P.172
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	• カメラとパソコンが正しく接続されていることを確認してください。 • バッテリーの容量が十分かどうか確認してください。	P.172 P.54
システムエラー	• カメラの内部回路にエラーが発生しました。 • レンズ駆動部が押さえつけられているため、電源をONまたはOFFにできません。	カメラの電源スイッチをOFFにして（ACアダプタを使用している場合はアダプタを取り外してから)、バッテリーを取り出してください。再度バッテリーを入れて、電源スイッチをONにしてください。 この操作の後もシステムエラーの表示が消えない場合は、当社サービス部門までご連絡ください。	P.47 P.193
動画ではリモートコードの使用ができません	• 動画モード時にリモートコードが接続されました。 • リモートコードのシャッターボタンが押されました。	リモートコードを抜いてください。	P.181

主な仕様

ニコンデジタルカメラCOOLPIX885の主な仕様

型式		ニコンデジタルカメラE885
有効画素数		3.2メガピクセル
撮像素子		1/1.8型（総画素数約3.37メガピクセル）
記録画素数（pixel）		FULL（2,048×1,536）、XGA（1,024×768）、VGA（640×480） スモールピクチャー機能：640×480、320×240、160×120、96×72
レンズ		3倍ズームニッコールレンズ、f=8～24mm（35mm判換算38～114mm）、F2.8～F4.9（8群9枚）
電子ズーム		最大4.0倍
オートフォーカス		コントラスト検出方式、マルチエリアオートフォーカス可能
AFエリア		5ヶ所、カスタム・シーンモード（ポートレート、クローズアップ）時1ヶ所を選択可能
フォーカス		コンティニュアスAFモード／シングルAFモード、遠景モード・マクロモードに切り換え可能、マニュアルフォーカス（49ステップ）可能、AF・MFともにピーキングによるガイドあり
撮影距離		30cm～∞（広角側）、60cm～∞（望遠側）、[マクロ(AF)時レンズ前約4cm～∞（最広角側）、約30cm～∞（最望遠側）]
ファインダー		実像式光学ズームファインダー、視野率約80%、LED表示付き
液晶モニタ		1.5型低温ポリシリコンTFT液晶、110,000画素、視野率上下左右とも約97%（対実画面）、約100%（再生画）、輝度調節機能5段階、色調調節機能11段階
記録形式	記録媒体	コンパクトフラッシュカード（Type I）
	画像ファイル	Design rule for Camera File systems (DCF)、Exif 2.2準拠、Digital Print Order Format (DPOF)準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 FINE（約1/4）、NORMAL（約1/8）、BASIC（約1/16） 非圧縮：HI（TIFF-RGB）、動画：QuickTime
撮影可能コマ数		FINE約4コマ、NORMAL約9コマ、BASIC約18コマ(2,048x1,536 pixel／8MBカード使用時)
撮影モード		オートモード（AUTO）／シーンモード（SCENE：ポートレート、パーティー、夜景、海・雪、風景、夕やけ、遠景夜景、ミュージアム、打ち上げ花火、クローズアップ、モノクロコピー、逆光の12種類）／カスタムモード（CSM：撮影メニューによりホワイトバランス、測光方式、BSS、階調補正、輪郭強調、ノイズ除去などの設定が可能）、動画（QVGA・最長40秒・15fps）
連写機能		単写、連写、マルチ連写、高速連写、UH連写
測光方式		マルチ測光（256分割）、中央部重点測光、スポット測光(フォーカスエリアに連動も可能)

項目		仕様
露出制御		プログラムオート（P）、マニュアル露出（M）モード、AEロック、露出固定、露出補正（－2～＋2EV、1/3EVステップ）、オートブラケティング
露出連動範囲		EV-3～EV15(広角側)　EV-1.4～EV16.6（望遠側）
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用、8秒～1/1000秒、60秒までの長時間露出（BULB）
絞り		電磁駆動による絞り開口選択方式、制御段階：2（F2.8、F7.6）（広角側）
撮像感度		ISO100相当、感度切り換え可能（オート、ISO100、ISO200、ISO400相当）
ホワイトバランス		マルチオートホワイトバランス、5種類のマニュアル設定（微調整可能）、プリセット、ホワイトバランスブラケティング
セルフタイマー		3秒、10秒
スピードライト	調光範囲	0.4～3.7m（広角側）、0.4～2.3m（望遠側）（ISO100）
	調光方式	自動調光制御
	発光モード	自動発光、発光禁止、強制発光、スローシンクロおよび赤目軽減自動発光（スピードライト発光前に約1秒間ランププリ照射を実行）の5モード切り換え可能
オートパワーオフ機能		電源スイッチON後、無操作状態で30秒後にOFF（メニューで1/5/30分から選択可能）
再生機能		1コマ再生、レビュー再生、簡易再生、サムネイル再生（4分割／9分割）、動画再生、スライドショー、再生画拡大機能（4倍まで、位置指定可能）、撮影情報表示、詳細情報表示、ヒストグラム表示、ピーキング表示、ハイライト表示
削除機能		クイックデリート、全画像削除、選択画像削除、フォルダ削除、カードフォーマット、プリント指定解除
インターフェース		USBインターフェース（リモートケーブル対応）、ビデオ出力（NTSC／PAL）
入出力端子		DC入力、ビデオ出力、デジタル端子（USB）
電源		Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1×1本、6Vリチウム電池（2CR5型）×1本、外部電源（8.4V、1.3A）
連続撮影時間		約90分（専用リチャージャブルバッテリー使用、液晶モニタ使用時） ※測定条件は当社条件（撮影毎にズーム、約3割のスピードライト撮影、FULL、NORMALモード、常温＜20℃＞）によります。
使用条件		温度：0℃～＋40℃、湿度：85%以下（結露しないこと）
大きさ		95（W）×69（H）×52（D）mm
質量（重さ）		約225g（バッテリー、コンパクトフラッシュカードを除く）

※仕様中のデータは、すべて常温（20℃）、同梱専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1をフル充電で使用時のものです。

- 電池の使用期間は、電池の種類および使用状況により異なりますのでご注意ください。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、撮影時間が短い場合があります。

■ Nikon View 5動作環境

Windows

OS	Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional、Windows Millenniun Edition (Me)、Windows 98 Second Edition (SE)すべてプリインストールモデル
CPU	Pentium 300MHz以上
メモリ（RAM）	64MB以上推奨
ハードディスク空き容量	Nikon View 5インストール時に25MB Nikon View 5動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍＋10MB以上の空き容量（起動ディスク）
モニタ解像度	800×600ドット以上、16bitカラー以上
その他	Nikon View 5インストール時にCD-ROMドライブが必要

Macintosh

OS	Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X（Version 10.1.2以降）
モデル	iMac、iMac DV、Power Macintosh G3（Blue & White）、Power Mac G4以降、iBook、PowerBook G3（USBポート内蔵モデル）以降
メモリ（RAM）	64MB以上推奨
ハードディスク空き容量	Nikon View 5インストール時に25MB Nikon View 5動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍＋10MB以上の空き容量（起動ディスク）
モニタ解像度	800×600ドット以上、16bitカラー以上
その他	Nikon View 5インストール時にCD-ROMドライブが必要

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

〒140-0015
東京都品川区西大井1-4-25（コア・スターレ西大井第一ビル2階）
ニコンカスタマーサポートセンター

市内通話料でOK ナビダイヤル®

TEL 0570-02-8000
営業時間　9:30～18:00（土・日曜日・祝日を除く毎日）
＊このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

- お電話は、市内通話料金でご利用いただけます。
- 全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。
- 携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
- FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」はコピーしてお使いいただくと、繰り返しお使いいただけ便利です。

■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140-8601
東京都品川区西大井1-6-3
株式会社ニコン　大井サービス課
TEL 03-3773-2221
営業時間　9:00～17:45（土・日曜日・祝日を除く毎日）
※都合により休む場合があります。

■インターネットをご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社Webサイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

（株）ニコン　カスタマーサポートセンター　行
TEL:0570-02-8000　　　FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください

お問い合わせ年月日：	年　月　日
お買い上げ日：	年　月　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　□会社 〒 TEL: FAX:	
ご使用のコンピュータの機種名： メモリ容量： OSのバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン名：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：
問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現： （おわかりになる範囲で結構ですから、できるだけ詳しくお書きください）	

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

索　引

Nikon

■アフターサービスのご案内

■技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

140-0015　東京都品川区西大井1-4-25（コア･スターレ西大井第一ビル2階）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-02-8000

市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間　9:30～18:00（土･日曜日･祝日を除く毎日）

・このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社ニコン

Printed in Japan

K2I03000701(10)
6MAA0210-06